

高等学校教育に関する 意識調査

令和6年2月
青森県教育委員会

目 次

I 全体調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査方法	1
3 調査の内容	2
4 回収結果	3
5 回答者の属性	4

II 全体調査の結果

《希望する高校・学科等》

1 中学校卒業後の進路	6
1- (付問1) 進学したい高校・学科	7
2 高校を選ぶ際に重視すること	9
3 スクール・ミッション、スクール・ポリシーの活用	16

《高校への通学方法等》

4 入学したい高校の通学範囲	17
5 主な通学方法	19
5- (付問1) 1か月間の通学費	21
6 通学時間	23
7 通学支援の必要性	25

《高校生活、高校卒業後の進路等》

8 どのような高校生活を送っているか	26
9 高校の満足度	27
10 高校卒業後の進路	38
11 将来暮らしたい場所	41
12 将来就きたい仕事	42
13 企業にとって望まれる高校生のタイプ	44
14 高校で身に付けたいこと	45
15 必要な学習方法	48
16 ICTを活用した学習方法	50

《新しいタイプの高校の必要性等》

17 導入済みの教育制度等に対する考え方	53
18 未導入の教育制度等の必要性	58

《高校の規模等に関する考え方》

19	望ましい高校規模	62
20	高校の規模・配置に関する考え方	66
20-	(付問1) 規模を維持するため統廃合した方がよい理由	70
20-	(付問2) 小規模化したとしても高校を残した方がよい理由	71
21	生徒数減少による教育活動への影響	72
21-	(付問1) 小規模化により生じる教育活動への具体的な課題	73

《小・中学校、高校、大学、地域との連携》

22	小・中学校と高校の連携	78
23	高校同士の連携	83
24	高校と大学の連携	86
25	高校と地域の連携	90

《魅力ある高校づくり》

26	通っている高校の魅力	99
27	さらに魅力ある高校になるために重視すること	101

Ⅲ 個別調査の概要

1	調査の目的	103
2	調査方法	103
3	調査の内容	104
4	回収結果	104

Ⅳ 個別調査の結果

《個別調査結果》

1	高校卒業後の進路	105
2	理解度	106
3	情報入手先	108
4	高校を選んだ理由	109
5	科目を選択する基準	115
6	満足な点	116
7	不満な点	122

I

全体調査の概要

1 調査の目的

本県高等学校教育の現状と課題を踏まえ、今後の高等学校教育の在り方について検討していくための資料を得ることを目的とする。

2 調査方法

(1) 調査対象地域 青森県内全域

(2) 調査対象者及び標本数

① 公立中学校2年生	1,000
② 公立高校2年生	1,000
③ 公立中学校2年生保護者	1,000
④ 公立高校2年生保護者	1,000
⑤ 公立小学校教員	150
⑥ 公立中学校教員	150
⑦ 公立高校教員	150
⑧ 大学・短大教員	150
⑨ 市町村関係者	40
⑩ 県内企業	500
	(合計5,140)

(3) 調査対象者の抽出

- ① 調査対象となる中学生、高校生、中学生保護者及び高校生保護者の抽出は、各学校・学科の生徒数を考慮して無作為抽出した学校に一任。
なお、保護者の抽出に当たっては、調査対象とした生徒の保護者とならないよう依頼。
- ② 調査対象となる小学校教員、中学校教員、高校教員及び大学・短大教員の抽出は、各学校・学科の教員数を考慮して無作為抽出した学校に一任。
- ③ 調査対象となる市町村関係者は、県内全市町村の教育長。
- ④ 調査対象となる県内企業の抽出は、従業員10人以上の事業所を無作為抽出。

(4) 調査票の配布及び回収方法

- ① 中学生、高校生、中学生保護者及び高校生保護者
各学校を通じて、調査票を配布し、回収。
- ② 小学校教員、中学校教員、高校教員及び大学・短大教員並びに市町村関係者
各学校・機関を通じて、調査票を配布し、個人から返信用封筒により回収。
- ③ 県内企業
直接、調査票を郵送し、返信用封筒により回収。

(5) 調査期間

令和5年7月3日(月)～7月14日(金)

(6) 調査分析委託機関

株式会社東京商工リサーチ青森支店

3 調査の内容

注)質問番号は使用した調査票の質問番号

質問内容	中学生	高校生	中学生 保護者	高校生 保護者	小・中 教員	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
1 中学校卒業後の進路	問3		問3						
1- (付問1) 進学したい高校・学科	問3- 付問1		問3- 付問1						
2 高校を選ぶ際に重視すること	問3- 付問2	問5	問3- 付問2						
3 スクール・ミッション、 スクール・ポリシーの活用	問3- 付問3		問3- 付問3		問3				
4 入学したい高校の通学範囲	問3- 付問4		問3- 付問4						
5 主な通学方法				問5					
5- (付問1) 1か月間の通学費				問5- 付問1					
6 通学時間		問6	問3- 付問5						
7 通学支援の必要性			問3- 付問6	問6	問4	問3			
8 どのような高校生活を送っているか	問3- 付問5	問7							
9 高校の満足度		問8							
10 高校卒業後の進路	問3- 付問6	問9	問3- 付問7	問7					
11 将来暮らしたい場所		問10	問3- 付問8	問8					
12 将来就きたい仕事	問4								
13 企業にとって望まれる高校生のタイプ									問1
14 高校で身に付けたいこと	問5	問11	問3- 付問9	問9	問5	問4	問2	問1	問2
15 必要な学習方法		問12		問10	問6	問5	問3		問3
16 ICTを活用した学習方法		問13		問11	問7	問6	問4		問4
17 導入済みの教育制度等に対する考え方		問14	問4	問12	問8	問7	問5	問2	問5
18 未導入の教育制度等の必要性		問15	問5	問13	問9	問8	問6	問3	問6
19 望ましい高校規模	問6	問16	問6	問14	問10	問9	問7	問4	問7
20 高校の規模・配置に関する考え方		問17	問7	問15	問11	問10	問8	問5	問8
20- (付問1) 規模を維持するため統廃合した方がよい理由		問17- 付問1	問7- 付問1	問15- 付問1	問11- 付問1	問10- 付問1	問8- 付問1	問5- 付問1	問8- 付問1
20- (付問2) 小規模化したとしても高校を残した方がよい理由		問17- 付問2	問7- 付問2	問15- 付問2	問11- 付問2	問10- 付問2	問8- 付問2	問5- 付問2	問8- 付問2
21 生徒数減少による教育活動への影響						問11			
21- (付問1) 小規模化により生じる教育活動への具体的な課題						問11- 付問1			
22 小・中学校と高校の連携		問18			問12	問12			
23 高校同士の連携		問19				問13			
24 高校と大学の連携		問20				問14	問9		

質問内容	中学生	高校生	中学生保護者	高校生保護者	小・中 教員	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
25 高校と地域の連携		問21	問8	問16	問13	問15	問10	問6	問9
26 通っている高校の魅力		問22		問17					
27 さらに魅力ある高校になるために重視すること		問23		問18	問14	問16			

4 回収結果

	標本数	有効回収数	有効回収率(%)
中学生	1,000	993	99.3
高校生	1,000	995	99.5
中学生保護者	1,000	952	95.2
高校生保護者	1,000	976	97.6
小学校教員	150	131	87.3
中学校教員	150	146	97.3
高校教員	150	145	96.7
大学・短大教員	150	98	65.3
市町村関係者	40	35	87.5
企業	500	332	66.4
計	5,140	4,803	93.4

5 回答者の属性

(1) 居住地（市町村関係者、企業を除く）

	東青 地区	西北 地区	中南 地区	上北 地区	下北 地区	三八 地区	県外	その他 無回答	計
中学生	250 (25.2%)	99 (10.0%)	181 (18.2%)	158 (15.9%)	50 (5.0%)	222 (22.4%)	- (-)	33 (3.3%)	993 (100.0%)
高校生	229 (23.0%)	104 (10.5%)	181 (18.2%)	171 (17.2%)	63 (6.3%)	200 (20.1%)	2 (0.2%)	45 (4.5%)	995 (100.0%)
中学生 保護者	243 (25.5%)	93 (9.8%)	181 (19.0%)	153 (16.1%)	50 (5.3%)	207 (21.7%)	- (-)	25 (2.6%)	952 (100.0%)
高校生 保護者	233 (23.9%)	99 (10.1%)	173 (17.7%)	178 (18.2%)	64 (6.6%)	196 (20.1%)	4 (0.4%)	29 (3.0%)	976 (100.0%)
小学校 教員	24 (18.3%)	8 (6.1%)	24 (18.3%)	23 (17.6%)	12 (9.2%)	36 (27.5%)	- (-)	4 (3.0%)	131 (100.0%)
中学校 教員	37 (25.4%)	13 (8.9%)	26 (17.8%)	24 (16.4%)	8 (5.5%)	34 (23.3%)	- (-)	4 (2.7%)	146 (100.0%)
高校教員	34 (23.4%)	7 (4.8%)	34 (23.4%)	20 (13.8%)	14 (9.7%)	33 (22.8%)	- (-)	3 (2.1%)	145 (100.0%)
大学・短大 教員	48 (49.0%)	1 (1.0%)	36 (36.7%)	5 (5.1%)	- (-)	5 (5.1%)	1 (1.0%)	2 (2.1%)	98 (100.0%)

	市部	郡部	県外・無回答	計
中学生	747 (75.2%)	213 (21.5%)	33 (3.3%)	993 (100.0%)
高校生	750 (75.4%)	198 (19.9%)	47 (4.7%)	995 (100.0%)
中学生保護者	738 (77.5%)	189 (19.9%)	25 (2.6%)	952 (100.0%)
高校生保護者	709 (72.6%)	234 (24.0%)	33 (3.4%)	976 (100.0%)

(2) 学校所在地

	居住市町村内	居住市町村以外	無回答	計
高校生	690 (69.4%)	290 (29.1%)	15 (1.5%)	995 (100.0%)
高校生保護者	678 (69.5%)	294 (30.1%)	4 (0.4%)	976 (100.0%)

(3) 現在学んでいる学科

	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	理数科	スポーツ科学科	外国語科	表現科	総合学科	その他・無回答	計
高校生	562 (56.5%)	50 (5.0%)	130 (13.1%)	79 (8.0%)	10 (1.0%)	16 (1.6%)	10 (1.0%)	13 (1.3%)	19 (1.9%)	10 (1.0%)	10 (1.0%)	76 (7.6%)	10 (1.0%)	995 (100.0%)
高校生 保護者	571 (58.5%)	41 (4.2%)	127 (13.0%)	80 (8.2%)	10 (1.0%)	13 (1.4%)	10 (1.0%)	10 (1.0%)	18 (1.9%)	10 (1.0%)	10 (1.0%)	68 (7.0%)	8 (0.8%)	976 (100.0%)

(4) 所属校に設置されている学科

※複数回答

	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	理数科	スポーツ科学科	外国語科	表現科	総合学科	回答者数
高校教員	86 (59.3%)	12 (8.3%)	19 (13.1%)	17 (11.7%)	3 (2.1%)	7 (4.8%)	3 (2.1%)	4 (2.8%)	9 (6.2%)	4 (2.8%)	3 (2.1%)	15 (10.3%)	145 (100.0%)

(5) 学校の規模（1学年当たり）

	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級以上	無回答	計
中学生	131 (13.2%)	265 (26.7%)	222 (22.4%)	155 (15.6%)	163 (16.4%)	53 (5.3%)	4 (0.4%)	993 (100.0%)
高校生	35 (3.5%)	49 (4.9%)	97 (9.8%)	60 (6.0%)	228 (22.9%)	515 (51.8%)	11 (1.1%)	995 (100.0%)
中学生保護者	83 (8.7%)	289 (30.3%)	217 (22.8%)	141 (14.8%)	135 (14.2%)	72 (7.6%)	15 (1.6%)	952 (100.0%)
高校生保護者	44 (4.5%)	108 (11.1%)	85 (8.7%)	59 (6.0%)	222 (22.7%)	438 (44.9%)	20 (2.1%)	976 (100.0%)

II

全体調査の結果

報告書の見方

- (1) 比率は全て、各設問の無回答を含む集計回答者総数（付問では設問該当回答者数）に対する百分比（%）を表している。1人の回答者に複数の回答を求める設問では、百分比（%）の合計は、100.0%に一致しない場合がある。
- (2) 百分比（%）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。このため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
- (3) 図表中の「n」とは、回答者数を示す。
なお、図表中の回答者数は、分類不明や分類対象外の回答を除いているため、各設問の集計回答者総数と一致しない場合がある。
- (4) 在学学科、希望学科別の分類では、「農業に関する学科」「工業に関する学科」「商業に関する学科」「水産に関する学科」「家庭に関する学科」「看護科」「情報科」「福祉に関する学科」を「職業に関する学科」として分類し、「理数科」「スポーツ科学科」「音楽科」「美術に関する学科」「外国語科」「国際関係に関する学科」「表現科」「その他の学科」を「その他の専門学科」として分類した。

《 希望する高校・学科等 》

1 中学校卒業後の進路

問1 あなたは、中学校卒業後、どのような進路を選ぶつもりですか（希望を持っていますか）。

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	993	952
就職(自営も含む)	0.3	0.1
高校進学(定時制、通信制を含む)	87.3	95.2
高等専門学校進学	2.4	1.6
専修学校・各種学校進学	1.1	0.5
その他	-	-
まだわからない	8.6	1.4
無回答	0.3	1.2

(参考 令和元年調査)

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	997	992
就職(自営も含む)	0.6	0.1
高校進学(定時制、通信制を含む)	91.6	95.3
高等専門学校進学	2.6	1.9
専修学校・各種学校進学	0.1	0.3
その他	0.3	0.1
まだわからない	4.2	1.2
無回答	0.6	1.1

「高校進学（定時制、通信制を含む）」が最も高い割合

中学校卒業後の進路について尋ねたところ、「高校進学（定時制、通信制を含む）」が中学生で87.3%、中学生保護者で95.2%と最も高い割合となった。

令和元年調査と比較し、「高校進学（定時制、通信制を含む）」を希望する中学生は91.6%から87.3%と4.3ポイント減少した。また、「まだわからない」が4.2%から8.6%と4.4ポイント増加した。

1 - (付問1) 進学したい高校・学科

問1付問1 問1で「高校進学（定時制、通信制を含む）」と回答した方にうかがいます。
あなたは、どのような高校、学科に進みたいと思いますか（進んでほしいと思いますか）。

(ア) 高校の区分

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	867	906
全日制の公立高校	83.0	94.0
全日制の私立高校	13.0	5.0
定時制の公立高校	1.6	0.2
定時制の私立高校	1.3	-
通信制の公立高校	0.4	0.2
通信制の私立高校	-	-
無回答	0.7	0.6

(イ) 学科の区分

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	867	906
普通科	64.1	62.1
農業に関する学科	0.9	1.0
工業に関する学科	6.7	5.4
商業に関する学科	1.0	1.7
水産に関する学科	0.4	-
家庭に関する学科	1.5	0.2
看護科	1.6	1.0
情報科	1.0	2.0
福祉に関する学科	0.6	0.5
理数科	0.1	0.2
スポーツ科学科	4.5	2.8
音楽科	0.5	0.1
美術に関する学科	1.6	0.2
外国語科	0.7	0.7
国際関係に関する学科	0.1	0.3
表現科	0.5	0.3
総合学科	1.3	0.3
その他の学科	1.4	0.9
特に希望する学科はない	2.4	13.1
わからない	8.4	6.5
無回答	0.7	0.7

(参考 令和元年調査)

(ア) 高校の区分

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	913	945
全日制の高校	94.1	99.0
定時制の高校	4.1	0.2
通信制の高校	0.4	-
無回答	1.4	0.7

(イ) 学科の区分

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	913	945
普通科	63.0	61.2
農業に関する学科	1.5	1.3
工業に関する学科	8.0	7.4
商業に関する学科	2.6	1.5
水産に関する学科	0.1	0.2
家庭に関する学科	2.0	0.5
看護科	1.0	1.4
情報科	1.0	1.6
福祉に関する学科	0.8	1.0
理数科	0.4	0.4
スポーツ科学科	3.4	1.6
音楽科	-	-
英語科	0.5	0.3
外国語科	-	-
表現科	0.4	0.3
総合学科	1.8	1.3
その他の学科	1.1	1.5
特に希望する学科はない	3.7	10.7
わからない	8.0	6.9
無回答	0.7	1.1

進学先は「全日制の高校」、学科は「普通科」が上位

「高校進学（定時制、通信制を含む）」と回答した人に、進学したい（してほしい）高校・学科について尋ねたところ、高校については公立・私立を合わせた「全日制の高校」が中学生で 96.0%、中学生保護者で 99.0%、学科については「普通科」が中学生で 64.1%、中学生保護者で 62.1%と最も高い割合となった。

「特に希望する学科はない」は中学生が 2.4%だが、中学生保護者は 13.1%であった。

2 高校を選ぶ際に重視すること

問2 入学する高校を選ぶとき、どのようなことを重視しますか（しましたか）。（○は3つまで）

※令和元年調査は各項目別に重視する程度を問う形式のため、「重視する（重視した）」を選択した割合となっている。 （複数回答、%）

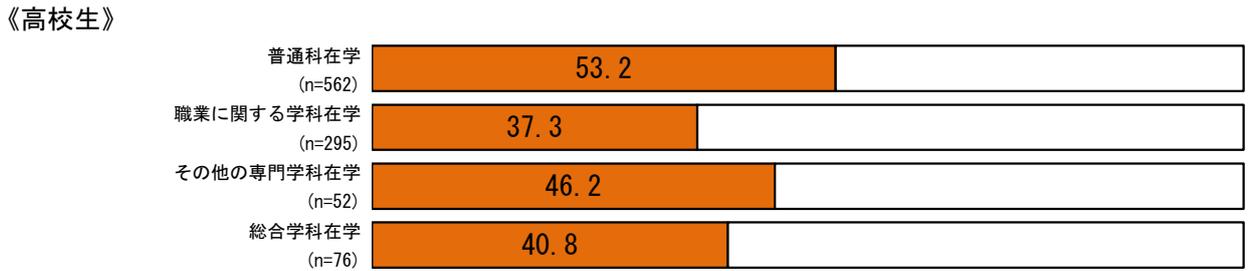
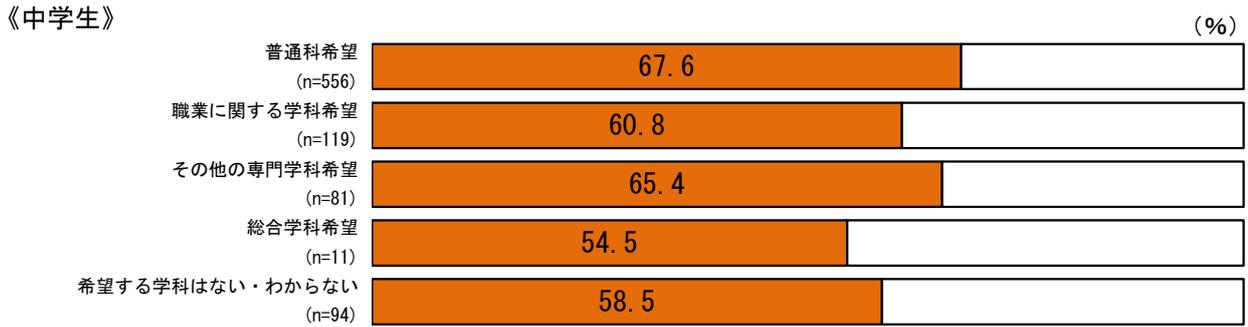
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	867	995	906
(ア) 自分（子ども）の能力・適性	65.2	46.9	81.5
(イ) 就職のための有利さ	32.9	20.3	22.5
(ウ) 進学のための有利さ	26.1	31.3	35.5
(エ) 通学の便利さ	28.8	34.7	44.4
(オ) 高校の校風やイメージ	20.5	17.9	17.1
(カ) 制服	9.1	3.8	0.2
(キ) 学習内容	17.3	15.8	14.0
(ク) 設置されている学科・コース	16.5	19.7	22.4
(ケ) 学校行事	11.9	10.1	1.3
(コ) 部活動の状況	23.9	13.8	12.5
(サ) 高校の周囲の環境（立地状況等）	4.7	6.2	4.0
(シ) その他	0.9	2.7	1.8

（参考 令和元年調査）

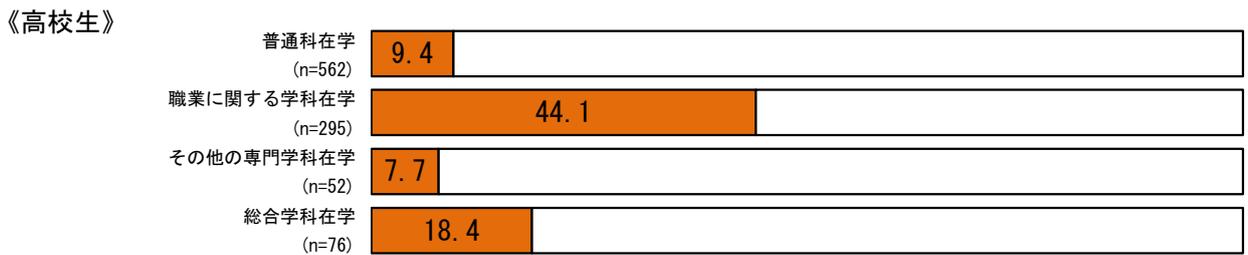
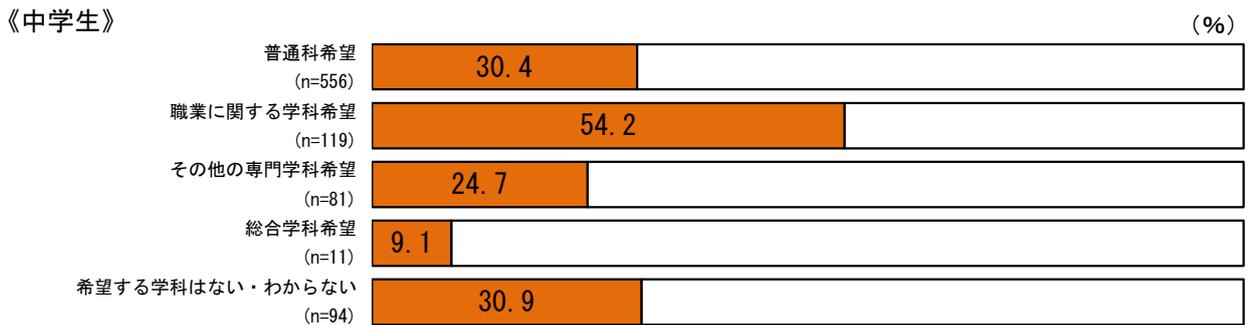
（複数回答、%）

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
(ア) 自分（子ども）の能力・適性	85.2	72.8	93.4
(イ) 保護者の意見	57.8	50.2	32.4
(ウ) 中学校の先生の意見	59.8	41.2	62.6
(エ) （子どもの）友人・先輩の意見	28.1	25.1	21.2
(オ) 就職のための有利さ	68.5	41.5	50.5
(カ) 進学のための有利さ	69.2	49.5	61.7
(キ) 通学の便利さ	46.9	50.1	60.1
(ク) 高校の校風やイメージ	47.6	43.6	55.1
(ケ) 設置されている学科・コース	55.5	51.5	67.5
(コ) 高校の授業内容	54.2	33.9	52.2
(サ) 部活動の状況	51.3	33.5	34.2
(シ) 高校の周囲の環境（立地状況等）	39.1	28.1	34.7

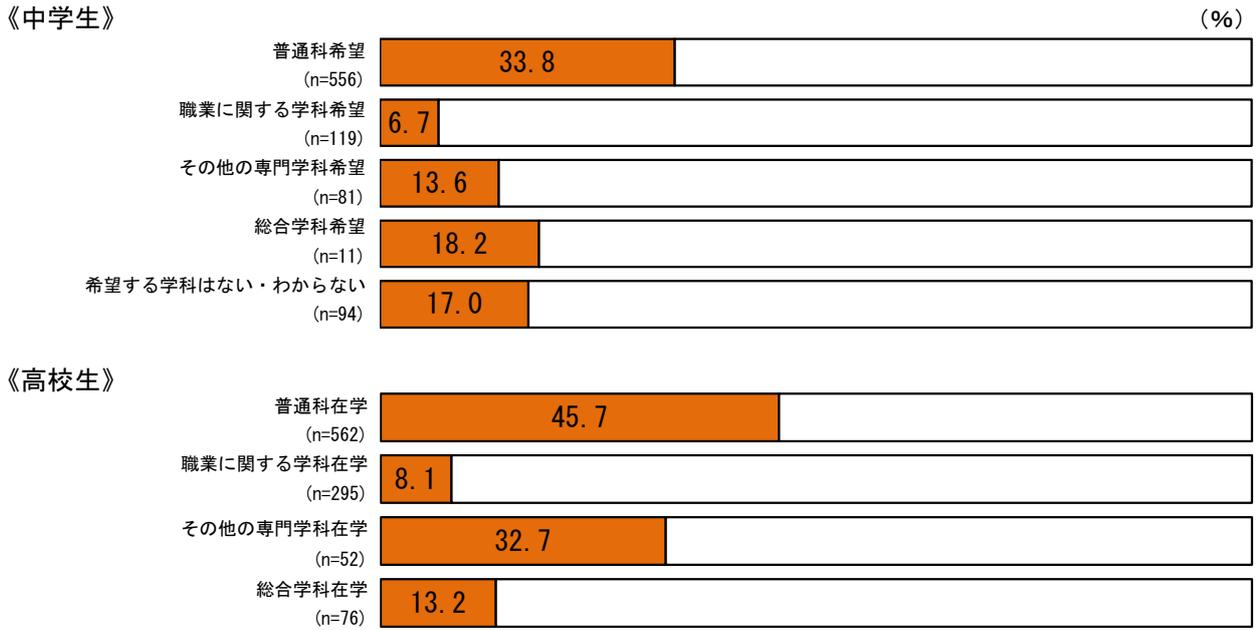
図表1 自分の能力・適性【在学（希望）学科別】



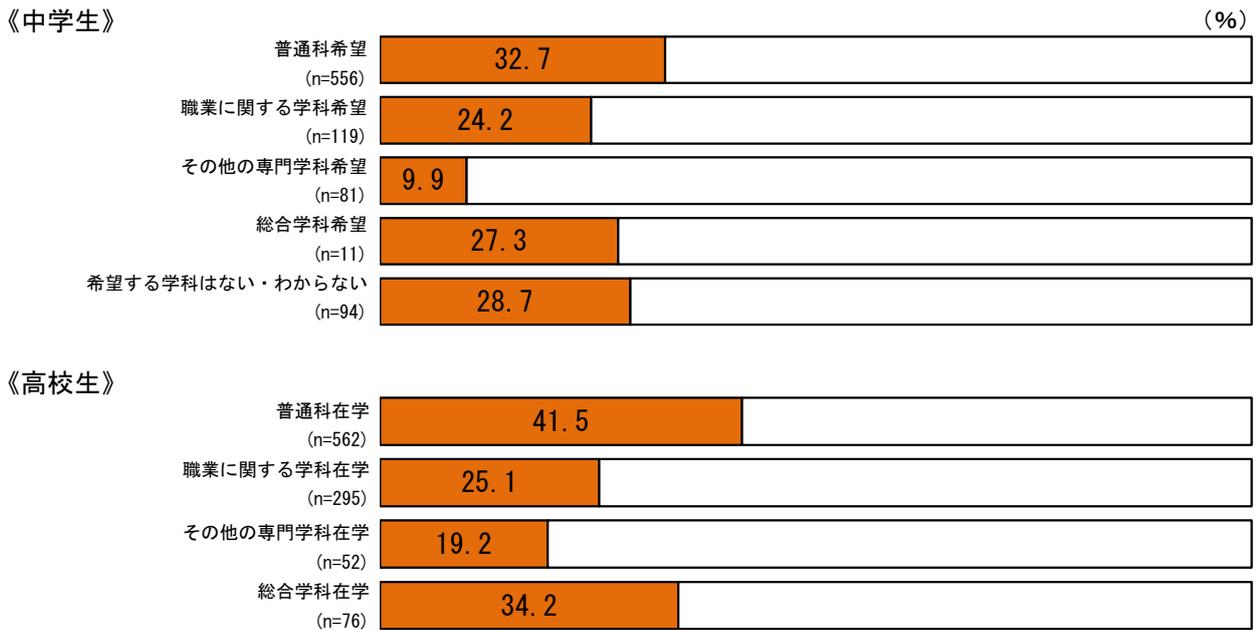
図表2 就職のための有利さ【在学（希望）学科別】



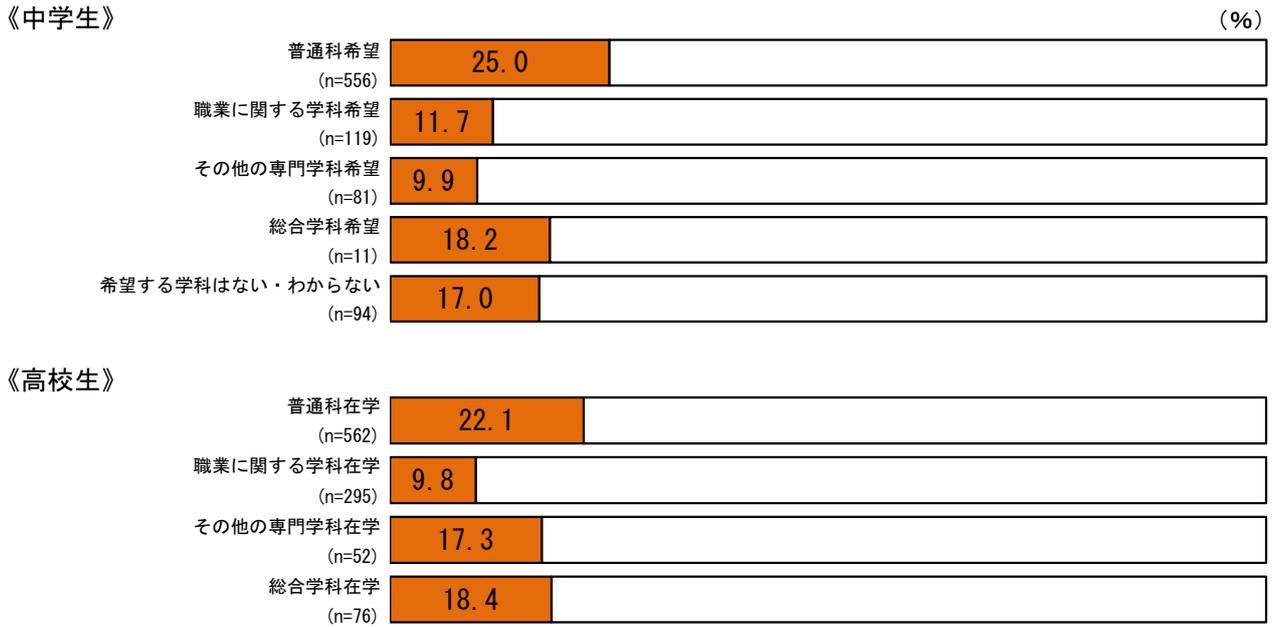
図表3 進学のための有利さ【在学（希望）学科別】



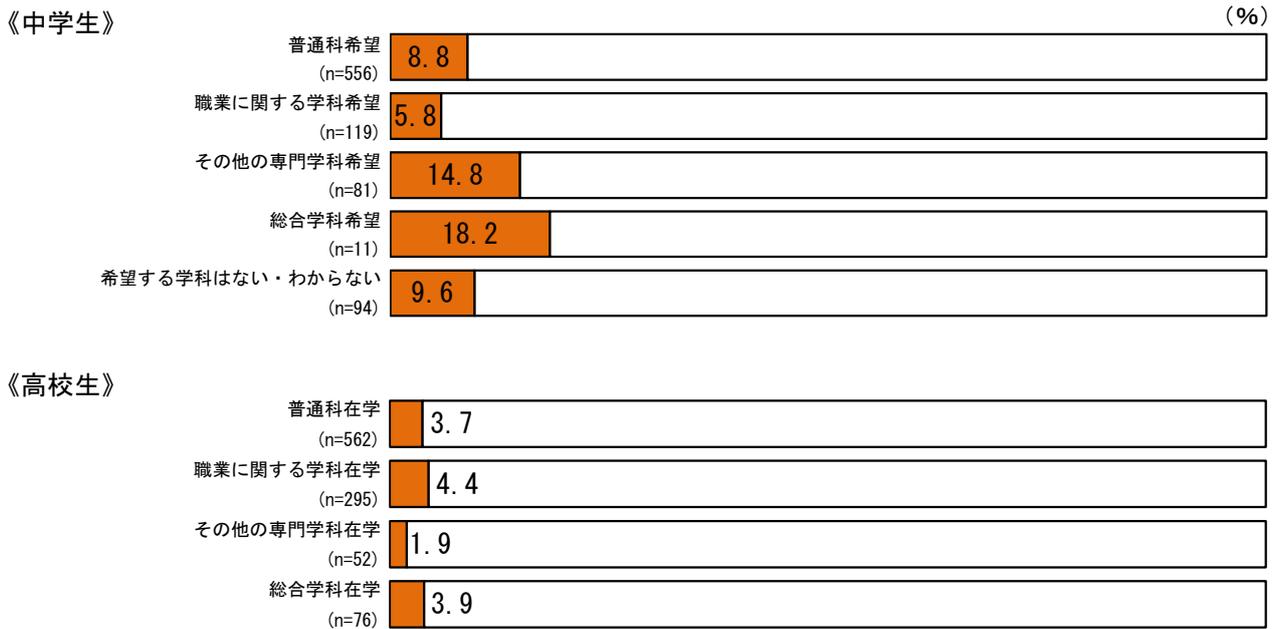
図表4 通学の便利さ【在学（希望）学科別】



図表5 高校の校風やイメージ【在学（希望）学科別】

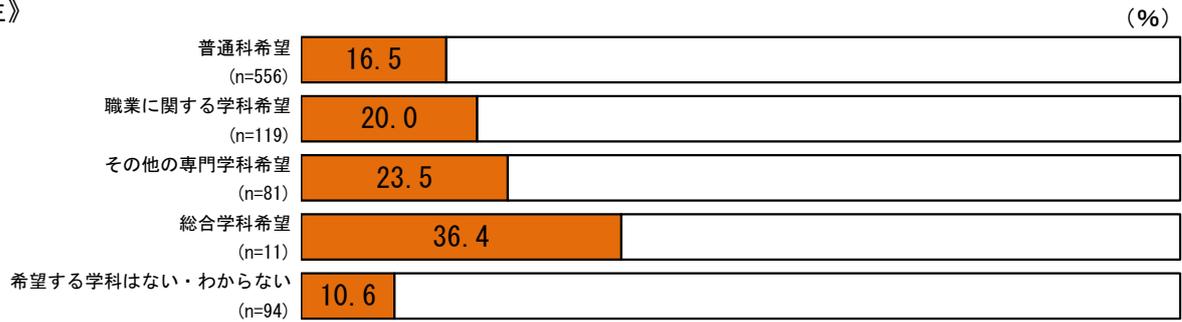


図表6 制服【在学（希望）学科別】

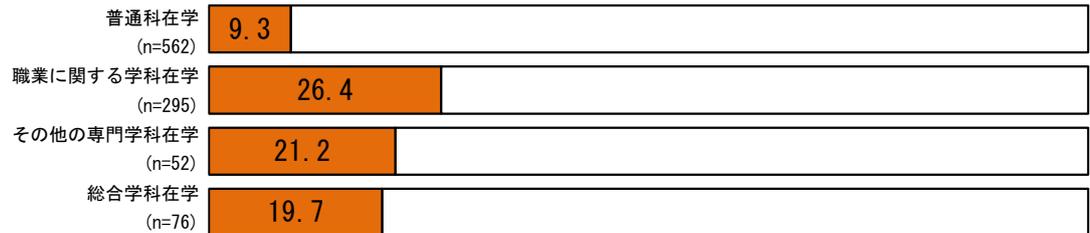


図表7 学習内容【在学（希望）学科別】

《中学生》

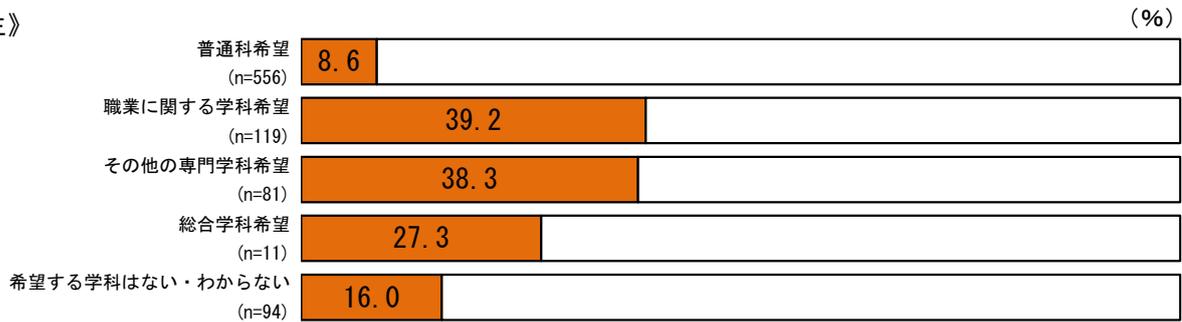


《高校生》

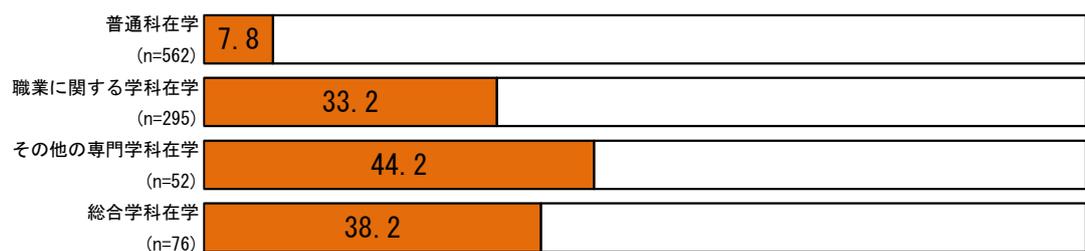


図表8 設置されている学科・コース【在学（希望）学科別】

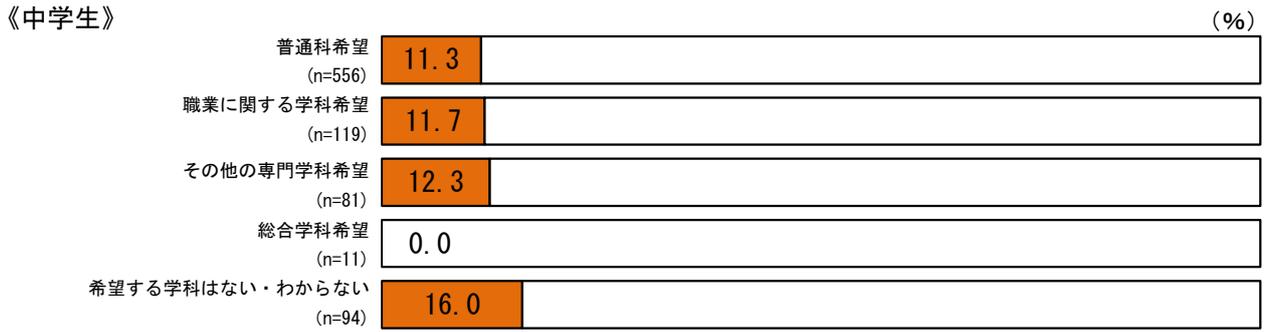
《中学生》



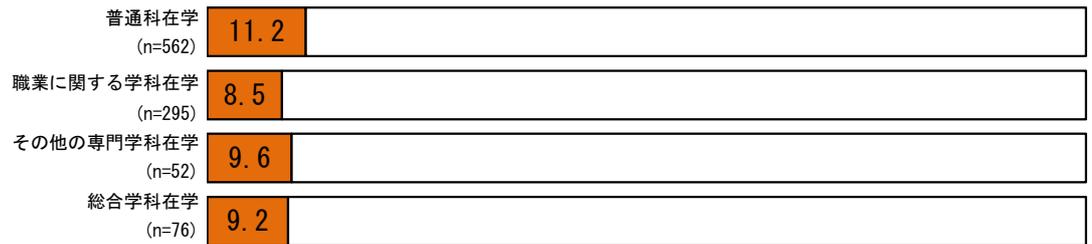
《高校生》



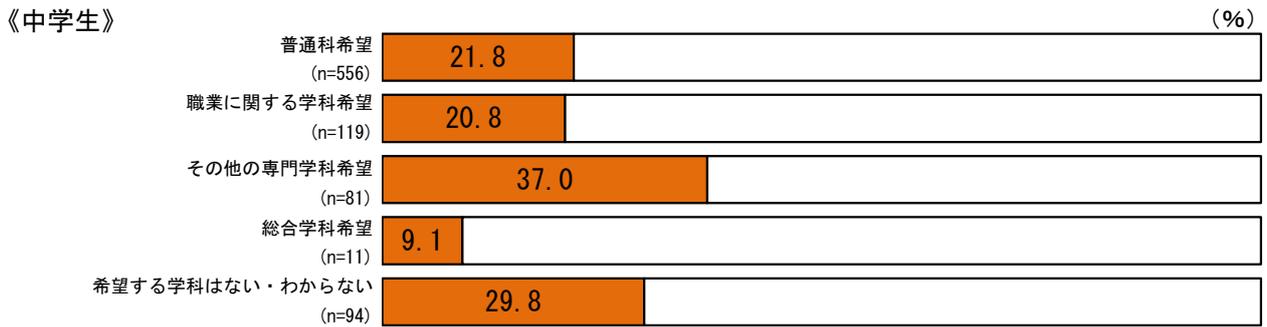
図表 9 学校行事【在学（希望）学科別】



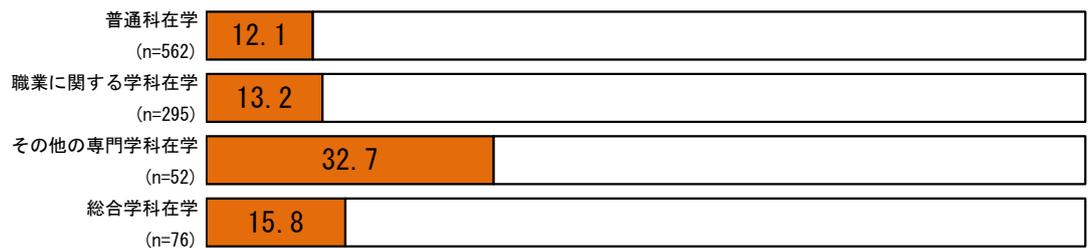
《高校生》



図表 10 部活動の状況【在学（希望）学科別】

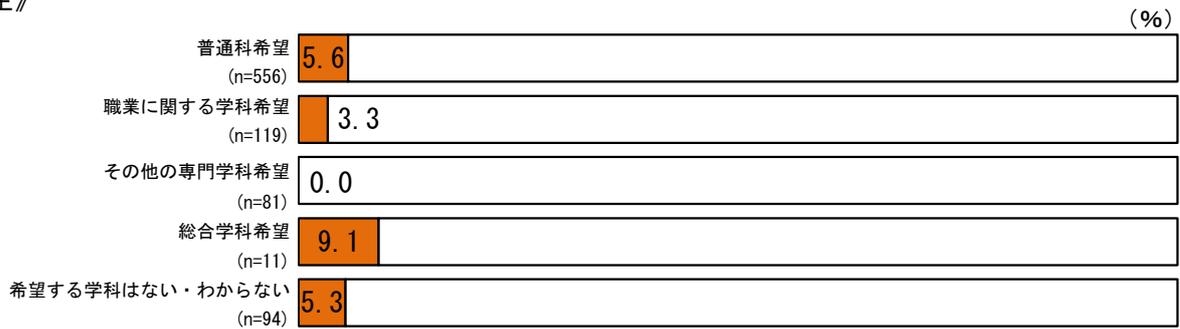


《高校生》

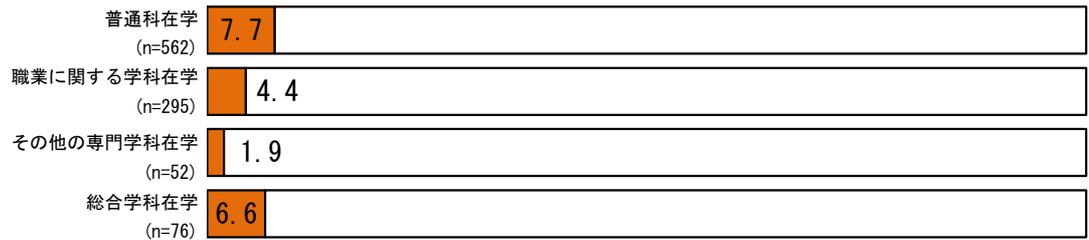


図表 1 1 高校の周囲の環境（立地状況等）【在学（希望）学科別】

《中学生》



《高校生》



すべての対象者で「自分（子ども）の能力・適性」を重視

高校を選ぶ際に重視することについて尋ねたところ、すべての対象者で「(ア) 自分（子ども）の能力・適性」を選択した割合が最も高く、中学生が65.2%、高校生が46.9%、中学生保護者が81.5%であった。

「(エ) 通学の便利さ」は、高校生が34.7%、中学生保護者が44.4%といずれも2番目に高く、中学生では28.8%と3番目に高かった。

「(ウ) 進学のための有利さ」は、高校生が31.3%、中学生保護者が35.5%といずれも3番目に高いが、中学生は26.1%であった。

「(イ) 就職のための有利さ」は、中学生が32.9%と2番目に高いが、高校生は20.3%、中学生保護者は22.5%といずれも20%台であった。

「(コ) 部活動の状況」は、高校生が13.8%、中学生保護者が12.5%であったが、中学生は23.9%と、高校生と比べて10.1ポイント高かった。

在学（希望）学科別に見ると、「(ウ) 進学のための有利さ」を選択した割合が、中学生全体では26.1%であったが、普通科を希望する中学生では33.8%となり、「(ア) 自分（子ども）の能力・適性」の67.6%に次いで高い項目となった。（図表3参照）

また、「(イ) 就職のための有利さ」を選択した割合が、高校生全体では20.3%であったが、職業に関する学科に在籍する高校生では44.1%と最も高い割合となった。（図表2参照）

3 スクール・ミッション、スクール・ポリシーの活用

問3 県教育委員会では、魅力ある高校づくりを進める一環としてスクール・ミッションを定め、各県立高校では、スクール・ミッションを踏まえてスクール・ポリシーを定めたところです。

あなたは、スクール・ミッションやスクール・ポリシーを進路選択（進路指導）に活用したいと思いますか。 (％)

	中学生	中学生保護者	中学校教員
回答者数	867	906	146
ぜひ活用したい	13.0	11.0	13.7
活用したい	32.0	41.5	61.6
活用したくない	2.0	0.9	0.7
わからない	52.1	45.8	22.6
無回答	0.9	0.8	1.4

《 高校への通学方法等 》

4 入学したい高校の通学範囲

問4 あなたは、(お子さんに) どのような通学範囲にある高校に入学したい(してほしい)ですか。

(%)

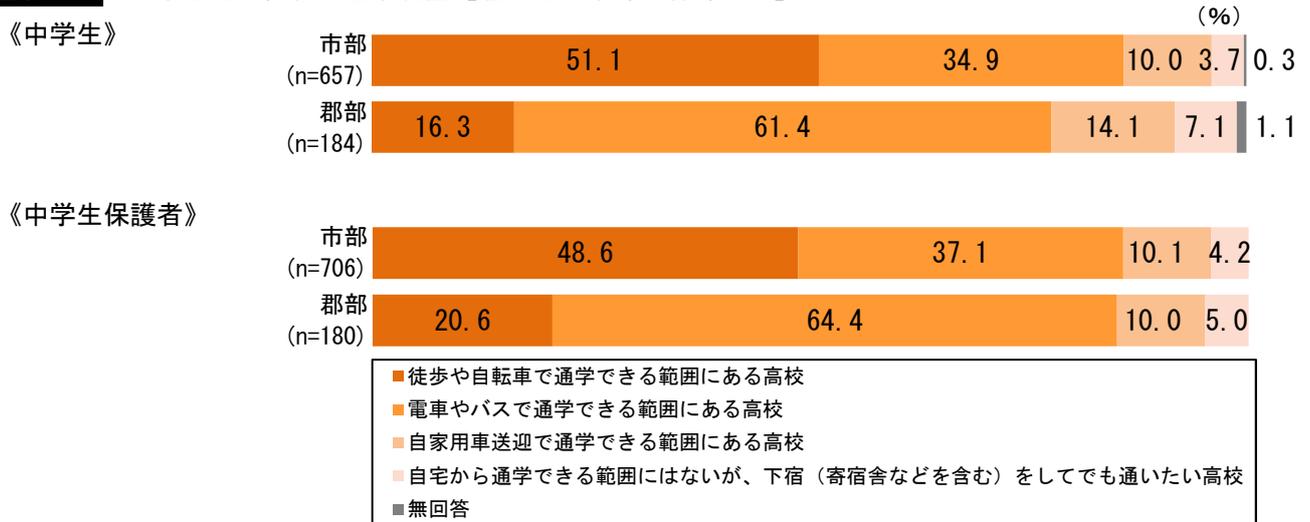
	中学生	中学生保護者
回答者数	867	906
徒歩や自転車で通学できる範囲にある高校	 43.8	 43.1
電車やバスで通学できる範囲にある高校	 40.5	 42.7
自家用車送迎で通学できる範囲にある高校	 10.8	 9.9
自宅から通学できる範囲にはないが、下宿(寄宿舎などを含む)をしてでも通いたい高校	 4.3	 4.3
無回答	0.6	-

(参考 令和元年調査)

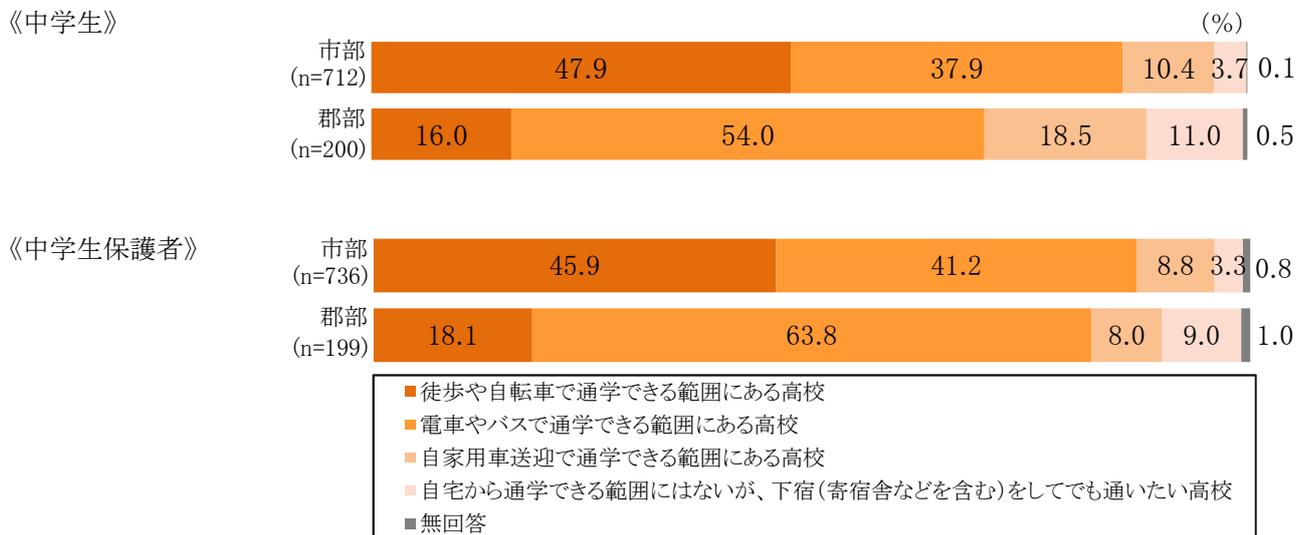
(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	913	945
徒歩や自転車で通学できる範囲にある高校	 40.9	 40.0
電車やバスで通学できる範囲にある高校	 41.5	 46.0
自家用車送迎で通学できる範囲にある高校	 12.2	 8.6
自宅から通学できる範囲にはないが、下宿(寄宿舎などを含む)をしてでも通いたい高校	 5.3	 4.6
無回答	0.2	0.8

図表 1 2 入学したい高校の通学範囲【居住地（市部・郡部）別】



(参考 令和元年調査)



「徒歩や自転車」、「電車やバス」の2項目を合わせて8割以上

どのような通学範囲にある高校に入学したい（してほしい）か尋ねたところ、「徒歩や自転車で通学できる範囲にある高校」が中学生で43.8%、中学生保護者で43.1%と最も高い割合となった。

居住地別にみると、すべての対象者で市部では「徒歩や自転車で通学できる範囲にある高校」、郡部では「電車やバスで通学できる範囲にある高校」が最も高い割合となった。令和元年調査と比較すると、「電車やバスで通学できる範囲にある高校」を選んだ郡部の中学生は、54.0%から61.4%と7.4ポイント増加した。（図表 1 2 参照）

また、郡部の中学生保護者では、「自宅から通学できる範囲にはないが、下宿（寄宿舎などを含む）をしてでも通いたい高校」の割合のみ低くなった。

5 主な通学方法

問5 お子さんの主な通学方法（夏季）は何ですか。

（複数の交通手段を利用して通学している場合は、あてはまるものすべてに○）

（複数回答、%）

	高校生保護者
回答者数	976
徒歩	15.5
自転車	51.1
電車	28.0
路線バス	24.3
スクールバス	2.5
自家用車送迎	42.4
その他	0.3

注）路線バスは、高校生だけでなく一般の利用者も同乗するバス。スクールバスは、学校や保護者団体等が高校生の通学のために、貸切にして運行しているバス。

（参考 令和元年調査）

（複数回答、%）

	高校生
回答者数	997
徒歩	20.6
自転車	57.1
電車	18.1
路線バス	16.0
スクールバス	3.1
自家用車送迎	34.7
その他	0.3
無回答	0.5

図表 1 3 主な通学方法【居住地（市部・郡部）別】 (複数回答、%)

(n)	徒歩	自転車	電車	路線バス	スクールバス	自家用車送迎	その他
【高校生保護者】							
市部 (709)	14.8	58.1	22.7	24.0	1.4	39.2	0.1
郡部 (234)	17.2	31.1	44.5	25.2	5.9	53.8	0.8

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

(n)	徒歩	自転車	電車	路線バス	スクールバス	自家用車送迎	その他	無回答
【高校生】								
市部 (743)	17.9	63.8	15.3	15.5	1.7	32.2	0.3	0.5
郡部 (230)	29.6	35.7	25.7	17.4	7.8	44.3	0.4	0.4

図表 1 4 主な通学方法【高校の所在地別】 (複数回答、%)

(n)	徒歩	自転車	電車	路線バス	スクールバス	自家用車送迎	その他
【高校生保護者】							
現在住んでいる市町村にある高校に通学 (678)	16.2	58.4	15.5	23.2	3.1	39.1	0.1
他の市町村にある高校に通学 (294)	13.9	35.0	57.1	27.2	1.0	50.7	0.7

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

(n)	徒歩	自転車	電車	路線バス	スクールバス	自家用車送迎	その他	無回答
【高校生】								
現在住んでいる市町村にある高校に通学 (731)	20.5	62.1	10.1	14.0	2.7	31.1	-	0.4
他の市町村にある高校に通学 (243)	21.0	41.6	41.6	22.2	4.5	46.1	1.2	0.8

「自転車」が51.1%で最も高い割合

お子さんの主な通学方法（夏季）について尋ねたところ、「自転車」が51.1%で最も高い割合となり、次いで「自家用車送迎」が42.4%、「電車」が28.0%と続いた。

令和元年調査と比較すると、「自家用車送迎」の割合が34.7%から42.4%と7.7ポイント増加した。

居住地別にみると、市部では「自転車」が58.1%、郡部では「自家用車送迎」が53.8%と最も高い割合となった。（図表13参照）

高校の所在地別にみると、「現在住んでいる市町村にある高校に通学」の場合は「自転車」が58.4%と最も高く、次いで「自家用車送迎」が39.1%であった。「他の市町村にある高校に通学」の場合は「電車」が57.1%と最も高く、次いで「自家用車送迎」が50.7%であった。（図表14参照）

5 - (付問 1) 1 か月間の通学費

問5 付問 1 お子さんの通学に要する費用（夏季）は、1 か月どれくらいですか。 (%)

	高校生保護者
回答者数	480
1万円未満	58.5
1万円以上2万円未満	29.6
2万円以上3万円未満	5.6
3万円以上4万円未満	2.1
4万円以上5万円未満	0.8
5万円以上	2.1
無回答	1.3

(参考 令和元年調査) (%)

	高校生
回答者数	345
1万円未満	59.1
1万円以上2万円未満	21.7
2万円以上3万円未満	6.1
3万円以上4万円未満	5.8
4万円以上5万円未満	1.2
5万円以上	2.9
無回答	3.2

図表 15 1 か月間の通学費【居住地（市部・郡部）別】 (%)

(n)	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上	無回答
【高校生保護者】							
市部 (313)	61.7	27.5	5.4	1.6	0.6	1.6	1.6
郡部 (152)	53.3	33.5	5.9	2.6	0.7	3.3	0.7

(参考 令和元年調査) (%)

(n)	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上	無回答
【高校生】							
市部 (229)	57.6	24.0	6.6	5.2	0.4	2.6	3.5
郡部 (105)	61.0	18.1	4.8	7.6	2.9	2.9	2.9

図表 1 6 1 か月間の通学費【高校の所在地別】

(%)

(n)	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上	無回答
【高校生保護者】							
現在住んでいる市町村にある高校に通学 (265)	69.8	21.1	4.2	1.9	0.4	1.1	1.5
他の市町村にある高校に通学 (215)	44.2	40.0	7.4	2.3	1.4	3.3	1.4

(参考 令和元年調査)

(%)

(n)	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上	無回答
【高校生】							
現在住んでいる市町村にある高校に通学 (191)	64.9	17.8	4.7	6.3	-	1.6	4.7
他の市町村にある高校に通学 (145)	50.3	28.3	7.6	5.5	2.8	4.1	1.4

「1万円未満」が58.5%で最も高い割合

お子さんが電車、バスを利用している保護者に、1か月間の通学費について尋ねたところ、「1万円未満」が58.5%で最も高い割合となり、次いで「1万円以上2万円未満」が29.6%であった。

居住地別にみると、市部・郡部ともに「1万円未満」が最も高い割合であった。(図表15参照)

高校の所在地別にみると、「現在住んでいる市町村にある高校に通学」の場合は「1万円未満」が69.8%と最も高く、「他の市町村にある高校に通学」の場合は「1万円未満」が44.2%、次いで「1万円以上2万円未満」が40.0%であった。(図表16参照)

6 通学時間

問6 あなたの通学に要する時間（夏季）は、片道どれくらいですか（お子さんが入学したい高校への通学に要する時間（夏季）として、許容できる時間は片道どれくらいですか）。 (%)

	高校生	中学生保護者
回答者数	995	906
30分未満	53.4	35.2
30分以上1時間未満	33.9	57.7
1時間以上1時間30分未満	9.7	5.6
1時間30分以上2時間未満	2.1	1.0
2時間以上	0.4	0.4
無回答	0.5	0.1

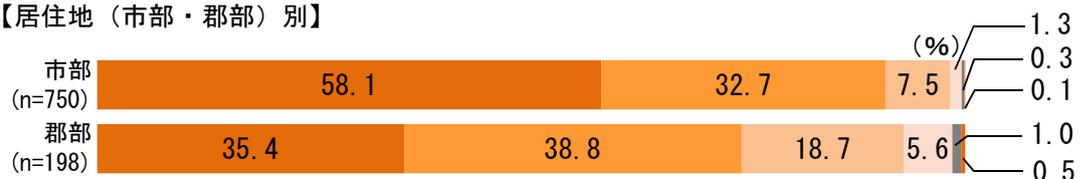
(参考 令和元年調査)

(%)

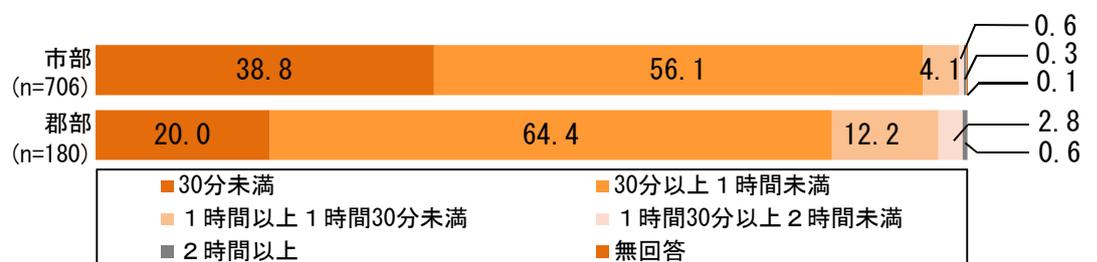
	高校生	中学生保護者
回答者数	997	945
30分未満	58.8	33.8
30分以上1時間未満	32.2	60.2
1時間以上1時間30分未満	7.0	5.1
1時間30分以上2時間未満	0.9	0.3
2時間以上	0.3	0.2
無回答	0.8	0.4

図表17 通学時間【居住地（市部・郡部）別】

《高校生》

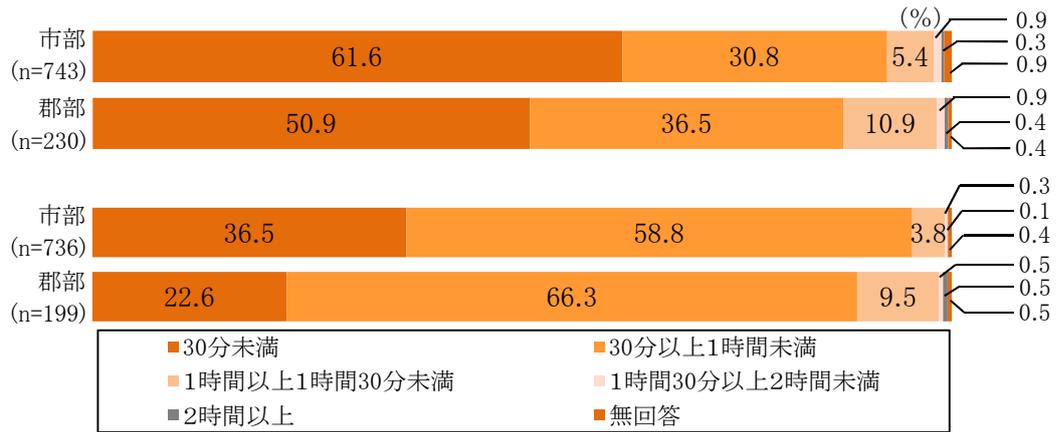


《中学生保護者》



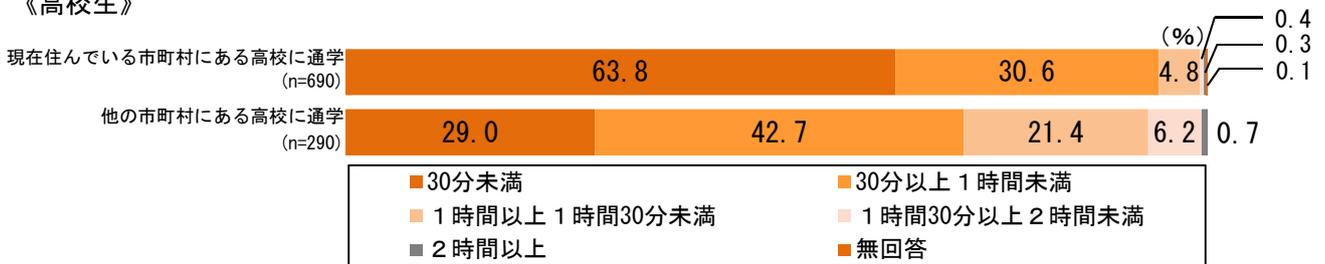
(参考 令和元年調査)

《高校生》



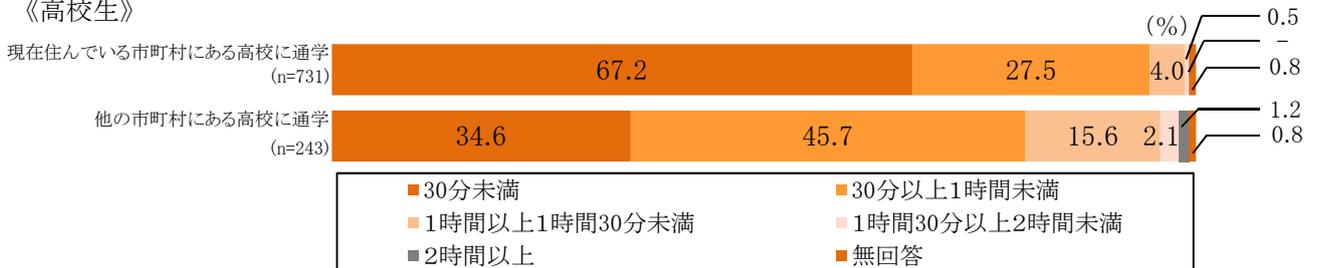
図表 1 8 通学時間【高校の所在地別】

《高校生》



(参考 令和元年調査)

《高校生》



通学時間は「1時間未満」が約9割

高校生に、通学に要する時間（夏季・片道）について尋ねたところ、「30分未満」が53.4%と最も高い割合となった。また、中学生保護者に、お子さんが入学したい高校への通学に要する時間（夏季・片道）として許容できる時間について尋ねたところ、「30分以上1時間未満」が57.7%と最も高い割合となった。高校生、中学生保護者とも「30分未満」、「30分以上1時間未満」を合わせた割合は約9割となった。

居住地別にみると、市部の高校生は「30分未満」の割合が最も高く、郡部の高校生と市部・郡部の中学生保護者では「30分以上1時間未満」の割合が最も高かった。（図表17参照）

高校の所在地別にみると、「現在住んでいる市町村にある高校に通学」の場合は「30分未満」が63.8%で、「他の市町村にある高校に通学」の場合は「30分以上1時間未満」が42.7%で最も高くなった。（図表18参照）

7 通学支援の必要性

問7 高校生の通学に関して、あなたは、どのような公的支援が必要だと思いますか。(〇は2つまで)
(複数回答、%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	976	906	145	146	131
スクールバスの運行	54.7	76.7	55.9	70.5	69.5
寄宿舎の設置・運営	5.2	8.8	12.4	13.0	13.7
奨学金等の拡充	32.3	40.6	44.1	54.1	51.9
通学支援の必要はない	15.2	6.8	13.8	6.2	7.6
その他	9.0	4.2	7.6	2.7	5.3

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	994	945	141	143	127
スクールバスの運行	56.0	68.4	56.0	71.3	70.1
寄宿舎の設置・運営	6.1	8.8	12.8	11.2	9.4
奨学金等の拡充	33.8	40.6	34.8	55.9	52.8
通学支援の必要はない	15.0	10.1	19.1	7.7	6.3
その他	6.9	4.4	5.7	1.4	3.1
無回答	2.7	1.4	2.1	1.4	3.1

すべての対象者で「スクールバスの運行」が最も高い割合

高校生の通学に関して尋ねたところ、すべての対象者で「スクールバスの運行」の割合が最も高く、「奨学金等の拡充」が2番目に高かった。

《 高校生活、高校卒業後の進路等 》

8 どのような高校生活を送っているか

問8 あなたは、どのような高校生活を送っていますか（送りたいと思いますか）。（○は3つまで）

(複数回答、%)

	中学生	高校生
回答者数	867	995
学習に力を入れている(入りたい)	60.6	49.3
生徒会活動、学校行事に力を入れている(入りたい)	19.6	17.6
部活動に力を入れている(入りたい)	39.2	51.3
資格取得をめざしている(めざしたい)	24.3	22.7
ボランティアなど学校外での活動に力を入れている(入りたい)	3.2	6.2
多くの友達と交流している(したい)	63.7	52.6
自分の興味・関心に応じて幅広い教養を身に付けている(付けたい)	32.2	17.5
その他	1.2	0.9
まだ考えていない	3.0	-

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	中学生	高校生
回答者数	913	997
学習に力を入れている(入りたい)	69.7	49.1
生徒会活動、学校行事に力を入れている(入りたい)	21.4	17.3
部活動に力を入れている(入りたい)	44.9	54.1
資格取得をめざしている(めざしたい)	28.0	28.1
ボランティアなど地域での活動に力を入れている(入りたい)	7.0	7.9
多くの友達と交流している(したい)	56.2	45.3
多くの本を読むなど幅広い教養を身に付けている(付けたい)	10.7	5.4
その他	1.6	1.6
特に力を入れて取り組んでいるものはない	-	6.7
まだ考えていない	5.4	-
無回答	2.2	2.1

「多くの友達と交流している（したい）」が最も高い割合

どのような高校生活を送っているか（送りたいと思うか）尋ねたところ、中学生は「多くの友達と交流したい」が63.7%で最も高い割合となり、次いで「学習に力を入りたい」が60.6%、「部活動に力を入りたい」が39.2%と続いた。

一方、高校生は「多くの友達と交流している」が52.6%で最も高い割合となり、次いで「部活動に力を入れている」が51.3%、「学習に力を入れている」が49.3%と続いた。

令和元年調査と比較すると、「多くの友達と交流している（したい）」の割合が中学生、高校生ともに高くなった。

9 高校の満足度

問9 あなたの通っている高校についてうかがいます。次の（ア）～（オ）の満足度について、それぞれお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）学習する教科の内容について

(%)

	高校生
回答者数	995
満足している	50.3
どちらかといえば満足している	36.7
どちらともいえない	8.2
どちらかといえば満足していない	2.8
満足していない	1.2
無回答	0.8
満足(計)	87.0
満足していない(計)	4.0

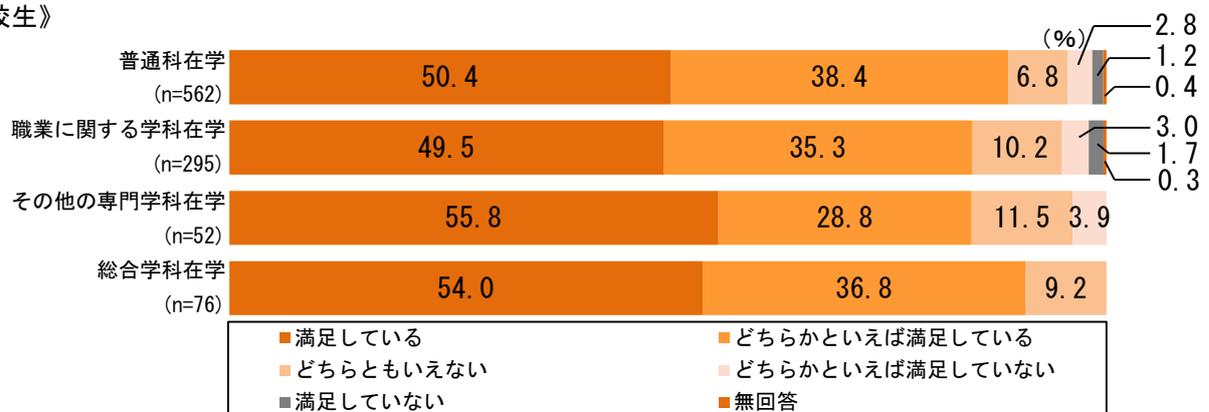
（参考 令和元年調査）

(%)

	高校生
回答者数	997
満足している	41.4
どちらかといえば満足している	39.0
どちらともいえない	13.4
どちらかといえば満足していない	3.5
満足していない	2.2
無回答	0.4
満足(計)	80.4
満足していない(計)	5.7

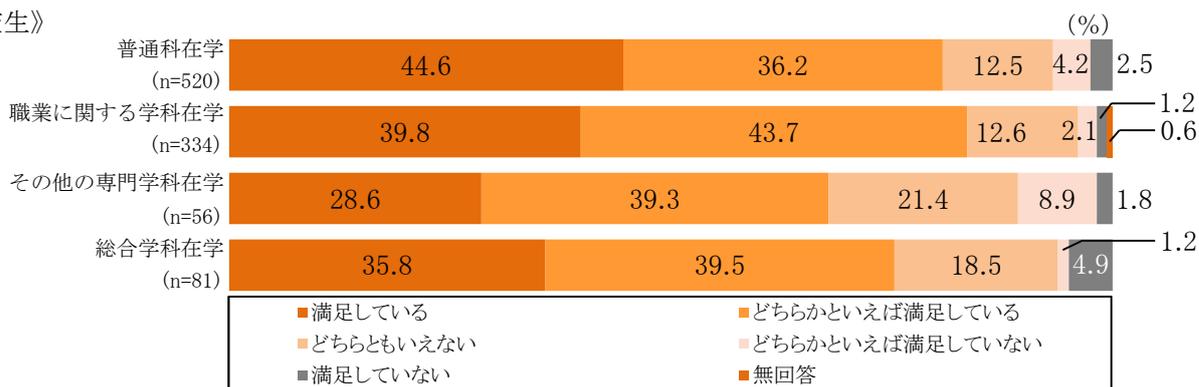
図表19 学習する教科の内容【在学学科別】

《高校生》



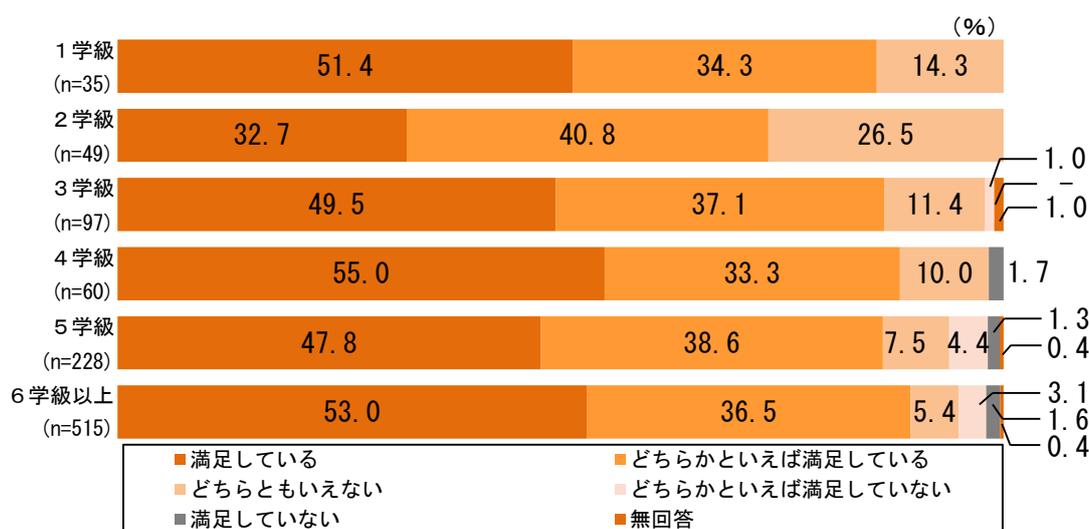
(参考 令和元年調査)

《高校生》



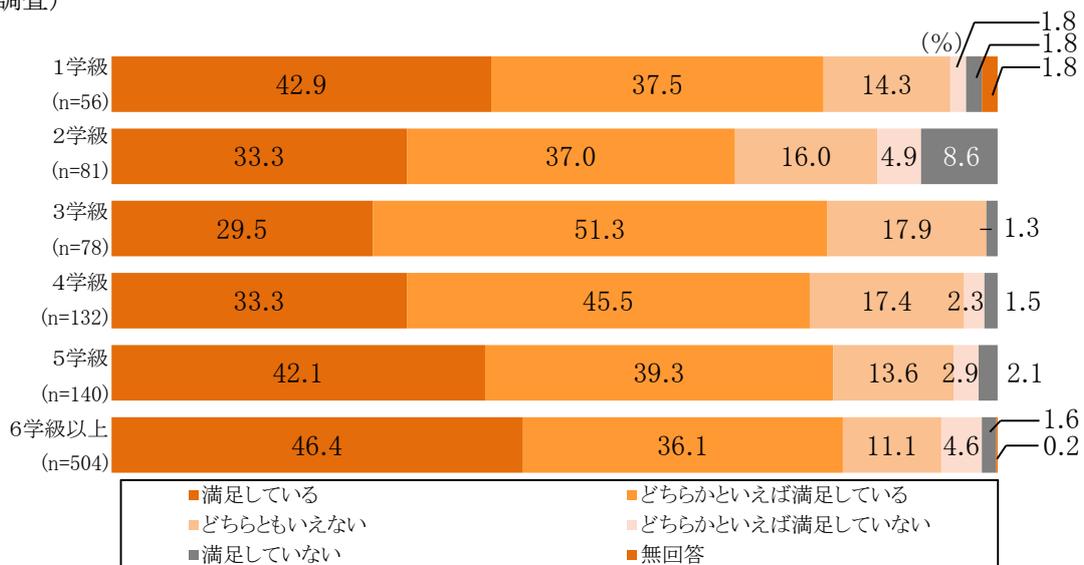
図表20 学習する教科の内容【学校の規模別】

《高校生》



(参考 令和元年調査)

《高校生》



(イ) 先生の授業の進め方について

(%)

		高校生
回答者数		995
満足している		34.5
どちらかといえば満足している		41.5
どちらともいえない		15.9
どちらかといえば満足していない		5.1
満足していない		1.8
無回答		1.2
満足(計)		76.0
満足していない(計)		6.9

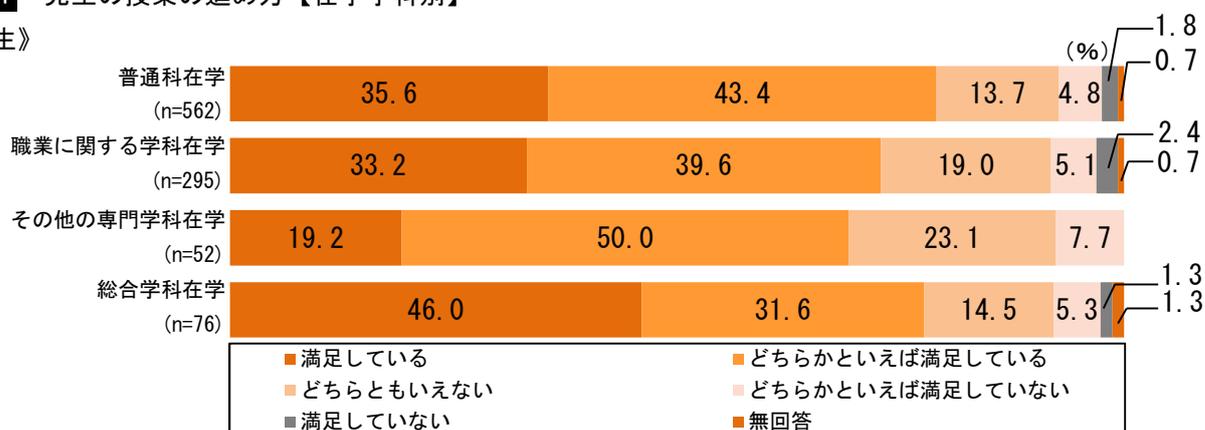
(参考 令和元年調査)

(%)

		高校生
回答者数		997
満足している		26.2
どちらかといえば満足している		39.0
どちらともいえない		23.2
どちらかといえば満足していない		8.5
満足していない		2.8
無回答		0.3
満足(計)		65.2
満足していない(計)		11.3

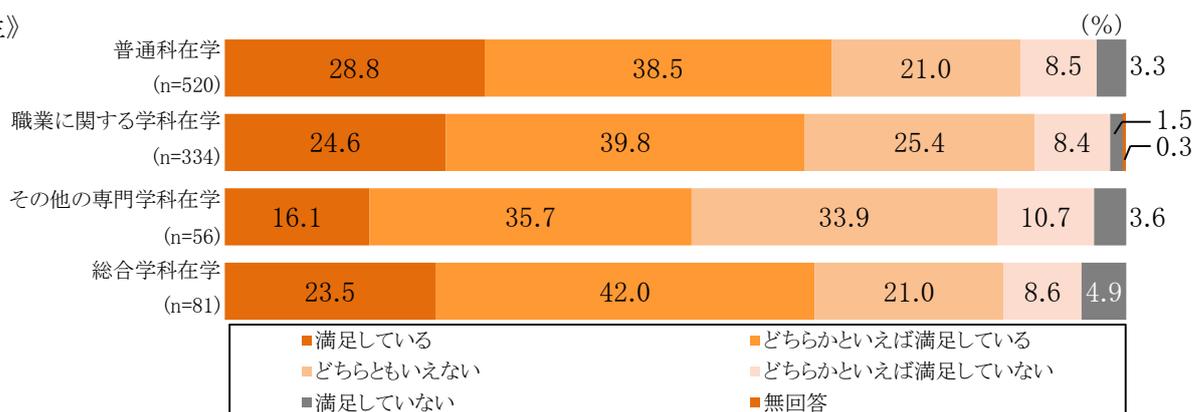
図表 2 1 先生の授業の進め方【在学学科別】

《高校生》



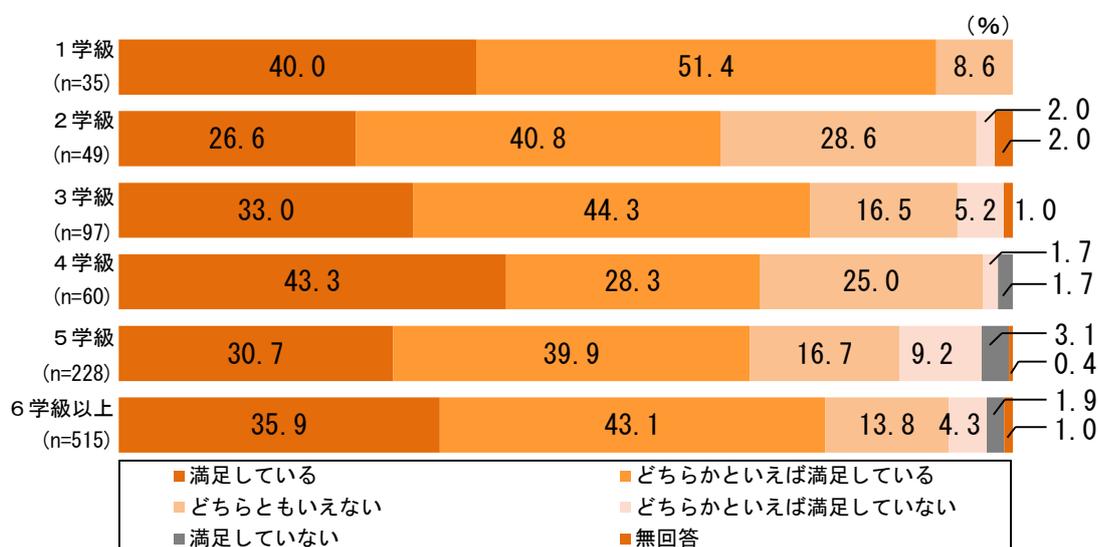
(参考 令和元年調査)

《高校生》



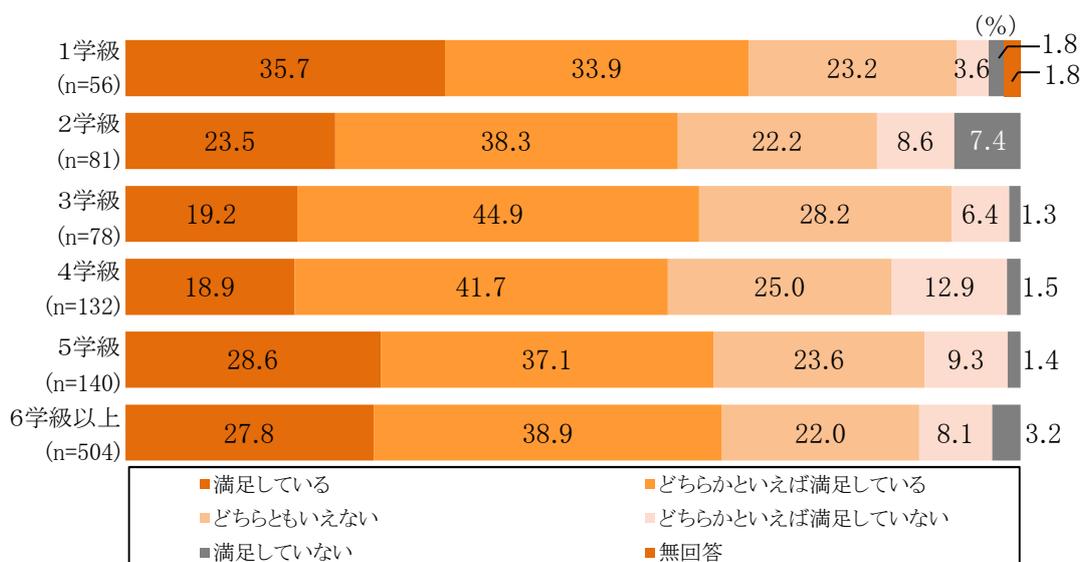
図表 2 2 先生の授業の進め方【学校の規模別】

《高校生》



(参考 令和元年調査)

《高校生》



(ウ) 授業以外の生徒指導や進路指導について

(%)

高校生	
回答者数	995
満足している	35.3
どちらかといえば満足している	33.8
どちらともいえない	18.2
どちらかといえば満足していない	7.2
満足していない	4.2
無回答	1.3
満足(計)	69.1
満足していない(計)	11.4

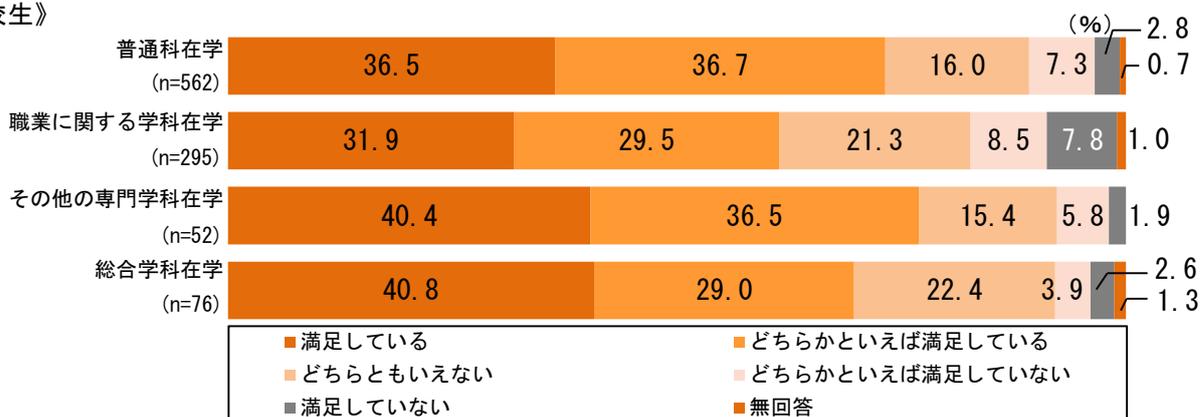
(参考 令和元年調査)

(%)

高校生	
回答者数	997
満足している	28.5
どちらかといえば満足している	31.8
どちらともいえない	26.5
どちらかといえば満足していない	7.2
満足していない	4.9
無回答	1.1
満足(計)	60.3
満足していない(計)	12.1

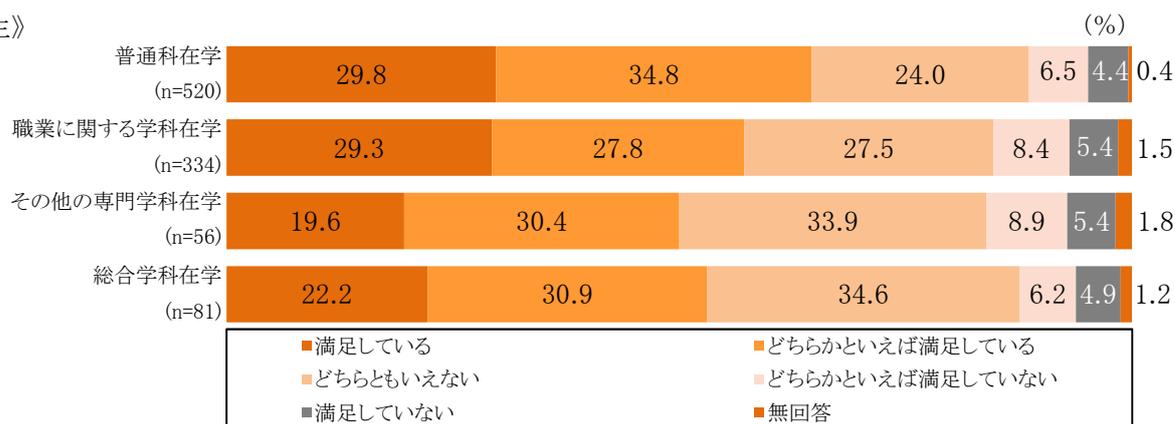
図表 2 3 授業以外の生徒指導や進路指導【在学学科別】

《高校生》



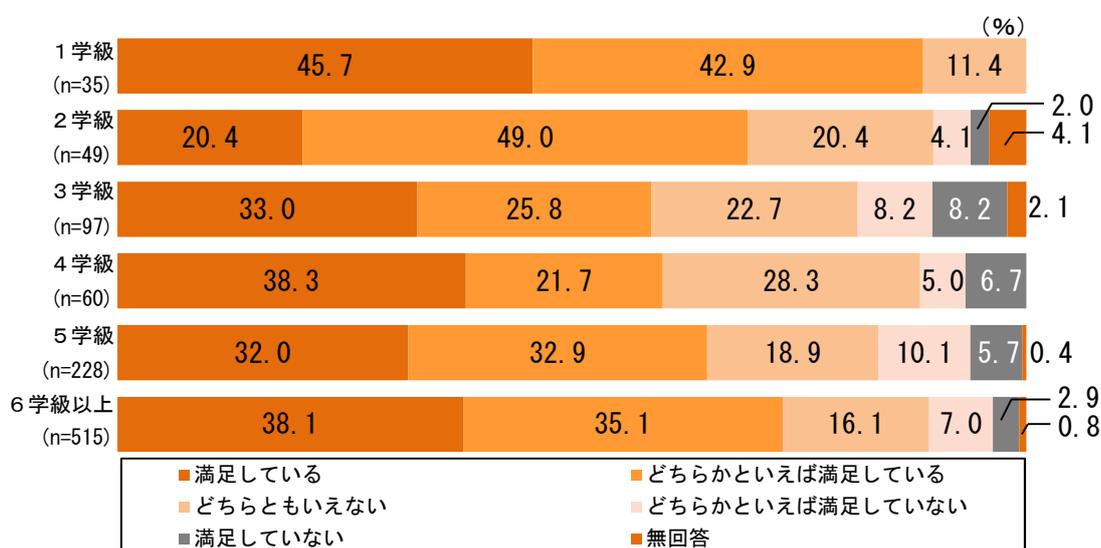
(参考 令和元年調査)

《高校生》



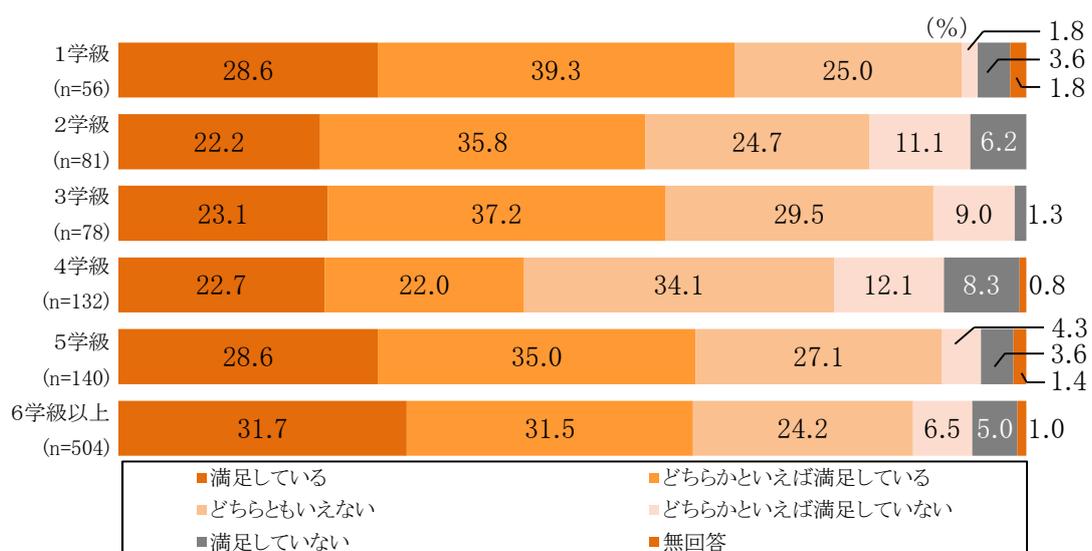
図表 2 4 授業以外の生徒指導や進路指導【学校の規模別】

《高校生》



(参考 令和元年調査)

《高校生》



(エ) 部活動について

(%)

	高校生
回答者数	995
満足している	46.8
どちらかといえば満足している	27.1
どちらともいえない	15.5
どちらかといえば満足していない	5.2
満足していない	4.1
無回答	1.3
満足(計)	73.9
満足していない(計)	9.3

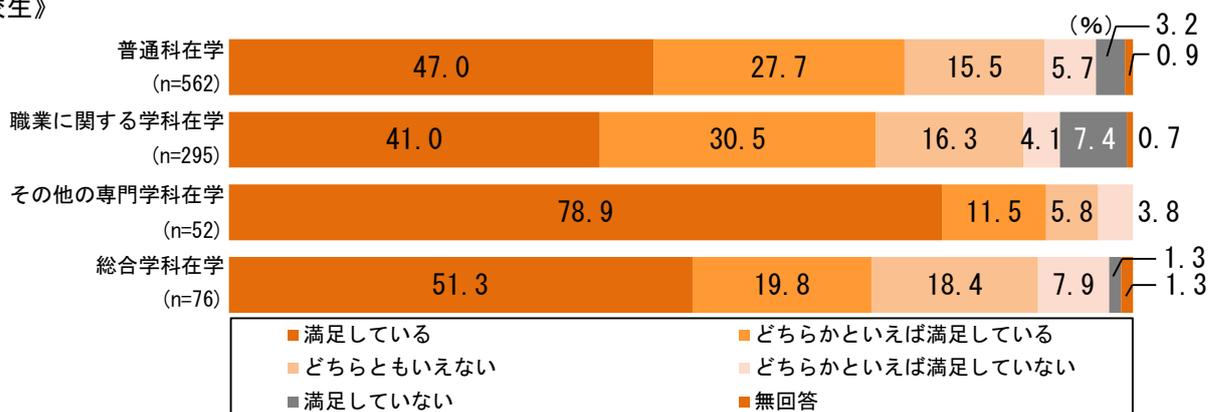
(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生
回答者数	997
満足している	39.6
どちらかといえば満足している	26.1
どちらともいえない	22.5
どちらかといえば満足していない	5.3
満足していない	5.6
無回答	0.9
満足(計)	65.7
満足していない(計)	10.9

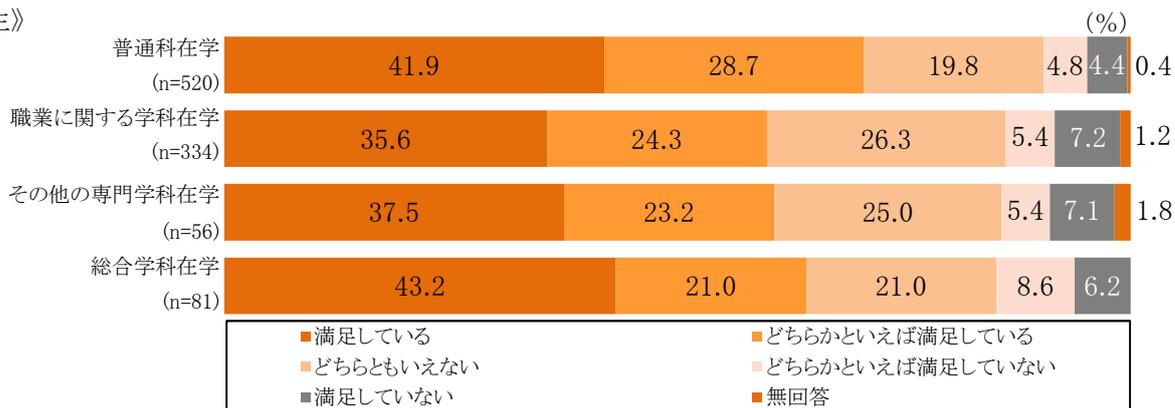
図表 2 5 部活動【在学学科別】

《高校生》



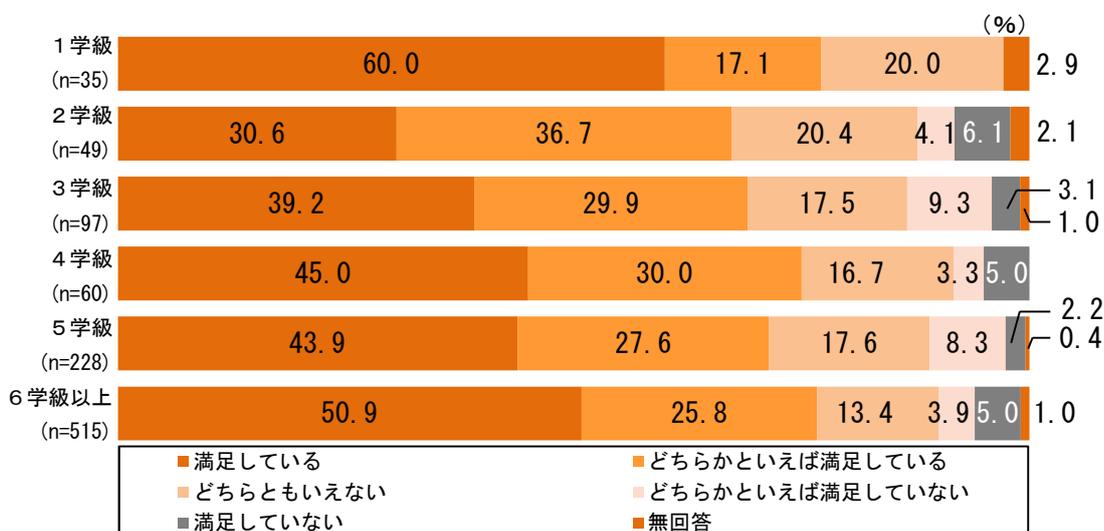
(参考 令和元年調査)

《高校生》



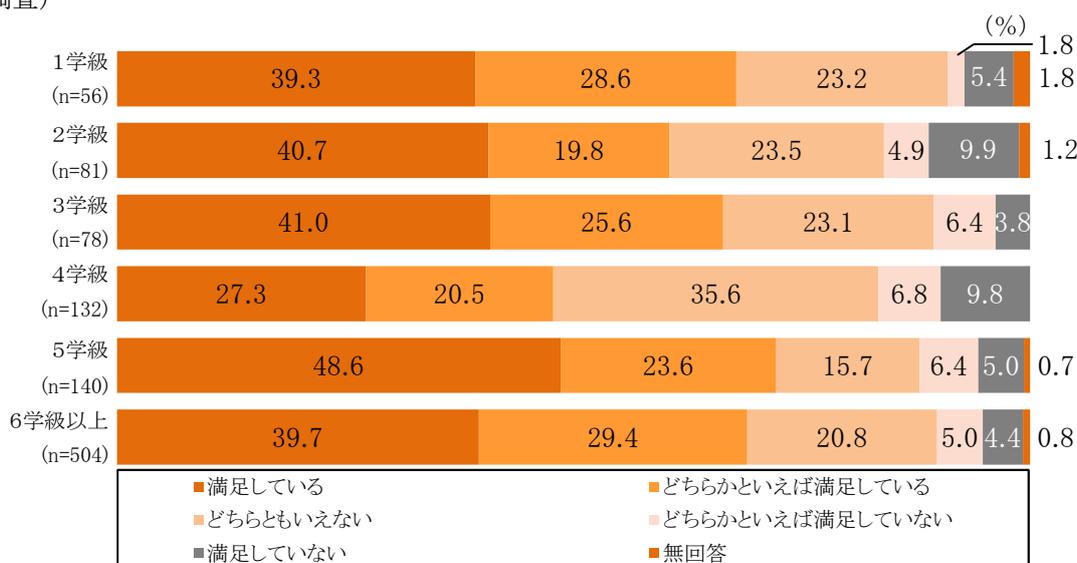
図表 2 6 部活動【学校の規模別】

《高校生》



(参考 令和元年調査)

《高校生》



(オ) 文化祭や体育祭などの学校行事について

(%)

	高校生
回答者数	995
満足している	51.1
どちらかといえば満足している	30.2
どちらともいえない	9.6
どちらかといえば満足していない	5.9
満足していない	1.9
無回答	1.3
満足(計)	81.3
満足していない(計)	7.8

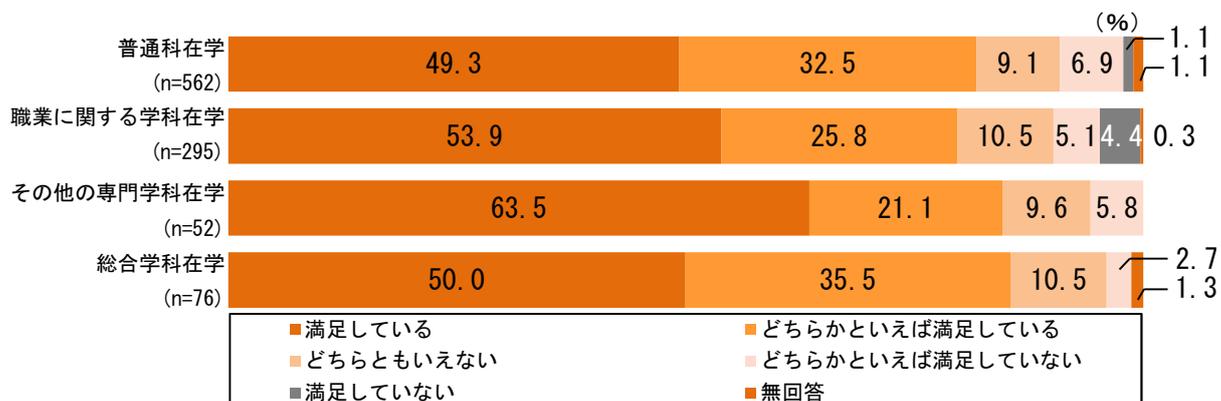
(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生
回答者数	997
満足している	42.7
どちらかといえば満足している	33.3
どちらともいえない	13.7
どちらかといえば満足していない	5.5
満足していない	3.7
無回答	1.0
満足(計)	76.0
満足していない(計)	9.2

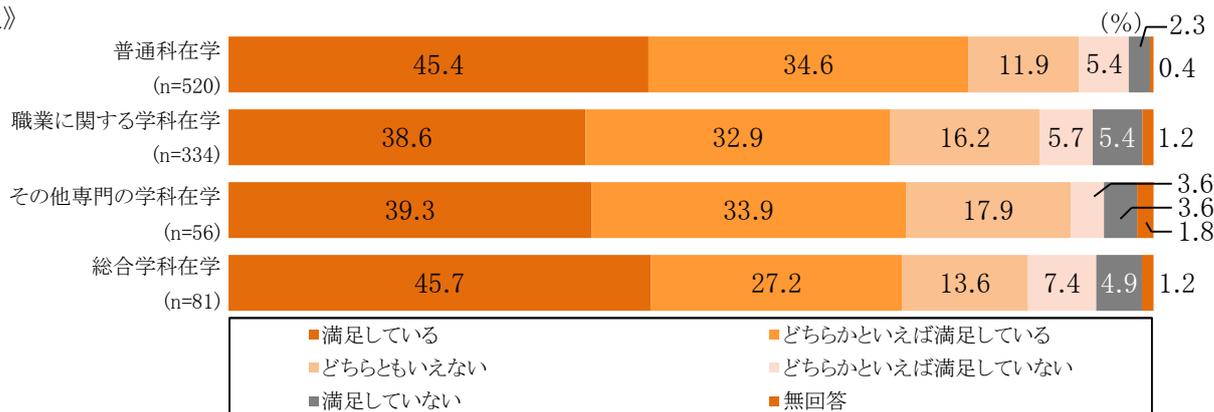
図表 27 文化祭や体育祭などの学校行事【在学学科別】

《高校生》



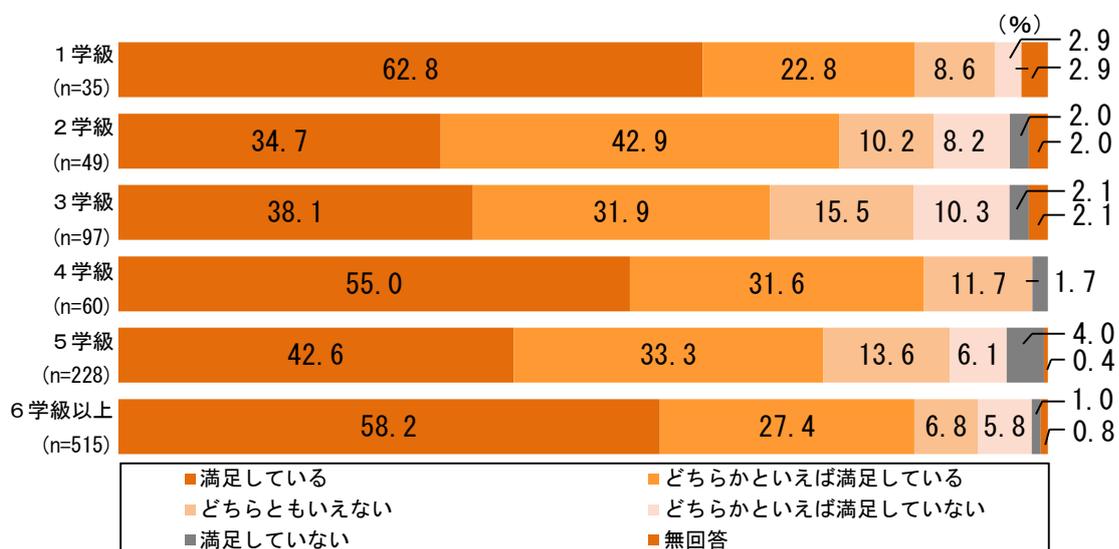
(参考 令和元年調査)

《高校生》



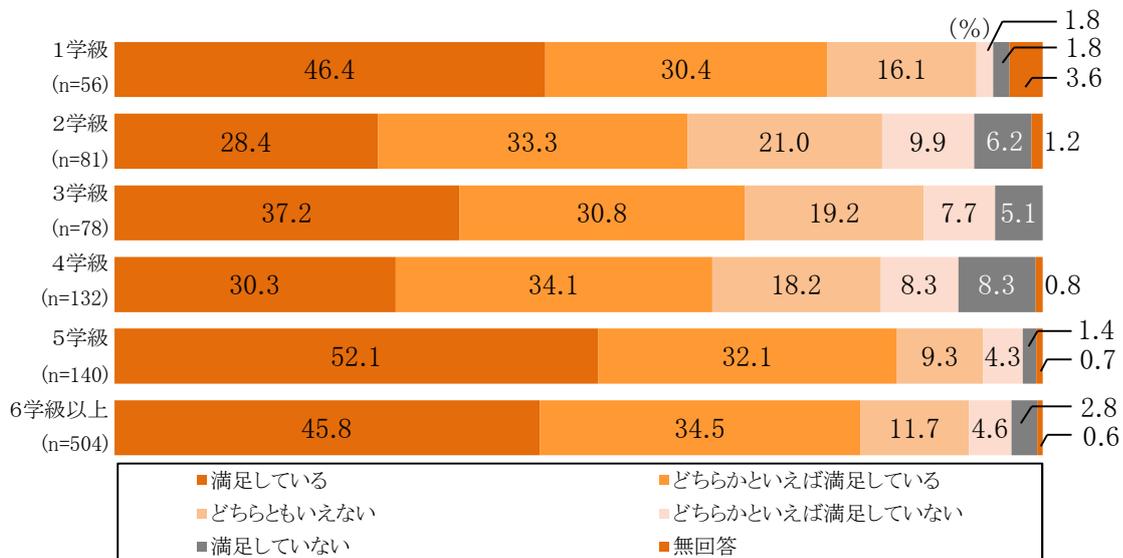
図表 2 8 文化祭や体育祭などの学校行事【学校の規模別】

《高校生》



(参考 令和元年調査)

《高校生》



(ア)～(オ)のまとめ

高校の満足度 「満足(計)」の割合

(%)

	高校生
	満足(計)
回答者数	995
(ア) 学習する教科の内容について	87.0
(イ) 先生の授業の進め方について	76.0
(ウ) 授業以外の生徒指導や進路指導について	69.1
(エ) 部活動について	73.9
(オ) 文化祭や体育祭などの学校行事について	81.3

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生
	満足(計)
回答者数	997
(ア) 学習する教科の内容について	80.4
(イ) 先生の授業の進め方について	65.2
(ウ) 授業以外の生徒指導や進路指導について	60.3
(エ) 部活動について	65.7
(オ) 文化祭や体育祭などの学校行事について	76.0

全項目で「満足(計)」の割合が令和元年調査より増加

高校生に、通っている高校の満足度について尋ねたところ、「満足(計)」の割合が最も高かったのは、「(ア) 学習する教科の内容について」で、87.0%であった。

令和元年調査と比較し、すべての項目で「満足(計)」の割合が高くなり、特に「(イ) 先生の授業の進め方について」が65.2%から76.0%と10.8ポイント増加した。

「(エ) 部活動について」、「満足(計)」の割合は73.9%であったが、在学学科別にみると、その他の専門学科では90.4%となった。(図表2-5参照)

「(イ) 先生の授業の進め方について」、「満足(計)」の割合は76.0%であったが、学校の規模別にみると、1学級では91.4%となった。(図表2-2参照)

10 高校卒業後の進路

問 10 あなたは、(お子さんの) 高校卒業後の進路についてどのように考えていますか。 (%)

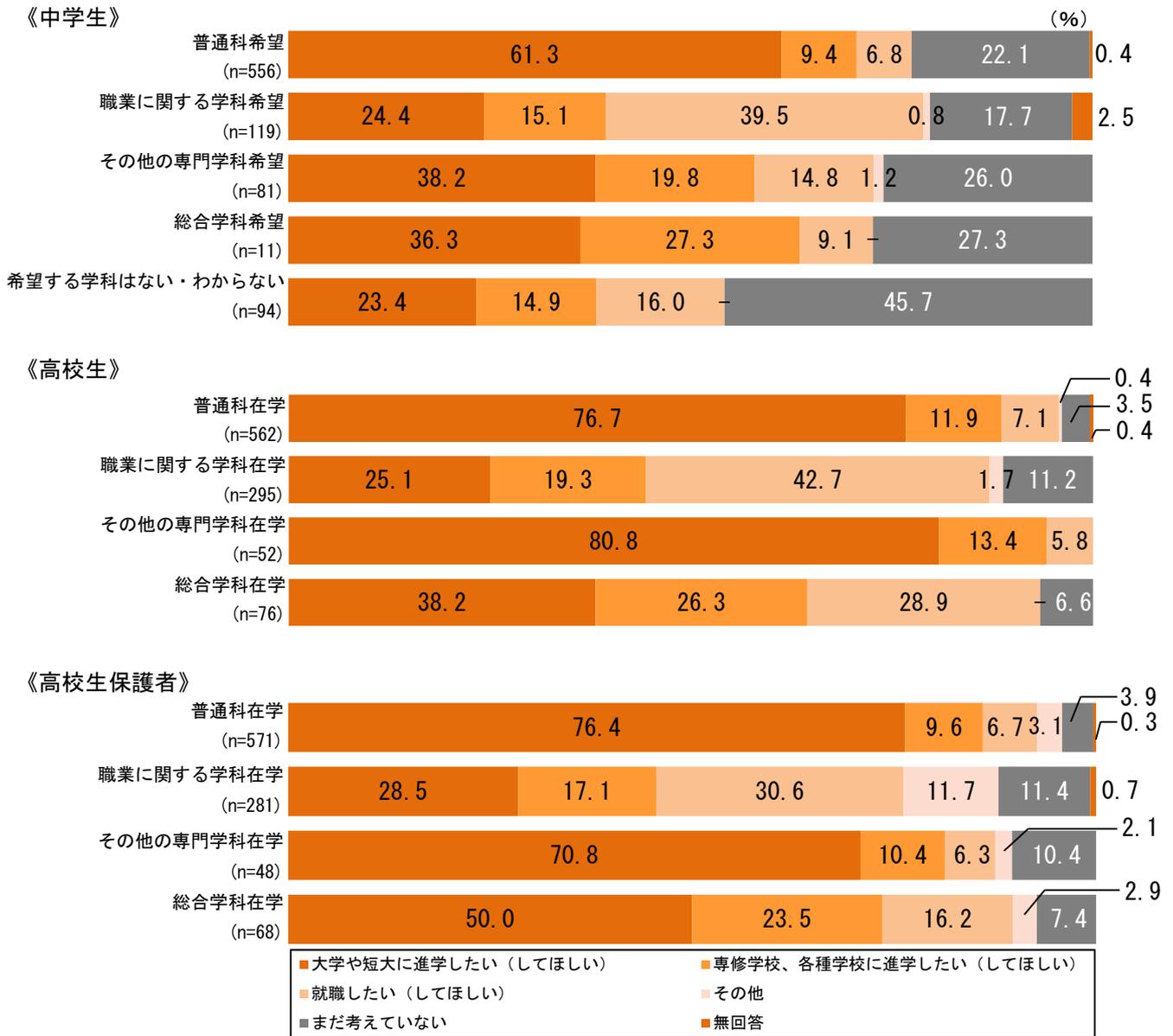
	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者
回答者数	867	995	976	906
大学や短大に進学したい(してほしい)	49.5	58.3	60.2	50.3
専修学校、各種学校に進学したい(してほしい)	12.0	15.2	12.7	13.3
就職したい(してほしい)	13.0	19.3	14.2	12.1
その他	0.2	0.7	5.5	5.3
まだ考えていない	24.6	5.9	6.6	19.0
無回答	0.7	0.6	0.8	-

(参考 令和元年調査)

(%)

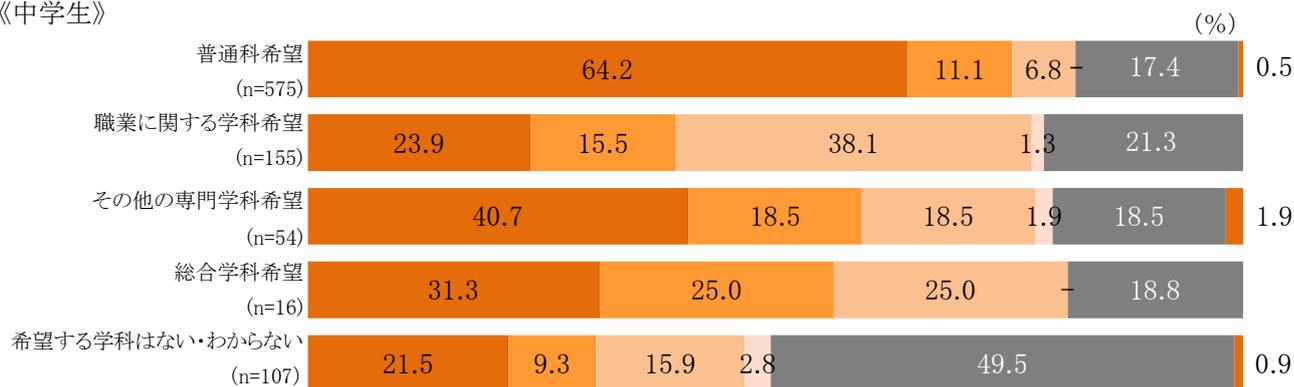
	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者
回答者数	913	997	994	945
大学や短大に進学したい(してほしい)	50.3	51.3	54.3	52.4
専修学校、各種学校に進学したい(してほしい)	12.3	15.2	12.7	12.2
就職したい(してほしい)	14.2	26.0	19.7	12.2
その他	0.7	1.4	5.1	5.1
まだ考えていない	21.8	5.6	7.2	17.8
無回答	0.8	0.5	0.9	0.4

図表 2 9 高校卒業後の進路【在学（希望）学科別】

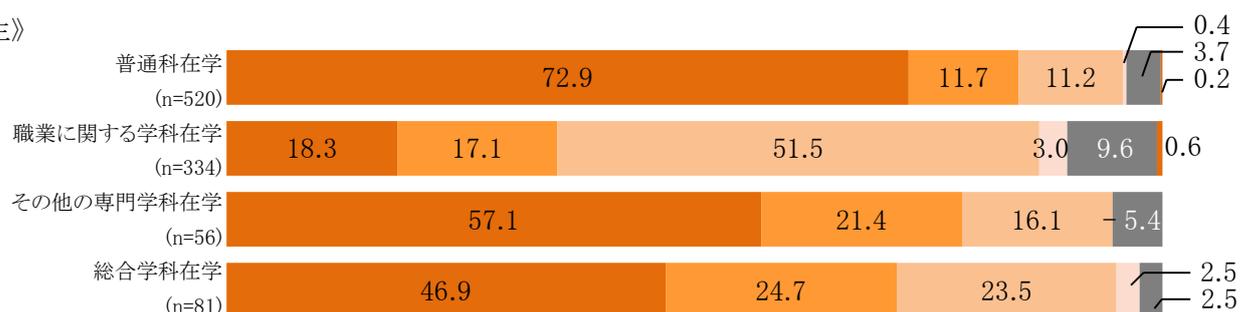


(参考 令和元年調査)

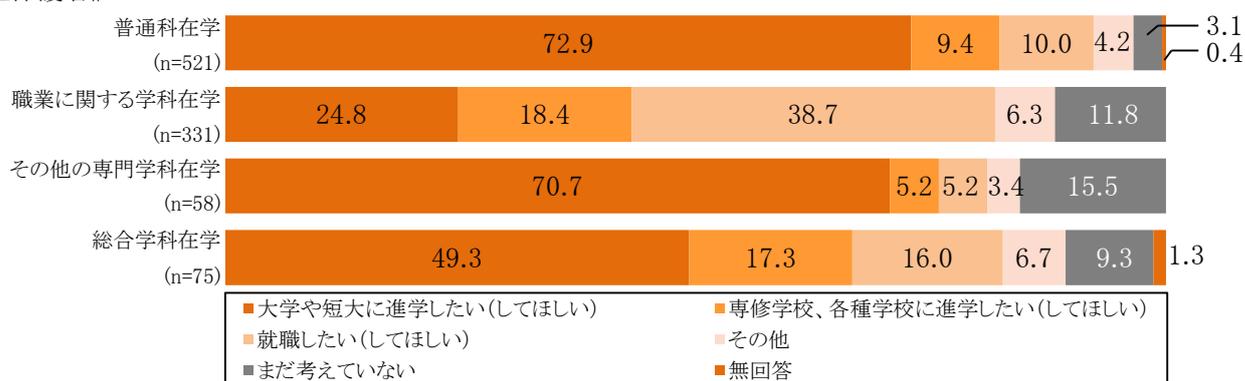
《中学生》



《高校生》



《高校生保護者》



すべての対象者で「大学や短大に進学したい（してほしい）」が最も高い割合

高校卒業後の進路について尋ねたところ、すべての対象者で「大学や短大に進学したい（してほしい）」の割合が最も高く、令和元年調査と比較すると、高校生が51.3%から58.3%と7.0ポイント、高校生保護者が54.3%から60.2%と5.9ポイント増加した。

在学学科別にみると、その他の専門学科在学の高校生では、令和元年調査と比較し、「大学や短大に進学したい」の割合が57.1%から80.8%と23.7ポイント増加した。（図表29参照）

11 将来暮らしたい場所

問11 あなたは、(お子さんが) 高校や大学等を卒業後、将来暮らす場所について、現時点でどのように考えていますか。(%)

	高校生		高校生保護者		中学生保護者	
回答者数	995		976		906	
現在暮らしている市町村で暮らしたい(暮らしてほしい)	10.0	34.8	13.3	40.3	11.6	37.1
現在暮らしている市町村に限らないが、県内で暮らしたい(暮らしてほしい)	12.7		11.0		9.8	
一度は県外に出ても、県内に戻って暮らしたい(暮らしてほしい)	12.1		16.0		15.7	
将来は、県外で暮らしたい(暮らしてもかまわない)		31.7		5.7		7.3
暮らす場所は、県内、県外どちらでもかまわない		18.2		44.7		44.8
まだわからない		14.7		8.6		10.8
無回答		0.6		0.7		-

(参考 令和元年調査)

	高校生		高校生保護者		中学生保護者	
回答者数	997		994		945	
現在暮らしている市町村で暮らしたい(暮らしてほしい)	11.3	37.6	15.1	46.3	12.5	41.2
現在暮らしている市町村に限らないが、県内で暮らしたい(暮らしてほしい)	15.0		12.8		12.3	
一度は県外に出ても、県内に戻って暮らしたい(暮らしてほしい)	11.3		18.4		16.4	
将来は、県外で暮らしたい(暮らしてもかまわない)		30.9		6.6		6.2
暮らす場所は、県内、県外どちらでもかまわない		18.8		38.3		42.8
まだわからない		12.2		7.8		9.5
無回答		0.4		0.9		0.3

すべての対象者で「県内志向」の割合は低下

高校や大学等を卒業後、将来暮らす場所について尋ねたところ、「現在暮らしている市町村で暮らしたい(暮らしてほしい)」、「現在暮らしている市町村に限らないが、県内で暮らしたい(暮らしてほしい)」、「一度は県外に出ても、県内に戻って暮らしたい(暮らしてほしい)」を合わせた県内志向の割合が、高校生で34.8%、高校生保護者で40.3%、中学生保護者で37.1%となり、いずれも令和元年調査と比較し低くなった。

また、「将来は、県外で暮らしたい(暮らしてもかまわない)」の割合は、高校生の31.7%に対し、高校生保護者が5.7%、中学生保護者が7.3%と低くなった。

12 将来就きたい仕事

問12 あなたは、将来、どのような仕事に就きたいと考えていますか。(〇は2つまで) (複数回答、%)

		中学生
回答者数		993
研究・技術の職業	[研究者、食品開発技術者、電気工事技術者、建築設計技術者、土木技術者、ソフトウェア開発技術者、プログラマー、ITコンサルタント、通信ネットワーク技術者など]	13.8
法務・経営の専門的職業	[裁判官、検察官、弁護士、司法書士、公認会計士、税理士、社会保険労務士など]	3.9
文化芸術等の専門的職業	[著述家、翻訳家、記者、編集者、イラストレーター、写真家、映像撮影者、ウェブデザイナー、音楽家、俳優、演出家など]	15.3
医療・看護・保健の職業	[医師、獣医師、薬剤師、保健師、看護師、診療放射線技師、理学療法士、歯科衛生士、栄養士など]	18.8
保育・教育の職業	[保育士、学童保育指導員、教員など]	13.5
事務的職業	[一般事務員、秘書、受付・案内事務員、コールセンターオペレーター、医療事務員、経理事務員など]	6.5
販売・営業の職業	[小売店・卸売店店長、販売員、不動産仲介・売買取手、保険代理人、営業員など]	3.0
福祉・介護の職業	[社会福祉施設管理者、介護支援専門員(ケアマネージャー)、高齢者入所型施設介護員、訪問介護員など]	3.1
サービスの職業	[理容・美容師、エステティシャン、調理人、飲食店店長、旅館・ホテル接客係、客室乗務員、家政婦など]	12.4
警備・保安の職業	[施設警備員、自衛官、警察官、海上保安官、消防員など]	5.8
農林漁業の職業	[農作物の栽培、動物飼育員、造園士、育林作業員、漁労作業員、航海士、水産養殖作業員など]	3.6
製造・修理・塗装・製図等の職業	[製鋼工、パン・菓子製造工、印刷・製本作業員、自動車整備・修理工、建築塗装工、製図工など]	5.3
配送・輸送・機械運転の職業	[荷物配達員、バス運転手、鉄道運転士、航空機操縦士、発電員、ボイラーオペレーター、建設機械運転工など]	1.9
建設・土木・電気工事の職業	[大工、配管工、建設・土木作業員、電気工事作業員など]	5.3
運搬・清掃・包装・選別等の職業	[荷役・運搬作業員、梱包作業員、ビル・建物清掃員、製品包装作業員、選別作業員など]	0.4
その他		9.8
まだ決めていない(わからない)		20.3

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

		中学生
回答者数		997
専門的・技術的な仕事	[医師、看護師、教員、介護福祉士、保育士、裁判官、記者、カメラマン、システムエンジニア、ゲームクリエイター、俳優など]	50.9
事務的な仕事	[経理事務員、一般公務員、銀行員、秘書など]	19.2
販売の仕事	[卸売店主、飲食店主、販売員、生命保険外交員など]	8.3
サービスの仕事	[理容・美容師、調理師、キャビンアテンダント、通訳、ファッションモデルなど]	13.5
保安に関する仕事	[自衛官、警察官、海上保安官、警備員など]	8.0
農林漁業に関する仕事	[米・野菜・果樹の栽培、動物飼育、造園、育林、漁業従事など]	6.1
運輸・通信に関する仕事	[運転手、航海士、航空機操縦士、航空管制官など]	2.0
技能・製造・建設及び労務に関する仕事	[鉄鋼、旋盤、自動車整備、印刷、建設機械運転、電気工事、建築、宅配便配達、引越作業など]	10.2
その他		7.4
まだ決めていない(わからない)		14.9
無回答		2.1

■ 「まだ決めていない（わからない）」が20.3%で最も高い割合

中学生に、将来どのような仕事に就きたいか尋ねたところ、「まだ決めていない（わからない）」が20.3%で最も高い割合となり、次いで「医療・看護・保健の職業」が18.8%、「文化芸術等の専門的職業」が15.3%と続いた。

13 企業にとって望まれる高校生のタイプ

問13 あなたの事業所では今後、どのようなタイプの高校生が入社してくることを望みますか。 (%)

	企業
回答者数	332
学業成績の優れた生徒	4.8
特定の資格・免許を取得している生徒	13.3
部活動やボランティア活動などに熱心な生徒	11.4
学業以外の優れた知識・技術を持っている生徒	5.1
生活態度がまじめな生徒	21.4
コミュニケーション能力が高い生徒	38.0
わからない	1.2
その他	3.0
無回答	1.8

(参考 令和元年調査)

(%)

	企業
回答者数	331
学業成績の優れた生徒	5.7
特定の資格・免許を取得している生徒	15.4
部活動やボランティア活動などに熱心な生徒	19.6
学業以外の優れた知識・技術を持っている生徒	6.9
生活態度がまじめな生徒	34.1
わからない	7.3
その他	9.7
無回答	1.2

14 高校で身に付けたいこと

問14 あなた（お子さん）が、高校で身に付けたい（付けてほしい）と思うことは何ですか。

（〇は3つまで）

（複数回答、%）

	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	993	995	976	906	145	146	131	98	35	332
進学に必要な学力や検定	60.4	64.8	49.1	50.1	44.8	41.8	45.8	52.0	31.4	7.8
就職に必要な学力や資格・検定	43.8	34.7	29.5	33.6	23.4	30.8	18.3	6.1	17.1	22.6
将来必要となるビジネススキルや社会人としての心構え	29.7	27.5	37.4	37.5	22.1	38.4	36.6	14.3	20.0	50.6
産業社会の変化に対応できる専門的知識や技能	2.3	3.6	2.9	2.0	4.1	3.4	1.5	1.0	5.7	2.1
グローバル社会に対応できる広い視野や教養	10.1	12.3	22.0	24.1	17.2	21.2	29.0	14.3	37.1	7.5
技術革新に対応できる理数分野の知識や技能	4.6	3.5	2.7	1.7	3.4	2.1	3.1	3.1	-	3.0
情報化社会に対応できる知識や技術	12.3	14.0	17.2	19.0	6.9	19.9	20.6	18.4	20.0	25.3
高齢化社会や福祉についての知識や技術	2.5	3.1	1.9	1.1	1.4	3.4	5.3	5.1	-	2.1
物事を教科の枠にとらわれず思考する力	9.1	8.2	22.8	23.8	29.0	23.3	25.2	37.8	31.4	39.5
郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	3.0	2.5	3.0	2.2	17.2	15.8	9.2	12.2	37.1	16.6
自己を理解したり、自己の生き方を主体的に考える態度	16.4	20.7	26.3	28.0	48.3	35.6	48.9	48.0	42.9	14.8
思いやりの心やコミュニケーション力などの人間関係形成力	45.6	51.2	64.5	56.1	66.2	56.2	48.1	66.3	57.1	78.9
健康やスポーツについての知識や技能	19.0	8.8	3.8	4.2	3.4	2.1	2.3	-	-	2.1
その他	0.7	0.3	0.4	0.1	2.8	0.7	2.3	5.1	-	1.5

（参考 令和元年調査）

（複数回答、%）

	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数		997	994	945	141	143	127	101	32	331
進学に必要な学力	-	60.7	48.2	51.7	44.0	45.5	52.0	61.4	56.3	8.5
就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー	-	43.6	42.6	42.9	37.6	44.1	25.2	10.9	25.0	51.1
グローバル化に対応できる広い視野や語学力	-	21.0	35.9	52.6	16.3	25.2	29.9	18.8	43.8	48.3
情報化に対応できるICTを活用する知識や技術	-	15.9	25.5	23.1	9.9	22.4	28.3	11.9	25.0	24.2
高齢化社会や福祉についての知識や技術	-	4.0	3.6	3.2	4.3	6.3	4.7	4.0	-	2.7
地球環境や自然保護についての知識	-	3.9	2.1	1.1	5.0	3.5	1.6	1.0	3.1	3.9
郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	-	3.8	10.1	6.6	24.8	14.7	20.5	23.8	28.1	37.2
自己を理解したり、自分の生き方を主体的に考える態度	-	27.5	40.1	47.5	63.8	49.7	44.1	61.4	46.9	22.4
思いやりの心やコミュニケーション力などを含めた人間関係形成力	-	54.6	68.8	69.7	77.3	71.3	65.4	77.2	65.6	85.8
健康の保持増進のための実践力	-	5.3	6.3	5.5	5.7	3.5	5.5	5.9	6.3	7.9
その他	-	1.2	0.6	0.1	3.5	2.1	0.8	7.9	-	2.1
無回答	-	1.8	0.7	1.7	0.7	1.4	2.4	1.0	-	2.4

図表 30 高校で身に付けたいこと【在学（希望）学科別】

(複数回答、%)

	進学に必要な学力や検定	就職に必要な学力や資格・検定	将来必要となるビジネススキル や社会人としての心構え	産業社会の変化に対応できる専門的知識や技能	グローバル社会に対応できる広い視野や教養	技術革新に対応できる理数分野の知識や技能	情報化社会に対応できる知識や技術	高齢化社会や福祉についての知識や技術	物事を教科の枠にとらわれず思考する力	郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	自己を理解したり、自己の生き方を主体的に考える態度	思いやりなどの人間関係形成力	健康やスポーツについての知識や技能	その他
(n)														
【中学生】														
普通科希望 (556)	72.1	39.2	31.8	1.4	10.1	2.9	12.4	2.2	9.5	2.9	18.5	46.2	14.4	0.4
職業に関する学科希望 (119)	42.9	63.9	26.9	5.0	9.2	10.9	14.3	5.0	9.2	5.0	10.1	41.2	16.8	-
その他の専門学科希望 (81)	42.0	39.5	21.0	2.5	16.0	3.7	8.6	-	9.9	2.5	17.3	44.4	38.3	-
総合学科希望 (11)	54.5	36.4	9.1	-	9.1	-	18.2	9.1	9.1	-	-	63.6	36.4	-
希望する学科はない・わからない (94)	46.8	40.4	33.0	-	5.3	2.1	11.7	2.1	5.3	1.1	22.3	47.9	28.7	1.1
【高校生】														
普通科在学 (562)	79.5	22.8	23.7	2.5	13.9	2.8	13.5	2.3	8.9	2.0	21.0	50.0	8.9	0.4
職業に関する学科在学 (295)	40.0	59.3	35.9	6.1	9.5	5.4	18.6	1.7	7.1	3.1	18.6	49.8	5.8	-
その他の専門学科在学 (52)	65.4	23.1	23.1	1.9	13.5	3.8	7.7	1.9	9.6	3.8	23.1	53.8	25.0	-
総合学科在学 (76)	55.3	35.5	28.9	3.9	11.8	1.3	5.3	11.8	7.9	3.9	25.0	63.2	7.9	1.3
【高校生保護者】														
普通科在学 (571)	61.5	17.9	29.9	2.1	26.3	3.0	17.2	2.5	25.2	3.7	28.4	63.0	3.3	0.7
職業に関する学科在学 (281)	25.6	55.9	49.8	5.3	16.4	2.8	17.8	0.7	19.6	1.4	19.6	66.9	2.5	-
その他の専門学科在学 (48)	54.2	18.8	37.5	-	22.9	-	16.7	-	25.0	6.3	33.3	66.7	14.6	-
総合学科在学 (68)	41.2	27.9	51.5	1.5	11.8	1.5	17.6	4.4	14.7	-	33.8	70.6	5.9	-

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	進学に必要な学力	就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー	グローバル化に対応できる広い視野や語学能力	情報化に対応できるICTを活用する知識や技術	高齢化社会や福祉についての知識や技術	地球環境や自然保護についての知識	郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	自己を理解したり、自分の生き方を主体的に考える態度	自己を主体的に考えたり、自分の生き方を主体的に考える態度	思いやりの心やコミュニケーション力などを含めた人間関係形成力	健康の保持増進のための実践力	その他	無回答
(n)													
【高校生】													
普通科在学 (520)	76.9	29.8	26.9	11.9	4.2	3.7	2.3	27.1	52.5	4.2	0.8	1.7	
職業に関する学科在学 (334)	32.6	66.5	15.6	25.4	3.0	5.1	5.7	27.5	55.1	8.1	1.2	2.1	
その他の専門学科在学 (56)	69.6	37.5	16.1	5.4	7.1	1.8	1.8	30.4	60.7	3.6	1.8	1.8	
総合学科在学 (81)	65.4	40.7	9.9	8.6	4.9	2.5	7.4	29.6	61.7	2.5	2.5	1.2	
【高校生保護者】													
普通科在学 (521)	62.2	25.0	34.7	18.4	4.0	2.3	10.2	44.7	70.4	6.3	0.6	-	
職業に関する学科在学 (331)	25.7	72.2	14.5	37.8	2.7	2.4	10.3	35.0	66.5	6.6	0.3	-	
その他の専門学科在学 (58)	50.0	27.6	37.9	19.0	1.7	1.7	13.8	36.2	75.9	6.9	-	1.7	
総合学科在学 (75)	54.7	48.0	20.0	26.7	6.7	-	5.3	36.0	66.7	4.0	2.7	-	

中学生、高校生で「進学に必要な学力や検定」が最も高い割合

高校で身に付けたい（付けてほしい）ことについて尋ねたところ、中学生、高校生では「進学に必要な学力や検定」、小学校教員では「自己を理解したり、自己の生き方を主体的に考える態度」が最も高い割合となった。その他の対象者では「思いやりの心やコミュニケーション力などの人間関係形成力」が最も高い割合となった。

在学学科別にみると、高校生の普通科とその他の専門学科では「進学に必要な学力や検定」、職業に関する学科では「就職に必要な学力や資格・検定」、総合学科では「思いやりの心やコミュニケーション力などの人間関係形成力」が最も高い割合となった。高校生保護者ではすべての学科で「思いやりの心やコミュニケーション力などの人間関係形成力」が最も高い割合となった。（図表30参照）

15 必要な学習方法

問15 あなたは、高校での学習方法について、今後どのようなことが必要だと思いますか。
(高校生は3つまで/他はいくつでも)

(複数回答、%)

	高校生	高校生 保護者	高校教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	企業
回答者数	995	976	145	146	131	98	332
生徒が選択できる科目を多く開設する	35.9	37.1	18.6	32.9	39.7	12.2	25.3
実習や体験学習を多く取り入れる	49.2	52.4	42.1	45.9	46.6	32.7	57.8
学習にICTを活用する	27.7	27.6	44.8	29.5	48.9	44.9	30.4
学習に討論(ディベート)や発表(プレゼンテーション)を取り入れる	12.6	36.3	36.6	51.4	51.9	53.1	46.7
個人の学習に対する理解の程度(習熟度)に即した授業を行う	38.1	33.5	51.7	48.6	48.1	44.9	21.1
数人ずつのグループに分かれて、討論や製作などを行う学習形態(グループワーク)を取り入れる	24.9	23.3	25.5	32.2	32.1	37.8	44.9
複数の先生が協力して、一つの授業(チームティーチング)を行う	5.7	12.8	26.2	14.4	16.0	13.3	9.3
授業の中でボランティア活動を行う	20.9	15.7	9.0	10.3	15.3	12.2	16.9
社会における様々な課題の発見・解決につなげる、教科等横断的な学習を行う	8.0	29.7	46.9	44.5	44.3	61.2	45.2
その他	0.8	2.6	4.1	0.7	0.8	4.1	2.4

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	高校生	高校生 保護者	高校教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	企業
回答者数	997	994	141	143	127	101	331
生徒が選択できる科目を多く開設する	46.3	43.1	16.3	35.7	41.7	20.8	38.4
実習や体験学習を多く取り入れる	50.3	46.8	48.2	48.3	53.5	39.6	65.3
教科の学習でICTを活用する	18.8	36.8	36.9	33.6	48.8	36.6	37.8
学習に討論(ディベート)や意見・研究発表(プレゼンテーション)を取り入れる	16.3	35.2	44.0	61.5	66.1	67.3	48.9
個人の学習に対する理解の程度(習熟度)に即した指導形態をとる	36.1	44.9	58.2	52.4	46.5	60.4	32.6
少人数を対象とする指導形態(ゼミナール方式等)を取り入れる	19.8	31.8	53.9	39.2	33.1	29.7	21.1
複数の先生が協力して、一つの授業(チームティーチング)を行う	5.4	14.8	23.4	24.5	25.2	19.8	13.9
授業の中でボランティア活動を行う	15.0	16.9	6.4	9.8	18.9	9.9	28.7
例えば、環境問題などについて、教科の枠を超えた学習を行う	6.7	13.4	22.7	19.6	18.1	23.8	22.1
その他	1.1	1.5	7.1	1.4	1.6	9.9	3.3
無回答	0.9	1.3	0.7	1.4	1.6	-	0.3

高校生、高校生保護者、企業で「実習や体験学習を多く取り入れる」が、中学校教員、小学校教員で「学習に討論（ディベート）や発表（プレゼンテーション）を取り入れる」が最も高い割合

高校での学習方法について尋ねたところ、高校生、高校生保護者、企業では「実習や体験学習を多く取り入れる」が、中学校教員、小学校教員では「学習に討論（ディベート）や発表（プレゼンテーション）を取り入れる」が、高校教員では「個人の学習に対する理解の程度（習熟度）に即した授業を行う」が、大学・短大教員では「社会における様々な課題の発見・解決につなげる、教科等横断的な学習を行う」が最も高い割合となった。

16 ICTを活用した学習方法

問16 ICTを活用した学習方法について、どのように考えますか。次の（ア）～（エ）のそれぞれについてお答えください。（各項目について〇は1つ）

（ア）ICTを活用して他校との合同授業を行う

(%)

	高校生	高校生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	企業
回答者数	995	976	145	146	131	98	332
必要である	18.0	14.5	4.8	8.2	11.5	11.2	13.8
どちらかといえば必要である	31.6	36.2	32.4	32.9	46.6	44.9	42.8
どちらかといえば必要でない	25.0	20.9	26.2	21.9	24.4	13.3	18.7
必要でない	15.1	9.4	23.5	19.2	9.9	14.3	8.1
わからない	9.8	17.7	12.4	17.1	7.6	16.3	15.7
無回答	0.5	1.3	0.7	0.7	-	-	0.9
必要(計)	49.6	50.7	37.2	41.1	58.1	56.1	56.6
必要ない(計)	40.1	30.3	49.7	41.1	34.3	27.6	26.8

（イ）ICTを活用して他校の教員から指導を受ける

(%)

	高校生	高校生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	企業
回答者数	995	976	145	146	131	98	332
必要である	21.0	14.7	10.3	15.1	19.1	8.2	12.9
どちらかといえば必要である	32.1	41.5	33.1	39.0	43.5	42.9	39.2
どちらかといえば必要でない	23.4	18.7	29.0	21.9	20.6	22.4	19.9
必要でない	13.6	7.6	17.2	11.0	6.9	16.3	8.1
わからない	9.4	16.2	9.7	12.3	9.9	10.2	19.0
無回答	0.5	1.3	0.7	0.7	-	-	0.9
必要(計)	53.1	56.2	43.4	54.1	62.6	51.1	52.1
必要ない(計)	37.0	26.3	46.2	32.9	27.5	38.7	28.0

(ウ) ICTを活用して予備校講師や大学教授などの専門家から指導を受ける (％)

	高校生	高校生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	企業
回答者数	995	976	145	146	131	98	332
必要である	40.9	30.8	22.8	26.7	32.1	11.2	24.1
どちらかといえば必要である	38.3	46.9	49.6	52.1	50.4	44.9	43.4
どちらかといえば必要でない	9.8	8.4	13.8	11.0	7.6	14.3	11.7
必要でない	3.0	2.6	8.3	6.8	4.6	19.4	6.6
わからない	7.2	10.3	4.8	2.7	5.3	10.2	13.3
無回答	0.8	1.0	0.7	0.7	-	-	0.9
必要(計)	79.2	77.7	72.4	78.8	82.5	56.1	67.5
必要ない(計)	12.8	11.0	22.1	17.8	12.2	33.7	18.3

(エ) ICTを活用して情報収集をする (％)

	高校生	高校生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	企業
回答者数	995	976	145	146	131	98	332
必要である	64.7	52.7	74.4	65.1	71.8	59.2	47.3
どちらかといえば必要である	25.7	35.7	20.7	30.8	25.9	30.6	39.2
どちらかといえば必要でない	3.9	2.4	2.1	2.7	0.8	3.1	3.3
必要でない	1.1	0.5	2.1	-	-	2.0	2.1
わからない	4.0	7.4	-	0.7	1.5	4.1	6.9
無回答	0.6	1.3	0.7	0.7	-	1.0	1.2
必要(計)	90.4	88.4	95.1	95.9	97.7	89.8	86.5
必要ない(計)	5.0	2.9	4.2	2.7	0.8	5.1	5.4

(ア)～(エ) 「必要(計)」のまとめ

(%)

	高校生	高校生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	企業
回答者数	995	976	145	146	131	98	332
(ア) ICTを活用して他校との合同授業を行う	49.6	50.7	37.2	41.1	58.1	56.1	56.6
(イ) ICTを活用して他校の教員から指導を受ける	53.1	56.2	43.4	54.1	62.6	51.1	52.1
(ウ) ICTを活用して予備校講師や大学教授などの 専門家から指導を受ける	79.2	77.7	72.4	78.8	82.5	56.1	67.5
(エ) ICTを活用して情報収集をする	90.4	88.4	95.1	95.9	97.7	89.8	86.5

■ すべての対象者で「ICTを活用して情報収集をする」の「必要(計)」の割合が8割以上

ICTを活用した学習方法について尋ねたところ、すべての対象者で「(エ) ICTを活用して情報収集をする」の「必要(計)」の割合が8割以上となり、他の項目と比べて高い割合となった。

《 新しいタイプの高校の必要性等 》

17 導入済みの教育制度等に対する考え方

問17 県立高等学校教育改革の取組の一つとして導入した教育制度等について、どのように考えますか。
次の（ア）～（ク）のそれぞれについてお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）複数の学科が設置され、自分が学んでいる学科以外の学科の科目も自由に選択できる制度。中南地区の1校に導入している。（総合選択制）

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
増やすべきである	47.6	40.8	52.6	26.2	39.7	49.6	49.0	54.3	55.7
現状どおりでよい	40.8	41.3	30.7	57.2	52.7	41.2	28.6	42.8	28.6
減らすべきである	0.5	0.7	0.1	6.2	1.4	0.8	3.0	-	1.2
わからない	10.6	16.2	14.1	10.4	6.2	8.4	19.4	2.9	13.9
無回答	0.5	1.0	2.5	-	-	-	-	-	0.6

（参考 令和元年調査）

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	42.2	42.9	54.6	22.0	40.6	55.1	42.6	34.4	53.8
現状どおりでよい	33.8	34.8	25.4	52.5	42.7	27.6	33.7	59.4	25.7
減らすべきである	0.6	0.5	1.0	9.2	4.2	-	4.0	-	1.5
わからない	22.3	20.8	17.5	15.6	11.2	15.7	17.8	6.3	17.5
無回答	1.1	1.0	1.4	0.7	1.4	1.6	2.0	-	1.5

(イ) 学年の区別がなく、入学から卒業までに、決められた単位をとれば卒業できる全日制普通科の高校。東青、中南、下北、三八地区の4校に導入している。(全日制普通科の単位制)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
増やすべきである	28.6	22.3	23.0	18.6	24.6	36.6	28.6	25.7	26.5
現状どおりでよい	57.9	58.2	53.7	69.0	66.4	55.7	51.0	65.7	47.3
減らすべきである	2.2	1.2	0.8	6.9	2.1	0.8	7.1	2.9	4.2
わからない	10.6	17.3	19.8	4.8	6.2	6.9	13.3	5.7	21.1
無回答	0.7	1.0	2.7	0.7	0.7	-	-	-	0.9

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	22.3	18.6	22.3	17.0	23.1	30.7	18.8	18.8	27.2
現状どおりでよい	55.4	53.2	50.0	64.5	61.5	47.2	51.5	71.9	41.4
減らすべきである	2.9	2.4	2.7	9.9	4.9	-	11.9	3.1	5.1
わからない	18.9	24.8	23.7	7.8	9.1	20.5	17.8	6.3	24.8
無回答	0.6	0.9	1.3	0.7	1.4	1.6	-	-	1.5

(ウ) 6年間の計画的かつ継続的な一貫した教育指導を行うことにより、生徒の資質・能力を最大限に伸ばし、進路志望の達成を目指す高校。上北地区の1校に導入している。(併設型中高一貫教育)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
増やすべきである	29.5	28.4	28.2	22.1	15.1	28.2	37.8	22.8	35.5
現状どおりでよい	53.8	50.2	47.4	58.6	67.8	54.2	35.7	68.6	38.9
減らすべきである	1.6	1.6	0.8	9.0	6.1	2.3	5.1	2.9	4.8
わからない	14.2	18.7	20.6	10.3	10.3	15.3	21.4	5.7	20.2
無回答	0.9	1.1	3.0	-	0.7	-	-	-	0.6

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	24.3	30.4	28.6	24.8	20.3	33.9	37.6	34.4	32.9
現状どおりでよい	50.3	45.6	45.3	44.7	55.9	43.3	39.6	62.5	32.6
減らすべきである	1.9	1.2	1.8	13.5	9.1	3.1	6.9	-	3.3
わからない	22.5	21.9	23.2	15.6	13.3	18.1	14.9	3.1	29.6
無回答	1.1	0.9	1.1	1.4	1.4	1.6	1.0	-	1.5

(エ) 複数の学科をまとめて募集し、入学後にガイダンス等を行って、生徒が希望学科を選択する募集方法。商業高校2校と理数科を置く高校の計3校で導入している。(くくり募集) (%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
増やすべきである	27.1	25.7	30.5	17.9	29.4	28.2	28.6	28.6	34.3
現状どおりでよい	56.3	52.5	47.3	62.1	60.3	54.2	48.0	57.1	41.3
減らすべきである	2.0	1.2	0.6	5.5	2.1	2.3	6.1	5.7	4.2
わからない	13.7	19.4	19.0	13.8	8.2	15.3	17.3	8.6	19.9
無回答	0.9	1.2	2.6	0.7	-	-	-	-	0.3

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	19.6	22.7	27.2	17.0	25.2	22.8	24.8	21.9	35.6
現状どおりでよい	54.3	53.6	44.9	50.4	62.9	51.2	43.6	62.5	37.2
減らすべきである	2.2	2.1	2.7	17.7	6.3	1.6	10.9	3.1	4.8
わからない	23.0	20.4	23.9	13.5	4.2	22.8	19.8	12.5	21.5
無回答	1.0	1.1	1.3	1.4	1.4	1.6	1.0	-	0.9

(オ) 午前部、午後部、夜間部等を設定することにより、生徒の生活パターン等に合わせた科目の履修が可能となる定時制高校。定時制課程においても、3年間で卒業することができる。東青、中南、三八地区の3校に導入している。(多部制の定時制高校) (%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
増やすべきである	33.9	21.1	20.4	20.0	20.6	28.3	24.5	45.7	28.0
現状どおりでよい	54.1	62.7	60.9	73.8	71.2	64.1	56.1	51.4	54.5
減らすべきである	1.7	1.7	0.5	2.1	2.7	0.8	8.2	-	2.7
わからない	9.5	13.3	15.7	2.7	5.5	5.3	11.2	2.9	14.5
無回答	0.8	1.2	2.5	1.4	-	1.5	-	-	0.3

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	21.2	15.3	19.0	16.3	18.9	29.9	22.8	25.0	25.1
現状どおりでよい	55.5	66.3	59.8	74.5	73.4	51.2	56.4	71.9	53.8
減らすべきである	2.8	1.8	1.9	3.5	1.4	0.8	5.9	-	1.5
わからない	19.5	15.7	18.1	4.3	4.9	16.5	13.9	3.1	18.7
無回答	1.1	0.9	1.2	1.4	1.4	1.6	1.0	-	0.9

(カ) 他県の生徒と一緒に学習することができる、全国から生徒を募集する仕組。西北、中南、下北、三八地区の5校に導入している。(全国からの生徒募集) (%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
増やすべきである	36.9	34.0	30.9	37.9	28.8	35.8	55.1	45.7	38.3
現状どおりでよい	51.6	50.8	50.0	45.5	59.6	54.2	29.6	45.7	31.3
減らすべきである	1.4	1.8	1.4	7.6	4.8	0.8	4.1	2.9	0.9
わからない	9.5	12.4	15.1	8.3	6.1	8.4	11.2	5.7	8.7
無回答	0.6	1.0	2.6	0.7	0.7	0.8	-	-	20.8

(キ) 保護者・地域住民が、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりして、学校の様々な課題解決に参画していく仕組の学校。西北、中南、上北、下北、三八地区の7校に導入している。(コミュニティ・スクール) (%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
増やすべきである	23.2	18.2	16.5	27.6	19.2	26.7	45.9	37.1	17.8
現状どおりでよい	58.7	61.3	57.3	47.6	69.9	58.8	31.6	57.2	39.1
減らすべきである	2.6	2.8	2.1	8.3	2.7	5.3	9.2	5.7	6.3
わからない	14.3	16.9	21.4	15.8	8.2	9.2	13.3	-	16.0
無回答	1.2	0.8	2.7	0.7	-	-	-	-	20.8

(ク) 通常の学級に在籍する生徒が、大半の授業を通常の学級で受けながら、障害に応じた特別な指導について別の教室等で受ける指導の形態。東青、中南、三八地区の3校に導入している。(通級による指導) (%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
増やすべきである	37.6	36.1	36.8	44.8	53.4	61.1	61.2	77.1	29.5
現状どおりでよい	49.4	49.3	45.2	45.5	39.7	30.5	26.5	20.0	33.1
減らすべきである	0.7	0.4	0.4	2.8	1.4	1.5	2.1	-	0.9
わからない	11.2	13.2	14.9	6.2	4.8	6.9	10.2	2.9	15.7
無回答	1.1	1.0	2.7	0.7	0.7	-	-	-	20.8

(ア)～(ク)のまとめ

導入済みの教育制度等に対する考え方 「増やすべきである」の割合 (%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
(ア) 総合選択制	47.6	40.8	52.6	26.2	39.7	49.6	49.0	54.3	55.7
(イ) 全日制普通科の単位制	28.6	22.3	23.0	18.6	24.6	36.6	28.6	25.7	26.5
(ウ) 併設型中高一貫教育	29.5	28.4	28.2	22.1	15.1	28.2	37.8	22.8	35.5
(エ) くくり募集	27.1	25.7	30.5	17.9	29.4	28.2	28.6	28.6	34.3
(オ) 多部制の定時制高校	33.9	21.1	20.4	20.0	20.6	28.3	24.5	45.7	28.0
(カ) 全国からの生徒募集	36.9	34.0	30.9	37.9	28.8	35.8	55.1	45.7	38.3
(キ) コミュニティ・スクール	23.2	18.2	16.5	27.6	19.2	26.7	45.9	37.1	17.8
(ク) 通級による指導	37.6	36.1	36.8	44.8	53.4	61.1	61.2	77.1	29.5

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
(ア) 総合選択制	42.2	42.9	54.6	22.0	40.6	55.1	42.6	34.4	53.8
(イ) 全日制普通科の単位制	22.3	18.6	22.3	17.0	23.1	30.7	18.8	18.8	27.2
(ウ) 併設型中高一貫教育	24.3	30.4	28.6	24.8	20.3	33.9	37.6	34.4	32.9
(エ) くくり募集	19.6	22.7	27.2	17.0	25.2	22.8	24.8	21.9	35.6
(オ) 多部制の定時制高校	21.2	15.3	19.0	16.3	18.9	29.9	22.8	25.0	25.1

項目によって各対象者で「増やすべきである」の割合に開き

導入済みの教育制度等について尋ねたところ、「(ア) 総合選択制」について、中学生保護者、市町村関係者、企業で「増やすべきである」の割合が5割を超えた一方、高校教員は26.2%であった。

「(カ) 全国からの生徒募集」について、大学・短大教員、企業で「増やすべきである」の割合が最も高く、市町村関係者は「増やすべきである」と「現状どおりでよい」が同じ割合で最も高かった。

「(キ) コミュニティ・スクール」について、大学・短大教員で「増やすべきである」の割合が4割を超えた一方、高校生保護者、中学生保護者、中学校教員、企業は2割に満たなかった。

「(ク) 通級による指導」について、中学校教員、小学校教員、大学・短大教員、市町村関係者で「増やすべきである」の割合が5割を超えた。

18 未導入の教育制度等の必要性

問18 あなたは、次にあげる教育制度等を導入することについて、どのように考えますか。次の（ア）～（ウ）のそれぞれについてお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）複数の職業に関する専門学科が設置され、興味・関心、進路志望等に応じて他の学科の科目を選択できるなど、職業に関する知識・技能を総合的に学べる高校。（総合産業高校・総合技術高校）

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
必要である	59.1	47.2	55.5	35.2	39.0	51.1	34.7	45.7	37.1
どちらかといえば必要である	31.0	41.8	33.1	44.1	54.8	41.2	42.9	48.5	34.9
どちらかといえば必要でない	2.6	2.6	1.7	8.3	2.1	3.8	10.2	2.9	0.9
必要でない	0.4	0.6	0.4	8.3	1.4	-	7.1	-	1.8
わからない	6.3	7.0	7.3	4.1	2.7	3.1	5.1	2.9	4.5
無回答	0.6	0.8	2.0	-	-	0.8	-	-	20.8
必要(計)	90.1	89.0	88.6	79.3	93.8	92.3	77.6	94.2	72.0
必要ない(計)	3.0	3.2	2.1	16.6	3.5	3.8	17.3	2.9	2.7

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	46.1	37.9	48.6	24.8	37.8	46.5	27.7	25.0	39.3
どちらかといえば必要である	32.4	45.8	37.4	46.8	46.2	43.3	42.6	65.6	44.7
どちらかといえば必要でない	3.5	4.0	2.6	16.3	5.6	2.4	11.9	3.1	4.5
必要でない	1.4	1.0	1.1	5.7	4.2	0.8	7.9	3.1	1.5
わからない	15.7	10.1	9.0	6.4	5.6	7.1	9.9	3.1	7.6
無回答	0.8	1.2	1.3	-	0.7	-	-	-	2.4
必要(計)	78.5	83.7	86.0	71.6	84.0	89.8	70.3	90.6	84.0
必要ない(計)	4.9	5.0	3.7	22.0	9.8	3.2	19.8	6.2	6.0

(イ) 6年間にわたって継続して学習することができる、中学校と高校を一体化した学校。
(中等教育学校)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
必要である	31.5	22.6	21.7	24.1	12.3	22.9	20.4	17.2	19.6
どちらかといえば必要である	36.0	35.3	34.6	28.3	39.0	46.6	33.7	51.4	24.1
どちらかといえば必要でない	15.1	18.5	16.2	17.9	25.4	11.4	19.4	14.3	15.4
必要でない	5.2	6.2	4.4	15.9	8.2	2.3	10.2	5.7	6.9
わからない	11.6	16.6	21.0	13.8	15.1	16.8	16.3	11.4	13.2
無回答	0.6	0.8	2.1	-	-	-	-	-	20.8
必要(計)	67.5	57.9	56.3	52.4	51.3	69.5	54.1	68.6	43.7
必要ない(計)	20.3	24.7	20.6	33.8	33.6	13.7	29.6	20.0	22.3

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	23.8	20.7	20.4	18.4	16.1	22.8	28.7	21.9	19.0
どちらかといえば必要である	30.7	34.4	32.9	28.4	38.5	34.6	33.7	40.6	34.7
どちらかといえば必要でない	17.4	19.9	19.2	24.8	26.6	22.0	16.8	21.9	19.9
必要でない	5.9	5.4	5.1	15.6	9.1	5.5	7.9	12.5	6.6
わからない	21.4	18.4	21.2	12.1	9.8	15.0	10.9	3.1	18.1
無回答	0.9	1.1	1.3	0.7	-	-	2.0	-	1.5
必要(計)	54.5	55.1	53.3	46.8	54.6	57.4	62.4	62.5	53.7
必要ない(計)	23.3	25.3	24.3	40.4	35.7	27.5	24.7	34.4	26.5

(ウ) 高校に在学しながら、専修学校で詳しく学習し、それを高校の単位として認めてもらう仕組み。
(専修学校の学習成果の単位認定)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
必要である	45.2	30.7	35.2	20.0	20.6	25.2	20.4	11.4	22.0
どちらかといえば必要である	36.7	43.7	37.9	33.8	54.8	51.1	31.6	65.7	30.7
どちらかといえば必要でない	6.0	6.8	5.5	18.6	9.6	8.4	21.4	8.6	10.5
必要でない	1.2	2.7	1.8	11.0	2.7	0.8	12.3	5.7	1.5
わからない	10.4	15.1	17.5	15.2	12.3	14.5	14.3	8.6	14.5
無回答	0.5	1.0	2.1	1.4	-	-	-	-	20.8
必要(計)	81.9	74.4	73.1	53.8	75.4	76.3	52.0	77.1	52.7
必要ない(計)	7.2	9.5	7.3	29.6	12.3	9.2	33.7	14.3	12.0

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	30.6	19.0	22.9	11.3	14.0	17.3	14.9	15.6	25.7
どちらかといえば必要である	33.4	42.7	42.9	37.6	51.0	49.6	36.6	40.6	42.0
どちらかといえば必要でない	8.1	13.5	9.8	18.4	17.5	13.4	26.7	12.5	11.5
必要でない	3.9	3.1	3.5	24.1	4.9	2.4	12.9	9.4	3.3
わからない	22.9	20.6	19.8	8.5	11.9	17.3	7.9	21.9	16.6
無回答	1.1	1.1	1.1	-	0.7	-	1.0	-	0.9
必要(計)	64.0	61.7	65.8	48.9	65.0	66.9	51.5	56.2	67.7
必要ない(計)	12.0	16.6	13.3	42.5	22.4	15.8	39.6	21.9	14.8

(ア)～(ウ)のまとめ

未導入の教育制度等の必要性 「必要(計)」の割合 (%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
(ア) 総合産業高校・総合技術高校	90.1	89.0	88.6	79.3	93.8	92.3	77.6	94.2	72.0
(イ) 中等教育学校	67.5	57.9	56.3	52.4	51.3	69.5	54.1	68.6	43.7
(ウ) 専修学校の学習成果の単位認定	81.9	74.4	73.1	53.8	75.4	76.3	52.0	77.1	52.7

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
(ア) 総合産業高校・総合技術高校	78.5	83.7	86.0	71.6	84.0	89.8	70.3	90.6	84.0
(イ) 中等教育学校	54.5	55.1	53.3	46.8	54.6	57.4	62.4	62.5	53.7
(ウ) 専修学校の学習成果の単位認定	64.0	61.7	65.8	48.9	65.0	66.9	51.5	56.2	67.7

すべての対象者で「総合産業高校・総合技術高校」が最も高い割合

未導入の教育制度等を導入することについて尋ねたところ、「(ア) 総合産業高校・総合技術高校」について、すべての対象者で「必要(計)」の割合が7割を超え、高校生、中学校教員、小学校教員、市町村関係者では9割を超えた。

「(ウ) 専修学校の学習成果の単位認定」について、すべての対象者で「必要(計)」の割合が5割を超え、令和元年調査と比較すると、高校生、高校生保護者、中学校教員、市町村関係者で10ポイント以上増加した。

《 高校の規模等に関する考え方 》

19 望ましい高校規模

問19 あなたは、高校の規模として、1学年何学級くらいが望ましいと思いますか。 (%)

	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	993	995	976	952	145	146	131	98	35	332
1学年 1学級	2.0	0.9	0.5	-	-	-	-	-	-	0.3
1学年 2学級	8.5	3.5	4.5	4.4	1.4	2.1	3.8	4.1	5.7	1.8
1学年 3学級	27.4	12.6	14.9	21.2	10.3	13.0	13.0	24.5	17.1	20.8
1学年 4学級	19.2	14.9	12.2	14.3	29.7	34.9	21.4	10.2	28.6	14.1
1学年 5学級	15.1	24.6	30.1	26.9	42.8	28.1	33.6	16.3	14.3	18.4
1学年 6学級以上	8.4	32.6	20.5	12.7	10.3	14.4	13.7	16.3	11.5	6.9
わからない	18.7	10.5	14.7	16.9	4.1	7.5	13.7	28.6	17.1	16.3
無回答	0.7	0.4	2.6	3.6	1.4	-	0.8	-	5.7	21.4

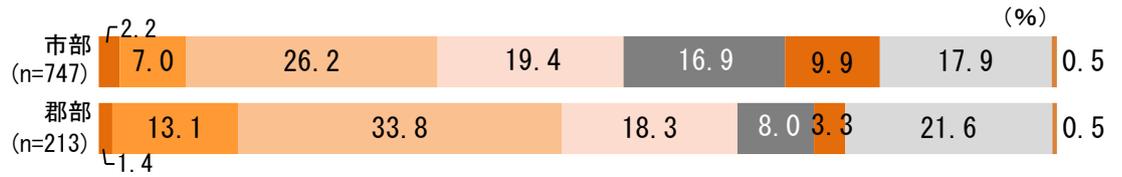
(参考 令和元年調査)

(%)

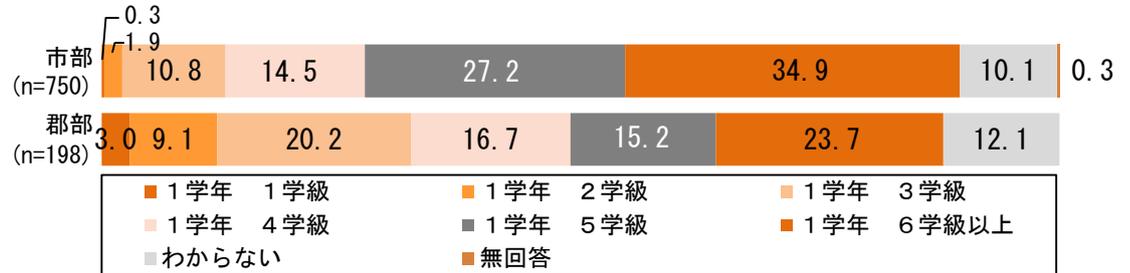
	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	997	997	994	992	141	143	127	101	32	331
1学年 1学級	1.1	1.9	0.7	0.4	1.4	-	-	-	-	-
1学年 2~3学級	32.9	17.5	15.7	26.0	14.2	18.2	12.6	12.9	34.4	24.5
1学年 4~5学級	37.9	38.9	50.3	49.5	63.1	65.7	56.7	51.5	53.1	41.7
1学年 6学級以上	7.1	26.9	17.6	10.8	18.4	11.9	21.3	9.9	6.3	14.5
わからない	19.4	13.8	14.4	11.5	2.1	4.2	9.4	25.7	3.1	14.5
無回答	1.6	1.0	1.3	1.8	0.7	-	-	-	3.1	4.8

図表 3 1 望ましい高校規模【居住地（市部・郡部）別】

《中学生》

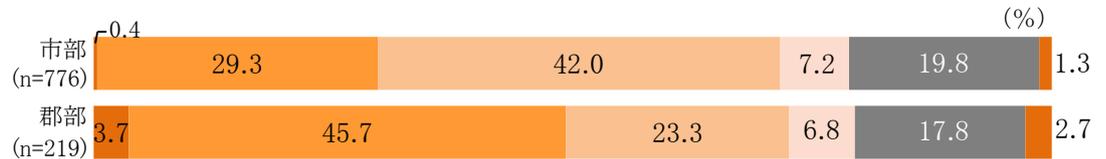


《高校生》

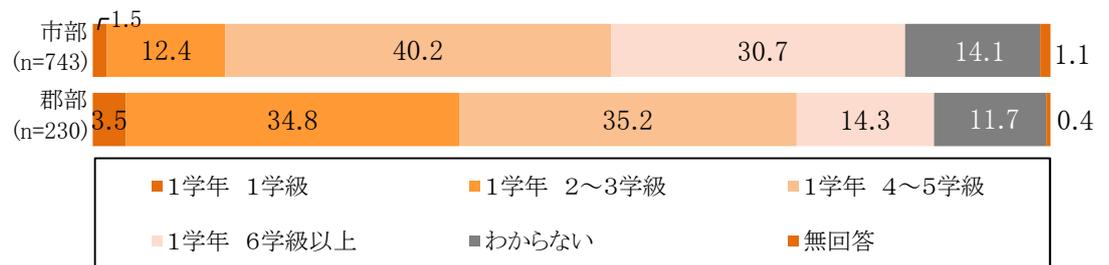


(参考 令和元年調査)

《中学生》

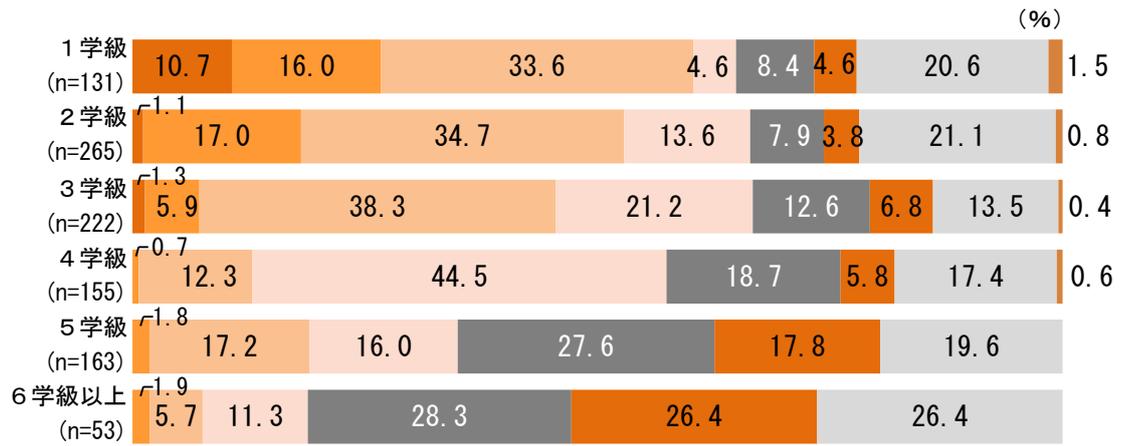


《高校生》

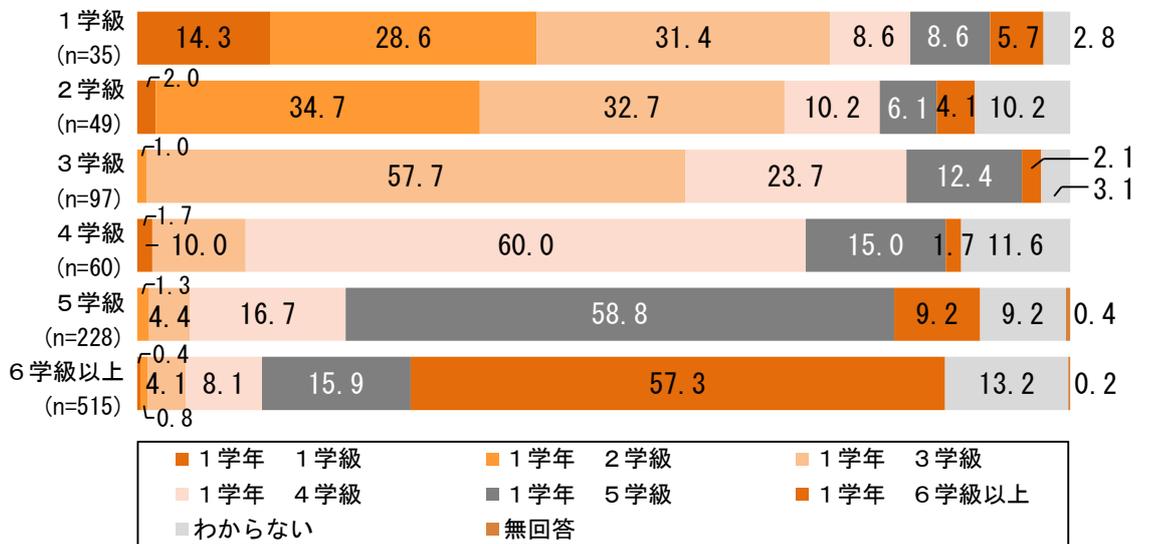


図表 3 2 望ましい高校規模【学校の規模別】

《中学生》

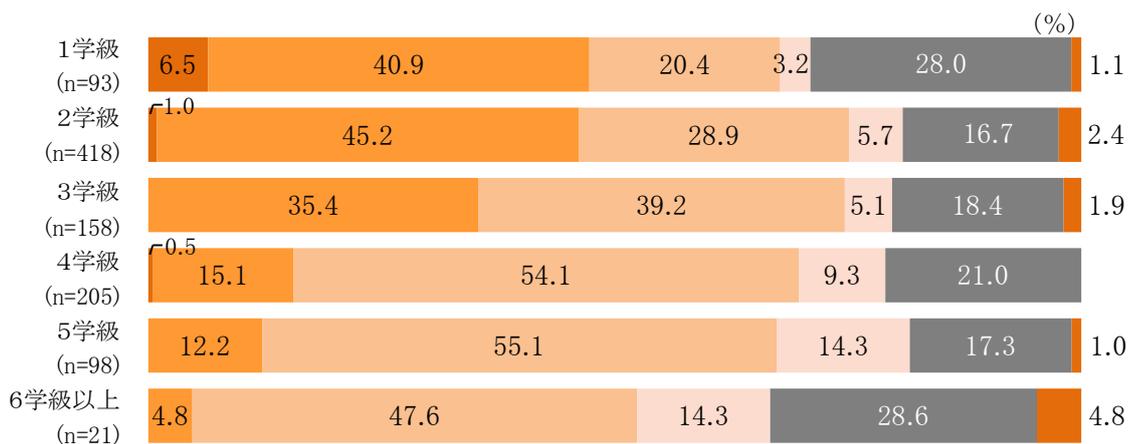


《高校生》

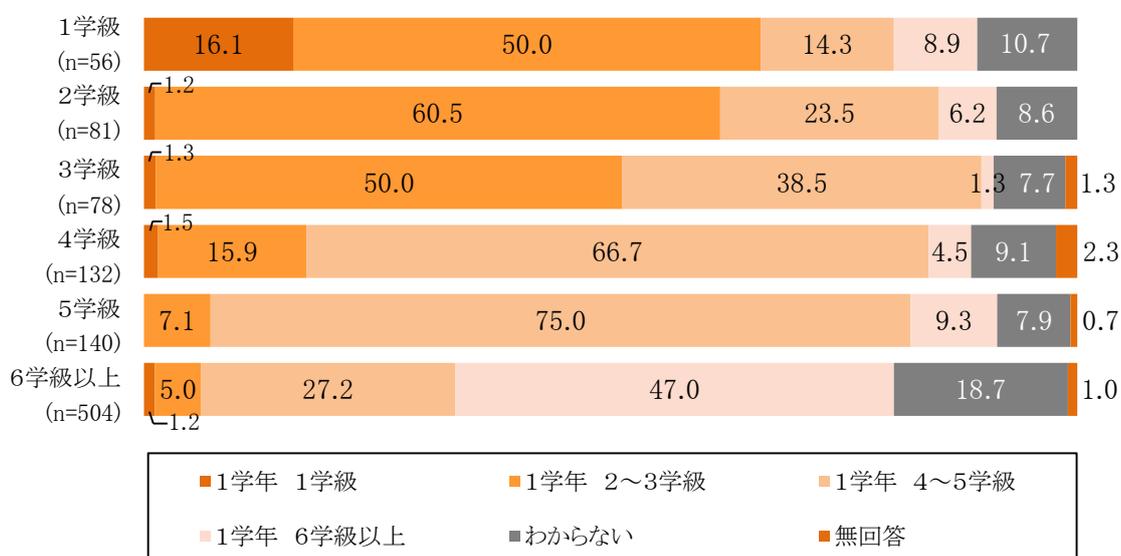


(参考 令和元年調査)

《中学生》



《高校生》



中学生で「1学年 3学級」が、高校生で「1学年 6学級以上」が最も高い割合

高校の規模として、1学年何学級くらいが望ましいか尋ねたところ、中学生では「1学年 3学級」が、中学校教員、市町村関係者では「1学年 4学級」が、高校生保護者、中学生保護者、高校教員、小学校教員では「1学年 5学級」が、高校生では「1学年 6学級以上」が最も高い割合となった。

居住地別にみると、中学生の市部・郡部ともに「1学年 3学級」が、高校生の市部・郡部ともに「1学年 6学級以上」が最も高い割合となった。(図表3 1 参照)

学校の規模別にみると、高校生において最も高い割合だったのは、1学級に在籍している生徒では「1学年 3学級」が、それ以外の学級に在籍している生徒では、在籍している学級数と望ましい高校規模が同じであった。(図表3 2 参照)

20 高校の規模・配置に関する考え方

問 20 県教育委員会では、これまで生徒の多様な進路志望に対応する教科・科目を開設したり、多彩な学校行事を展開したり、様々な部活動を設置したりするには、ある程度の規模を維持することが望ましいと考え、いくつかの高校の規模を見直したり、統廃合してきました。一方で、小規模校であっても学校を継続して配置すべきとの意見があります。今後の高校の規模の在り方について、あなたはどのように考えますか。

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	146	131	98	35	332
ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい	34.4	34.1	28.5	45.5	38.3	38.2	41.8	28.6	41.3
小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい	47.6	52.7	56.1	52.4	56.2	48.1	51.0	62.8	31.0
わからない	17.6	10.9	12.1	2.1	5.5	13.7	7.2	2.9	6.6
無回答	0.4	2.3	3.3	-	-	-	-	5.7	21.1

(参考 令和元年調査)

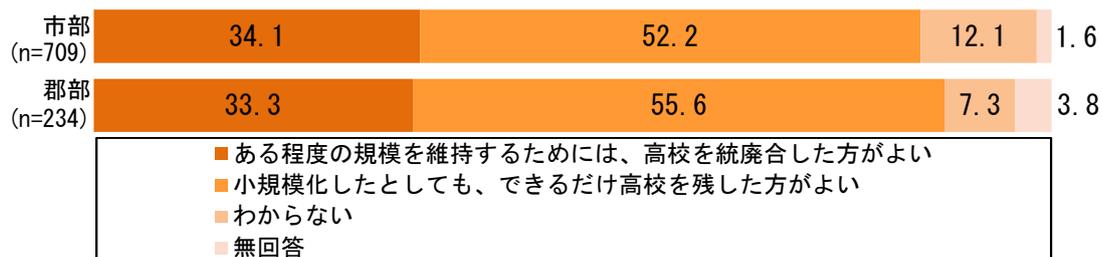
	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい	33.4	36.9	34.9	60.3	59.4	48.8	56.4	56.3	55.6
小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい	41.0	49.5	52.1	35.5	38.5	40.9	33.7	40.6	27.8
わからない	25.1	11.8	11.5	3.5	2.1	10.2	9.9	3.1	11.8
無回答	0.5	1.8	1.5	0.7	-	-	-	-	4.8

図表 3 3 高校の規模・配置に関する考え方【居住地（市部・郡部）別】

《高校生》

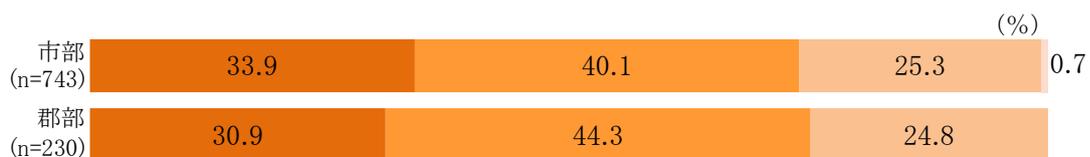


《高校生保護者》



(参考 令和元年調査)

《高校生》



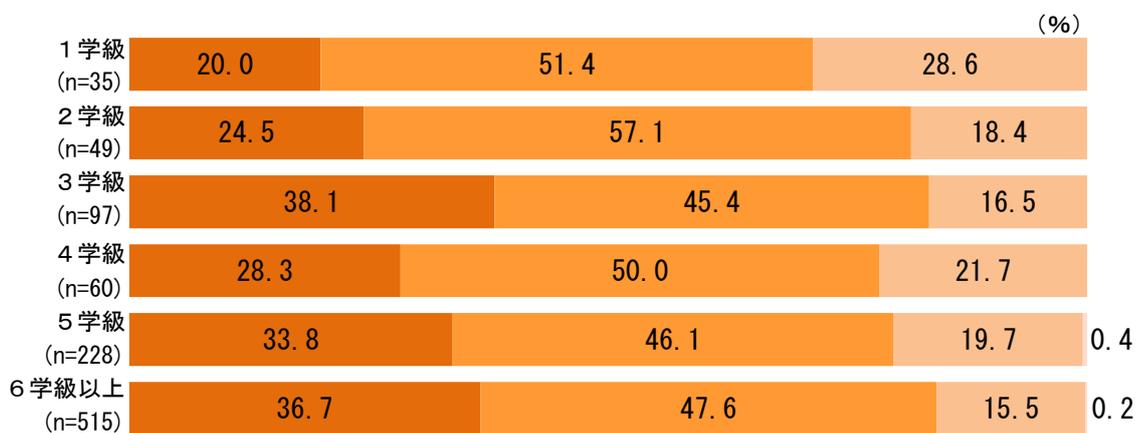
《高校生保護者》



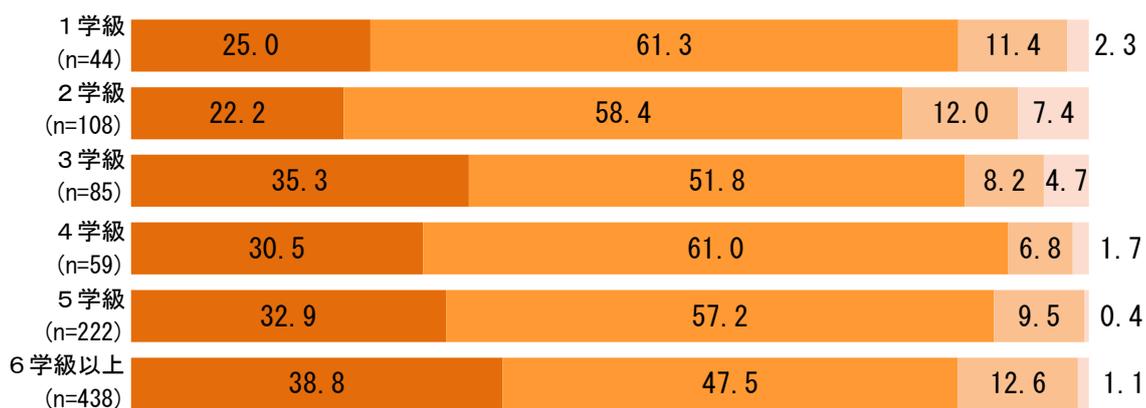
■ ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい
■ 小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい
■ わからない
■ 無回答

図表 3 4 高校の規模・配置に関する考え方【学校の規模別、子どもの学校の規模別】

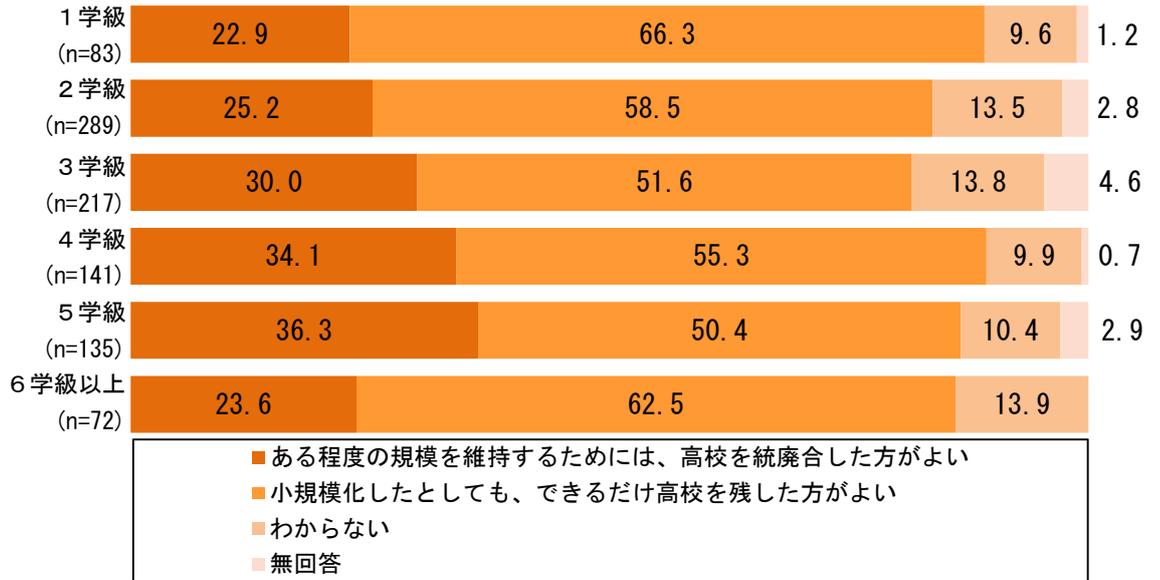
《高校生》



《高校生保護者》

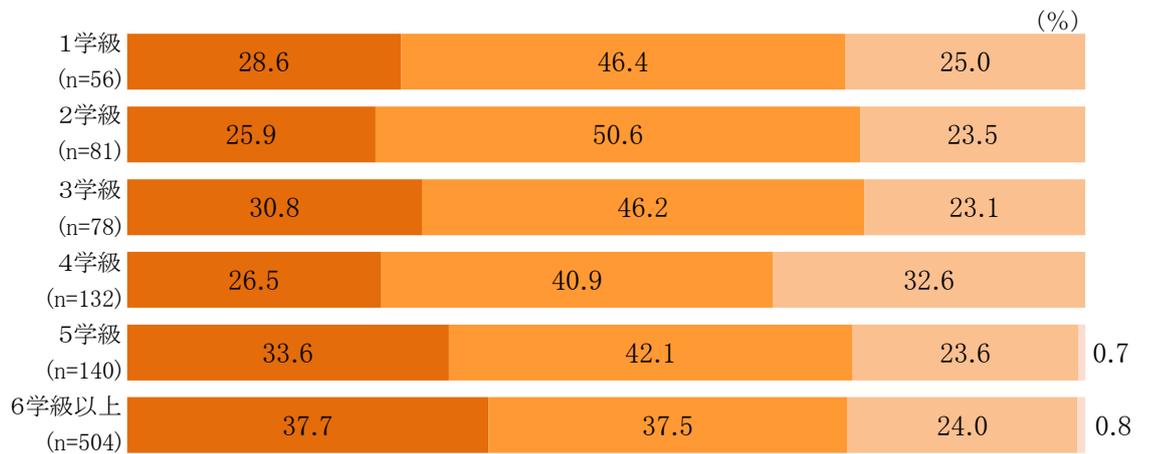


《中学生保護者》

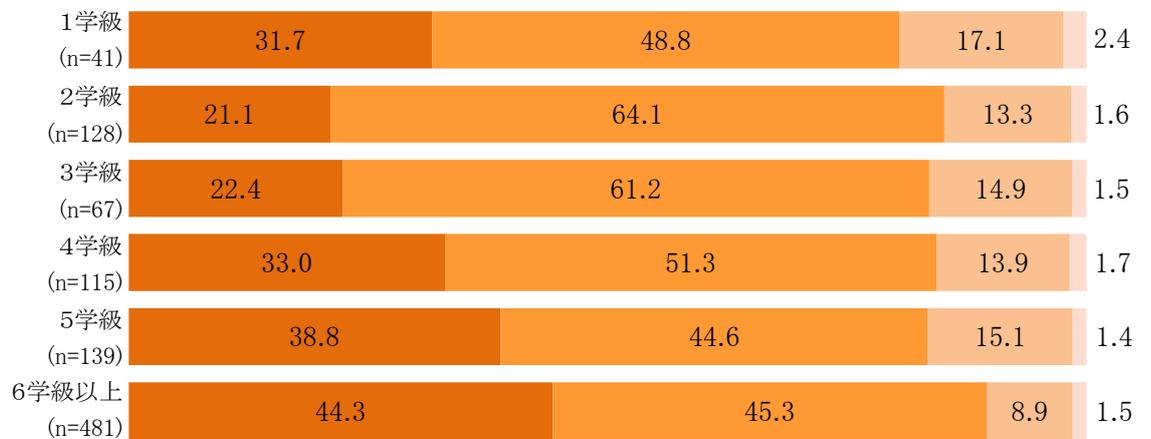


(参考 令和元年調査)

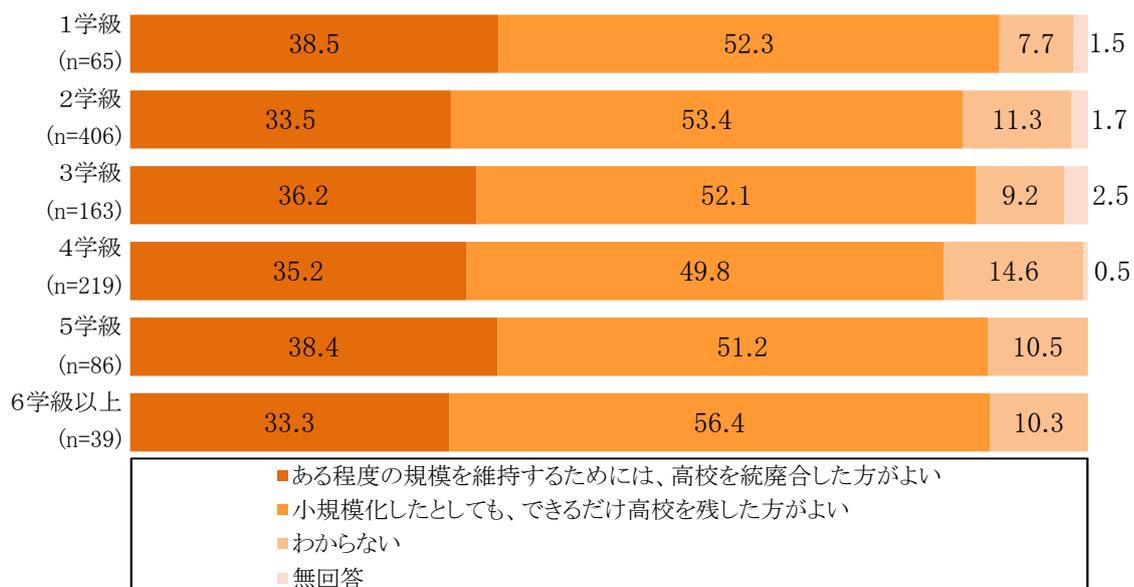
《高校生》



《高校生保護者》



《中学生保護者》



企業以外のすべての対象者で「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」が最も高い割合

今後の高校の規模の在り方について尋ねたところ、企業以外のすべての対象者で「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」が最も高い割合となった。

令和元年調査では、高校教員、中学校教員、小学校教員、大学・短大教員、市町村関係者で「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい」が最も高い割合であったが、今回調査では「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」が最も高かった。

居住地別にみると、高校生、高校生保護者の市部・郡部ともに「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」の割合が最も高かった。（図表3.3参照）

学校の規模別にみると、高校生、高校生保護者、中学生保護者とも、すべての規模で「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」の割合が最も高かった。また、「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい」を選んだ割合が最も高かったのは、高校生の3学級で38.1%、高校生保護者の6学級以上で38.8%であった。（図表3.4参照）

20-（付問1） 規模を維持するため統廃合した方がよい理由

問20付問1 問20で「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい」と回答した方にうかがいます。
あなたが「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい」を選んだ理由は何ですか。

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	342	333	271	66	56	50	41	10	137
生徒一人一人の進路志望に応じた幅広い科目を選択できるから	28.9	28.8	33.2	18.2	35.7	16.0	26.8	80.0	21.9
多くの生徒たちとの出会いや交流があり、それを通じて多様な考え方に触れることができるから	50.0	57.7	55.0	57.6	58.9	70.0	65.9	10.0	65.7
数多くの部活動が置かれ、ニーズに応じて選択できるから	5.0	5.1	3.7	6.0	1.8	6.0	2.4	10.0	2.2
より活気あふれる体育祭や文化祭等の学校行事ができるから	13.5	4.5	4.8	7.6	-	2.0	-	-	4.4
その他	2.3	3.3	3.3	10.6	3.6	4.0	4.9	-	5.8
無回答	0.3	0.6	-	-	-	2.0	-	-	-

(参考 令和元年調査)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	333	367	346	85	85	62	57	18	184
大学受験で必要となる科目や芸術科目の選択等、生徒のニーズに応じた多種類の科目を選択できるから	35.4	35.1	37.0	23.5	24.7	37.1	29.8	44.4	23.4
多くの生徒たちとの出会いや交流があり、それを通じてお互いを高め合うことができるから	40.2	45.5	47.1	44.7	62.4	48.4	52.6	44.4	65.8
数多くの部活動が置かれ、その中から生徒のニーズに応じて選択できるから	7.8	12.8	9.0	12.9	9.4	4.8	5.3	11.1	7.6
より活気あふれる体育祭や文化祭等の学校行事ができるから	12.6	4.6	4.3	11.8	1.2	6.5	5.3	-	-
その他	2.1	1.6	2.3	7.1	2.4	3.2	5.3	-	2.2
無回答	1.8	0.3	0.3	-	-	-	1.8	-	1.1

市町村関係者以外のすべての対象者で「多くの生徒たちとの出会いや交流があり、それを通じて多様な考え方に触れることができるから」が最も高い割合

「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方がよい」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、市町村関係者以外のすべての対象者で「多くの生徒たちとの出会いや交流があり、それを通じて多様な考え方に触れることができるから」が最も高い割合となった。

なお、市町村関係者では「生徒一人一人の進路志望に応じた幅広い科目を選択できるから」が80.0%と最も高かった。

20-（付問2） 小規模化したとしても高校を残した方がよい理由

問20付問2 問20で「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」と回答した方にうかがいます。
あなたが「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」を選んだ理由は何かですか。 (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	474	514	534	76	82	63	50	22	103
よりきめ細かい教育活動が期待できるから	17.7	25.3	32.6	29.0	26.8	23.8	24.0	31.9	26.2
生徒同士がお互いに親密な人間関係をつくりやすいから	16.7	8.9	7.5	1.3	1.2	6.3	6.0	4.5	9.7
体育館等、施設・設備を利用する上で余裕があるから	6.1	1.6	0.7	-	2.5	1.6	-	-	1.9
高校がなくなると地域の衰退につながるおそれがあるから	30.8	31.5	24.2	44.7	45.1	41.3	48.0	40.9	47.6
高校がなくなると通学しにくくなるから	27.0	28.8	32.2	19.7	22.0	23.8	16.0	18.2	12.7
その他	0.8	1.4	1.9	5.3	1.2	1.6	6.0	4.5	1.9
無回答	0.9	2.5	0.9	-	1.2	1.6	-	-	-

(参考 令和元年調査)

(％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	409	492	517	50	55	52	34	13	92
よりきめ細かい教育活動が期待できるから	20.3	36.0	41.0	40.0	34.5	34.6	29.4	23.1	29.3
生徒同士がお互いに親密な人間関係をつくりやすいから	17.8	11.0	7.7	-	1.8	1.9	5.9	-	14.1
体育館等、施設・設備を利用する上で余裕があるから	4.9	2.2	3.5	6.0	3.6	1.9	2.9	-	5.4
高校がなくなると地域の衰退につながるおそれがあるから	48.4	44.3	40.2	48.0	56.4	48.1	47.1	53.8	40.2
その他	4.6	5.9	6.6	2.0	1.8	13.5	11.8	23.1	7.6
無回答	3.9	0.6	1.0	4.0	1.8	-	2.9	-	3.3

中学生保護者以外のすべての対象者で「高校がなくなると地域の衰退につながるおそれがあるから」が最も高い割合

「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方がよい」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、中学生保護者以外のすべての対象者で「高校がなくなると地域の衰退につながるおそれがあるから」が、中学生保護者で「よりきめ細かい教育活動が期待できるから」が最も高い割合となった。

また、高校生、高校生保護者、中学生保護者、小学校教員では「高校がなくなると通学しにくくなるから」が2番目に高かった。

21 生徒数減少による教育活動への影響

問21 現在高校の生徒数減少や小規模化（学級数減）が進んでいますが、これにより生徒の教育活動に影響や課題が生じると感じますか。 (％)

	高校教員
回答者数	145
生じると思う	86.2
生じないと思う	9.7
わからない	0.7
無回答	3.4

(参考 令和元年調査)

(％)

	高校教員
回答者数	141
生じると思う	90.8
生じないと思う	6.4
わからない	2.8
無回答	-

21－（付問1） 小規模化により生じる教育活動への具体的な課題

問21付問1 問21で「生じると思う」と回答した方にうかがいます。

教育活動への具体的な影響や課題として考えられる次の項目について、あなたはどのように考えますか。次の（ア）～（オ）のそれぞれについてお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）教員数が減ったことに伴う開設科目の減少により、生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる。 (％)

	高校教員
回答者数	125
課題等となると思う	65.6
やや課題等となると思う	24.0
課題等となるとはあまり思わない	4.8
課題等となるとは思わない	4.0
わからない	0.8
無回答	0.8
課題等となると思う(計)	89.6
課題等となるとは思わない(計)	8.8

（参考 令和元年調査）

(％)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	72.7
やや課題等となると思う	20.3
課題等となるとはあまり思わない	3.1
課題等となるとは思わない	2.3
わからない	1.6
無回答	-
課題等となると思う(計)	93.0
課題等となるとは思わない(計)	5.4

(イ) 部員が減少したことにより、廃部・休部を余儀なくされる部活動が出てくるなど、生徒の多様なニーズに対応することが難しくなる。(%)

	高校教員
回答者数	125
課題等となると思う	66.4
やや課題等となると思う	16.8
課題等となるとはあまり思わない	10.4
課題等となるとは思わない	5.6
わからない	-
無回答	0.8
課題等となると思う(計)	83.2
課題等となるとは思わない(計)	16.0

(参考 令和元年調査) (%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	68.8
やや課題等となると思う	21.9
課題等となるとはあまり思わない	3.9
課題等となるとは思わない	3.1
わからない	1.6
無回答	0.8
課題等となると思う(計)	90.7
課題等となるとは思わない(計)	7.0

(ウ) 学校行事に参加する生徒が減少することにより、規模が縮小したり、盛り上がりには欠けたりするようになる。(%)

	高校教員
回答者数	125
課題等となると思う	43.2
やや課題等となると思う	37.6
課題等となるとはあまり思わない	10.4
課題等となるとは思わない	8.0
わからない	-
無回答	0.8
課題等となると思う(計)	80.8
課題等となるとは思わない(計)	18.4

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	57.8
やや課題等となると思う	25.0
課題等となるとはあまり思わない	13.3
課題等となるとは思わない	3.1
わからない	0.8
無回答	-
課題等となると思う(計)	82.8
課題等となるとは思わない(計)	16.4

(エ) 生徒会費、PTA会費等の予算が縮小することにより、様々な教育活動の取組に充てる予算も縮小する。

(%)

	高校教員
回答者数	125
課題等となると思う	49.6
やや課題等となると思う	40.8
課題等となるとはあまり思わない	5.6
課題等となるとは思わない	3.2
わからない	-
無回答	0.8
課題等となると思う(計)	90.4
課題等となるとは思わない(計)	8.8

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	68.0
やや課題等となると思う	25.0
課題等となるとはあまり思わない	3.9
課題等となるとは思わない	0.8
わからない	1.6
無回答	0.8
課題等となると思う(計)	93.0
課題等となるとは思わない(計)	4.7

(オ) 教員数が減ったことに伴い、分掌の兼務などが増え、進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる。 (％)

	高校教員
回答者数	125
課題等となると思う	73.6
やや課題等となると思う	21.6
課題等となるとはあまり思わない	4.0
課題等となるとは思わない	-
わからない	-
無回答	0.8
課題等となると思う(計)	95.2
課題等となるとは思わない(計)	4.0

(参考 令和元年調査)

(％)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	72.7
やや課題等となると思う	21.1
課題等となるとはあまり思わない	5.5
課題等となるとは思わない	-
わからない	0.8
無回答	-
課題等となると思う(計)	93.8
課題等となるとは思わない(計)	5.5

(ア)～(オ)のまとめ

小規模化により生じる教育活動への具体的な課題 「課題等となると思う(計)」の割合 (%)

	高校教員
回答者数	125
(ア) 教員数が減ったことに伴う開設科目の減少により、生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる	89.6
(イ) 部員が減少したことにより、廃部・休部を余儀なくされる部活動が出てくるなど、生徒の多様なニーズに対応することが難しくなる	83.2
(ウ) 学校行事に参加する生徒が減少することにより、規模が縮小したり、盛り上がりやに欠けたりするようになる	80.8
(エ) 生徒会費、PTA会費等の予算が縮小することにより、様々な教育活動の取組に充てる予算も縮小する	90.4
(オ) 教員数が減ったことに伴い、分掌の兼務などが増え、進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる	95.2

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校教員
回答者数	128
(ア) 教員数が減ったことに伴う開設科目の減少により、生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる	93.0
(イ) 部員が減少したことにより、廃部・休部を余儀なくされる部活動が出てくるなど、生徒の多様なニーズに対応することが難しくなる	90.7
(ウ) 学校行事に参加する生徒が減少することにより、規模が縮小したり、盛り上がりやに欠けたりするようになる	82.8
(エ) 生徒会費、PTA会費等の予算が縮小することにより、様々な教育活動の取組に充てる予算も縮小する	93.0
(オ) 教員数が減ったことに伴い、分掌の兼務などが増え、進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる	93.8

すべての項目で「課題等となると思う(計)」の割合が8割以上

高校の生徒数減少や小規模化(学級数減)により生徒の教育活動に影響や課題が「生じると思う」と回答した人に、具体的な影響や課題について尋ねたところ、「課題等となると思う(計)」の割合が最も高かったのは、「(オ) 教員数が減ったことに伴い、分掌の兼務などが増え、進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる」で、95.2%であった。次いで「(エ) 生徒会費、PTA会費等の予算が縮小することにより、様々な教育活動の取組に充てる予算も縮小する」が90.4%、「(ア) 教員数が減ったことに伴う開設科目の減少により、生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる」が89.6%と続いた。

令和元年調査と比較すると、「(オ) 教員数が減ったことに伴い、分掌の兼務などが増え、進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる」の割合が93.8%から95.2%と1.4ポイント増加したが、その他の項目では減少した。

《 小・中学校、高校、大学、地域との連携 》

22 小・中学校と高校の連携

問22 あなたは、小・中学校と高校との連携の取組について、どのように考えますか。次の（ア）～（オ）（高校生は（ア）～（ウ））のそれぞれについてお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）高校生による小・中学生への学習指導、授業補助、講演等 （％）

	高校生
回答者数	995
必要である	28.5
どちらかといえば必要である	31.4
どちらともいえない	22.5
どちらかといえば必要ではない	8.3
必要でない	6.8
無回答	2.5
必要(計)	59.9
必要ない(計)	15.1

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	145	146	131
さらに充実させる必要がある	34.5	34.3	35.1
現状で十分である	46.2	41.1	48.1
実施する必要はない	8.3	17.1	11.5
わからない	4.8	4.8	3.8
無回答	6.2	2.7	1.5

（参考 令和元年調査） （％）

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
さらに充実させる必要がある	29.1	36.4	37.0
現状で十分である	46.1	37.1	37.0
実施する必要はない	14.2	18.9	13.4
わからない	4.3	3.5	7.9
無回答	6.4	4.2	4.7

(イ) 小・中学生を高校に招いて授業や部活動等を体験する活動

(%)

	高校生
回答者数	995
必要である	42.4
どちらかといえば必要である	35.8
どちらともいえない	11.7
どちらかといえば必要ではない	3.8
必要でない	3.5
無回答	2.8
必要(計)	78.2
必要ない(計)	7.3

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	145	146	131
さらに充実させる必要がある	40.0	37.0	32.8
現状で十分である	42.1	52.7	51.9
実施する必要はない	8.9	5.5	7.7
わからない	2.1	2.1	6.1
無回答	6.9	2.7	1.5

(参考 令和元年調査)

(イ) 小・中学生が高校に出向いて校内の様子や授業、部活動等を見学する体験入学等

(%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
さらに充実させる必要がある	23.4	32.9	47.2
現状で十分である	68.1	58.7	36.2
実施する必要はない	2.8	2.1	7.1
わからない	-	2.1	4.7
無回答	5.7	4.2	4.7

(ウ) 小・中学生と高校生が一緒になって参加する地域の行事やイベント

(%)

	高校生
回答者数	995
必要である	39.6
どちらかといえば必要である	33.0
どちらともいえない	15.6
どちらかといえば必要ではない	5.0
必要でない	4.0
無回答	2.8
必要(計)	72.6
必要ない(計)	9.0

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	145	146	131
さらに充実させる必要がある	49.7	38.4	45.0
現状で十分である	35.2	44.5	44.3
実施する必要はない	4.8	8.9	3.1
わからない	4.1	4.8	6.1
無回答	6.2	3.4	1.5

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
さらに充実させる必要がある	30.5	30.1	44.9
現状で十分である	51.1	44.1	37.8
実施する必要はない	7.8	13.3	4.7
わからない	3.5	7.7	7.9
無回答	7.1	4.9	4.7

(エ) 各校種の枠を超えた、教材開発や指導実践研究（授業公開や授業研究）などの教員研修 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	145	146	131
さらに充実させる必要がある	33.8	37.7	28.2
現状で十分である	42.8	41.1	46.6
実施する必要はない	12.4	12.3	14.5
わからない	4.8	6.2	9.2
無回答	6.2	2.7	1.5

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
さらに充実させる必要がある	31.9	37.8	36.2
現状で十分である	48.9	40.6	34.6
実施する必要はない	7.8	12.6	12.6
わからない	5.7	4.9	11.8
無回答	5.7	4.2	4.7

(オ) 生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	145	146	131
さらに充実させる必要がある	68.3	58.3	56.5
現状で十分である	19.3	32.2	34.4
実施する必要はない	2.1	4.1	3.8
わからない	4.1	2.7	3.8
無回答	6.2	2.7	1.5

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
さらに充実させる必要がある	65.2	68.5	67.7
現状で十分である	26.2	23.1	20.5
実施する必要はない	1.4	1.4	3.1
わからない	1.4	2.8	3.1
無回答	5.7	4.2	5.5

(ア)～(オ)のまとめ
小・中学校と高校の連携 「必要(計)」の割合 (％)

高校生	必要(計)
回答者数	995
(ア)高校生による小・中学生への学習指導、授業補助、講演等	59.9
(イ)小・中学生を高校に招いて授業や部活動等を体験する活動	78.2
(ウ)小・中学生と高校生が一緒になって参加する地域の行事やイベント	72.6

小・中学校と高校の連携 「さらに充実させる必要がある」の割合 (％)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	145	146	131
(ア)高校生による小・中学生への学習指導、授業補助、講演等	34.5	34.3	35.1
(イ)小・中学生を高校に招いて授業や部活動等を体験する活動	40.0	37.0	32.8
(ウ)小・中学生と高校生が一緒になって参加する地域の行事やイベント	49.7	38.4	45.0
(エ)各校種の枠を超えた、教材開発や指導実践研究(授業公開や授業研究)などの教員研修	33.8	37.7	28.2
(オ)生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化	68.3	58.3	56.5

(参考 令和元年調査) (％)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
(ア)高校生による小・中学生への学習指導、授業補助、講演等	29.1	36.4	37.0
(イ)小・中学生が高校に出向いて校内の様子や授業、部活動等を見学する体験入学等	23.4	32.9	47.2
(ウ)小・中学生と高校生が一緒になって参加する地域の行事等	30.5	30.1	44.9
(エ)各校種の枠を超えた、教材開発や指導実践研究(授業公開や授業研究)などの教員研修	31.9	37.8	36.2
(オ)生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化	65.2	68.5	67.7

高校生で「小・中学生を高校に招いて授業や部活動等を体験する活動」、高校教員、中学校教員、小学校教員で「生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化」が最も高い割合

小・中学校と高校との連携について尋ねたところ、高校生で「必要(計)」の割合が最も高かったのは、「(イ)小・中学生を高校に招いて授業や部活動等を体験する活動」が78.2%、次いで「(ウ)小・中学校と高校生が一緒になって参加する地域の行事やイベント」が72.6%であった。

また、高校教員、中学校教員、小学校教員で「さらに充実させる必要がある」の割合が最も高かったのは、「(オ)生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化」で、次いで「(ウ)小・中学生と高校生が一緒になって参加する地域の行事やイベント」であった。

23 高校同士の連携

問23 あなたは、高校同士の連携の取組について、どのように考えますか。次の（ア）～（オ）のそれぞれについてお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）高校が主催する進学や資格取得に向けた講習会への他校の生徒の参加 (%)

	高校生	高校教員
回答者数	995	145
必要である	34.3	31.0
どちらかといえば必要である	37.2	40.7
どちらともいえない	20.6	20.0
どちらかといえば必要ではない	4.1	3.5
必要でない	3.2	4.1
無回答	0.6	0.7
必要(計)	71.5	71.7
必要ない(計)	7.3	7.6

（イ）他校の生徒と一緒に実施する学校行事 (%)

	高校生	高校教員
回答者数	995	145
必要である	33.3	15.2
どちらかといえば必要である	29.6	26.2
どちらともいえない	20.4	32.4
どちらかといえば必要ではない	10.1	13.8
必要でない	5.8	11.7
無回答	0.8	0.7
必要(計)	62.9	41.4
必要ない(計)	15.9	25.5

（ウ）他校の生徒と一緒に実施する地域の行事やイベントを企画したり、参加したりする取組 (%)

	高校生	高校教員
回答者数	995	145
必要である	35.1	28.3
どちらかといえば必要である	35.5	42.1
どちらともいえない	17.8	17.2
どちらかといえば必要ではない	6.5	5.5
必要でない	4.4	6.2
無回答	0.7	0.7
必要(計)	70.6	70.4
必要ない(計)	10.9	11.7

(エ) 各校の生徒による研究・発表等の協働的な学習

(%)

	高校生	高校教員
回答者数	995	145
必要である	29.4	29.6
どちらかといえば必要である	35.8	42.8
どちらともいえない	21.1	17.2
どちらかといえば必要ではない	7.3	2.8
必要でない	5.8	6.9
無回答	0.6	0.7
必要(計)	65.2	72.4
必要ない(計)	13.1	9.7

(オ) 自校にはない、他校の部活動を選択し、合同で練習等の活動を行う取組

(%)

	高校生	高校教員
回答者数	995	145
必要である	35.9	27.6
どちらかといえば必要である	31.7	28.3
どちらともいえない	19.3	21.4
どちらかといえば必要ではない	6.8	10.3
必要でない	5.6	11.7
無回答	0.7	0.7
必要(計)	67.6	55.9
必要ない(計)	12.4	22.0

(ア)～(オ)のまとめ

高校同士の連携の取組 「必要(計)」の割合

(%)

	高校生	高校教員
回答者数	995	145
(ア) 高校が主催する進学や資格取得に向けた講習会への他校の生徒の参加	71.5	71.7
(イ) 他校の生徒と一緒に実施する学校行事	62.9	41.4
(ウ) 他校の生徒と一緒に地域行事やイベントを企画したり、参加したりする取組	70.6	70.4
(エ) 各校の生徒による研究・発表等の協働的な学習	65.2	72.4
(オ) 自校にはない、他校の部活動を選択し、合同で練習等の活動を行う取組	67.6	55.9

高校生で「高校が主催する進学や資格取得に向けた講習会への他校の生徒の参加」、高校教員で「各校の生徒による研究・発表等の協働的な学習」が最も高い割合

高校同士の連携の取組について尋ねたところ、「必要(計)」の割合が最も高かったのは、高校生で「(ア) 高校が主催する進学や資格取得に向けた講習会への他校の生徒の参加」が71.5%、次いで「(ウ) 他校の生徒と一緒に地域行事やイベントを企画したり、参加したりする取組」が70.6%であった。

また、高校教員では「(エ) 各校の生徒による研究・発表等の協働的な学習」が72.4%、次いで「(ア) 高校が主催する進学や資格取得に向けた講習会への他校の生徒の参加」が71.7%であった。

24 高校と大学の連携

問24 あなたは、高校と大学との連携の取組等について、どのように考えますか。次の（ア）～（オ）のそれぞれについてお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）高校生が大学の講義を受け、修得した単位を高校卒業に必要な単位として認めたり、当該大学に進学した際、当該大学の単位として認めたりする取組 （%）

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	995	145	98
必要である	40.9	26.2	20.4
どちらかといえば必要である	31.9	32.4	32.7
どちらともいえない	19.9	21.4	25.5
どちらかといえば必要ではない	4.0	11.0	10.2
必要でない	2.7	8.3	9.2
無回答	0.6	0.7	2.0
必要(計)	72.8	58.6	53.1
必要ない(計)	6.7	19.3	19.4

（参考 令和元年調査）

（%）

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	-	141	101
さらに充実させる必要がある	-	30.5	31.7
現状で十分である	-	39.7	31.7
実施する必要はない	-	23.4	29.7
わからない	-	5.0	5.0
無回答	-	1.4	2.0

(イ) 高校生と大学生が一緒になって調査・研究したり、発表したりする取組 (％)

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	995	145	98
必要である	32.8	25.5	12.3
どちらかといえば必要である	36.7	49.6	41.8
どちらともいえない	20.0	15.2	27.6
どちらかといえば必要ではない	5.9	6.2	9.2
必要でない	3.8	2.1	7.1
無回答	0.8	1.4	2.0
必要(計)	69.5	75.1	54.1
必要ない(計)	9.7	8.3	16.3

(参考 令和元年調査) (％)

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	-	141	101
さらに充実させる必要がある	-	42.6	31.7
現状で十分である	-	40.4	40.6
実施する必要はない	-	12.1	19.8
わからない	-	3.5	5.0
無回答	-	1.4	3.0

(ウ) 大学教員が高校に出向いて、大学の紹介や模擬講義等を行う取組 (％)

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	995	145	98
必要である	47.4	42.1	34.7
どちらかといえば必要である	33.1	40.0	39.8
どちらともいえない	13.8	13.1	13.3
どちらかといえば必要ではない	2.4	2.7	5.1
必要でない	2.4	1.4	5.1
無回答	0.9	0.7	2.0
必要(計)	80.5	82.1	74.5
必要ない(計)	4.8	4.1	10.2

(参考 令和元年調査) (％)

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	-	141	101
さらに充実させる必要がある	-	40.4	40.6
現状で十分である	-	51.1	48.5
実施する必要はない	-	5.0	7.9
わからない	-	2.1	1.0
無回答	-	1.4	2.0

(エ) 高校生と大学生が一緒になって地域の行事やイベントを企画したり、参加したりする取組 (%)

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	995	145	98
必要である	36.9	33.1	25.5
どちらかといえば必要である	33.8	45.5	45.9
どちらともいえない	19.8	13.1	22.5
どちらかといえば必要ではない	5.7	6.2	4.1
必要でない	3.3	1.4	-
無回答	0.5	0.7	2.0
必要(計)	70.7	78.6	71.4
必要ない(計)	9.0	7.6	4.1

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	-	141	101
さらに充実させる必要がある	-	35.5	53.5
現状で十分である	-	47.5	30.7
実施する必要はない	-	10.6	9.9
わからない	-	4.3	5.0
無回答	-	2.1	1.0

(オ) 高校における調査・研究に対して、大学教員や大学生が指導したり、アドバイスしたりする取組

(%)

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	995	145	98
必要である	43.4	37.9	31.7
どちらかといえば必要である	34.4	49.0	39.8
どちらともいえない	15.1	9.6	19.4
どちらかといえば必要ではない	3.5	2.1	5.1
必要でない	2.9	0.7	2.0
無回答	0.7	0.7	2.0
必要(計)	77.8	86.9	71.5
必要ない(計)	6.4	2.8	7.1

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	-	141	101
さらに充実させる必要がある	-	51.8	45.5
現状で十分である	-	39.7	35.6
実施する必要はない	-	5.0	8.9
わからない	-	2.1	7.9
無回答	-	1.4	2.0

(ア)～(オ)のまとめ

高校と大学の連携 「必要(計)」の割合

(%)

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	995	145	98
(ア) 高校生が大学の講義を受け、修得した単位を高校卒業に必要な単位として認めたり、当該大学に進学した際、当該大学の単位として認めたりする取組	72.8	58.6	53.1
(イ) 高校生と大学生が一緒になって調査・研究したり、発表したりする取組	69.5	75.1	54.1
(ウ) 大学教員が高校に出向いて、大学の紹介や模擬講義等を行う取組	80.5	82.1	74.5
(エ) 高校生と大学生が一緒になって地域の行事やイベントを企画したり、参加したりする取組	70.7	78.6	71.4
(オ) 高校における調査・研究に対して、大学教員や大学生が指導したり、アドバイスしたりする取組	77.8	86.9	71.5

(参考 令和元年調査) 「さらに充実させる必要がある」の割合

(%)

	高校生	高校教員	大学・短大教員
回答者数	-	141	101
(ア) 高校生が高校に出向き、大学生と一緒に講義を受けて修得した単位を高校卒業に必要な単位として認めたり、当該大学に進学した際、当該大学の単位として認めたりする取組	-	30.5	31.7
(イ) 高校生が高校に出向いて、大学生と一緒に調査・研究したり、発表したりする取組	-	42.6	31.7
(ウ) 大学教員が高校に出向いて、大学の紹介や模擬講義等を行う取組	-	40.4	40.6
(エ) 高校生と大学生が一緒になって地域の行事やイベントを企画し、参加する取組	-	35.5	53.5
(オ) 高校における調査・研究に対して、大学教員や学生が指導したりアドバイスしたりする取組	-	51.8	45.5

すべての項目で「必要(計)」の割合が5割以上

高校と大学の連携の取組等について尋ねたところ、すべての項目で「必要(計)」の割合が5割以上となり、「(ウ) 大学教員が高校に出向いて、大学の紹介や模擬講義等を行う取組」、「(エ) 高校生と大学生が一緒になって地域の行事やイベントを企画したり、参加したりする取組」、「(オ) 高校における調査・研究に対して、大学教員や大学生が指導したり、アドバイスしたりする取組」の3項目において、すべての対象者で「必要(計)」の割合が7割を超えた。

25 高校と地域の連携

問25 あなたは、高校と地域のかかわり方について、どのようなことを期待しますか。次の(ア)～(キ)のそれぞれについてお答えください。(各項目について○は1つ)

(ア) 高校の施設・設備を、地域住民が活用できるようにする

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	98	35	332
必要である	25.6	14.6	15.2	20.0	47.9	28.6	16.9
どちらかといえば必要である	27.8	25.8	28.7	31.7	24.5	42.9	28.3
どちらともいえない	24.4	32.5	31.1	21.4	19.4	17.1	29.8
どちらかといえば必要ではない	12.8	11.4	11.6	11.0	3.1	5.7	9.0
必要でない	8.7	10.0	6.6	14.5	5.1	-	11.2
無回答	0.7	5.7	6.8	1.4	-	5.7	4.8
必要(計)	53.4	40.4	43.9	51.7	72.4	71.5	45.2
必要ない(計)	21.5	21.4	18.2	25.5	8.2	5.7	20.2

	中学校 教員	小学校 教員
回答者数	146	131
さらに充実させる必要がある	32.2	31.3
現状で十分である	56.1	51.9
実施する必要はない	6.2	10.7
わからない	4.1	5.3
無回答	1.4	0.8

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	19.0	19.0	15.6	25.9	20.5	45.5	37.5	25.4
どちらかといえば必要である	30.8	29.1	34.8	35.7	47.2	28.7	28.1	27.8
どちらともいえない	28.1	29.8	28.4	21.0	18.9	16.8	25.0	22.4
どちらかといえば必要ではない	12.5	12.6	12.8	6.3	7.1	4.0	3.1	9.1
必要でない	7.7	7.9	6.4	6.3	1.6	4.0	6.3	10.3
無回答	1.9	1.6	2.1	4.9	4.7	1.0	-	5.1
必要(計)	49.8	48.1	50.4	61.6	67.7	74.2	65.6	53.2
必要ない(計)	20.2	20.5	19.2	12.6	8.7	8.0	9.4	19.4

(イ) 高校が公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	98	35	332
必要である	24.1	16.6	16.4	18.6	27.6	25.7	16.0
どちらかといえば必要である	36.5	35.7	37.3	32.4	27.6	40.0	35.3
どちらともいえない	21.7	30.2	27.5	20.0	27.6	25.7	30.1
どちらかといえば必要ではない	10.8	7.5	8.4	9.7	12.2	-	7.2
必要でない	6.2	4.3	3.2	18.6	4.0	-	6.0
無回答	0.7	5.7	7.2	0.7	1.0	8.6	5.4
必要(計)	60.6	52.3	53.7	51.0	55.2	65.7	51.3
必要ない(計)	17.0	11.8	11.6	28.3	16.2	-	13.2

	中学校 教員	小学校 教員
回答者数	146	131
さらに充実させる必要がある	35.6	31.3
現状で十分である	51.4	52.7
実施する必要はない	7.5	8.4
わからない	4.8	6.9
無回答	0.7	0.7

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	19.6	20.1	13.5	21.0	20.5	19.8	31.3	20.5
どちらかといえば必要である	36.8	36.0	26.2	46.2	44.1	33.7	43.8	35.6
どちらともいえない	28.9	28.3	29.1	18.9	22.0	26.7	18.8	25.1
どちらかといえば必要ではない	8.6	8.8	17.7	4.9	4.7	8.9	3.1	8.5
必要でない	4.3	5.0	10.6	4.2	3.9	9.9	3.1	5.1
無回答	1.8	1.8	2.8	4.9	4.7	1.0	-	5.1
必要(計)	56.4	56.1	39.7	67.2	64.6	53.5	75.1	56.1
必要ない(計)	12.9	13.8	28.3	9.1	8.6	18.8	6.2	13.6

(ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	98	35	332
必要である	47.0	31.4	31.2	53.8	44.9	60.0	28.0
どちらかといえば必要である	34.8	42.6	43.8	37.2	29.6	28.6	44.9
どちらともいえない	13.2	15.4	13.6	3.4	20.4	5.7	15.4
どちらかといえば必要ではない	1.9	2.7	2.7	2.1	3.1	-	2.1
必要でない	2.3	1.8	0.9	2.8	2.0	-	3.0
無回答	0.8	6.1	7.8	0.7	-	5.7	6.6
必要(計)	81.8	74.0	75.0	91.0	74.5	88.6	72.9
必要ない(計)	4.2	4.5	3.6	4.9	5.1	-	5.1

	中学校 教員	小学校 教員
回答者数	146	131
さらに充実させる必要がある	57.5	59.5
現状で十分である	37.6	33.6
実施する必要はない	2.1	1.5
わからない	2.1	4.6
無回答	0.7	0.8

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	32.0	35.4	41.1	35.7	33.1	35.6	62.5	34.7
どちらかといえば必要である	47.3	44.6	44.7	44.1	44.9	43.6	28.1	40.8
どちらともいえない	14.9	14.6	7.8	9.8	15.0	14.9	9.4	16.6
どちらかといえば必要ではない	2.0	1.9	3.5	2.8	0.8	3.0	-	2.4
必要でない	1.5	1.5	0.7	2.8	1.6	2.0	-	0.9
無回答	2.3	2.0	2.1	4.9	4.7	1.0	-	4.5
必要(計)	79.3	80.0	85.8	79.8	78.0	79.2	90.6	75.5
必要ない(計)	3.5	3.4	4.2	5.6	2.4	5.0	-	3.3

(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり、体験学習（インターンシップなど）をしたりする機会を増やす

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	98	35	332
必要である	55.0	46.2	48.7	50.3	47.0	57.2	46.7
どちらかといえば必要である	30.0	37.8	37.8	35.9	30.6	31.4	36.8
どちらともいえない	11.6	8.3	6.0	9.6	18.4	5.7	9.0
どちらかといえば必要ではない	1.1	1.4	0.5	1.4	2.0	-	1.5
必要でない	1.6	0.6	-	2.1	2.0	-	0.9
無回答	0.7	5.7	7.0	0.7	-	5.7	5.1
必要(計)	85.0	84.0	86.5	86.2	77.6	88.6	83.5
必要ない(計)	2.7	2.0	0.5	3.5	4.0	-	2.4

	中学校 教員	小学校 教員
回答者数	146	131
さらに充実させる必要がある	61.6	67.9
現状で十分である	33.5	26.7
実施する必要はない	2.1	0.8
わからない	2.1	3.8
無回答	0.7	0.8

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	44.9	48.4	38.3	46.9	39.4	34.7	56.3	41.4
どちらかといえば必要である	40.9	38.7	41.8	38.5	46.5	42.6	40.6	39.6
どちらともいえない	10.0	9.4	12.1	8.4	7.1	14.9	3.1	13.3
どちらかといえば必要ではない	1.6	0.8	4.3	1.4	1.6	4.0	-	0.6
必要でない	0.9	1.0	0.7	-	0.8	1.0	-	0.3
無回答	1.7	1.7	2.8	4.9	4.7	3.0	-	4.8
必要(計)	85.8	87.1	80.1	85.4	85.9	77.3	96.9	81.0
必要ない(計)	2.5	1.8	5.0	1.4	2.4	5.0	-	0.9

(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	98	35	332
必要である	47.9	42.9	44.1	64.8	49.0	60.0	37.7
どちらかといえば必要である	34.4	39.7	37.7	30.3	42.8	28.6	43.1
どちらともいえない	12.4	9.5	9.9	3.5	5.1	5.7	12.0
どちらかといえば必要ではない	3.0	1.3	1.2	0.7	-	-	0.6
必要でない	1.9	0.9	0.2	-	3.1	-	1.5
無回答	0.4	5.7	6.9	0.7	-	5.7	5.1
必要(計)	82.3	82.6	81.8	95.1	91.8	88.6	80.8
必要ない(計)	4.9	2.2	1.4	0.7	3.1	-	2.1

	中学校 教員	小学校 教員
回答者数	146	131
さらに充実させる必要がある	71.2	74.8
現状で十分である	25.3	19.9
実施する必要はない	2.1	-
わからない	0.7	3.8
無回答	0.7	1.5

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	41.8	45.2	52.5	51.0	49.6	51.5	50.0	38.7
どちらかといえば必要である	44.5	38.6	39.7	35.0	39.4	33.7	43.8	40.5
どちらともいえない	9.8	12.2	4.3	7.7	6.3	10.9	6.3	13.6
どちらかといえば必要ではない	1.2	0.7	1.4	1.4	-	1.0	-	0.9
必要でない	1.0	1.5	-	-	-	2.0	-	1.2
無回答	1.8	1.8	2.1	4.9	4.7	1.0	-	5.1
必要(計)	86.3	83.8	92.2	86.0	89.0	85.2	93.8	79.2
必要ない(計)	2.2	2.2	1.4	1.4	-	3.0	-	2.1

(カ) 学校運営に地域住民の意見をもっと取り入れる

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	98	35	332
必要である	28.0	11.7	8.5	11.7	12.2	20.0	10.9
どちらかといえば必要である	32.4	26.6	27.7	32.4	43.9	37.1	21.4
どちらともいえない	22.9	42.4	41.6	35.2	29.6	34.3	40.1
どちらかといえば必要ではない	9.4	8.9	9.6	11.7	10.2	-	11.1
必要でない	6.6	4.9	5.6	8.3	4.1	2.9	11.1
無回答	0.7	5.5	7.0	0.7	-	5.7	5.4
必要(計)	60.4	38.3	36.2	44.1	56.1	57.1	32.3
必要ない(計)	16.0	13.8	15.2	20.0	14.3	2.9	22.2

	中学校 教員	小学校 教員
回答者数	146	131
さらに充実させる必要がある	17.8	16.8
現状で十分である	64.4	63.4
実施する必要はない	10.3	9.9
わからない	6.8	8.4
無回答	0.7	1.5

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	12.3	10.6	9.9	9.8	12.6	15.8	21.9	10.9
どちらかといえば必要である	29.0	26.7	39.7	35.7	32.3	30.7	34.4	21.1
どちらともいえない	41.1	42.0	28.4	35.7	35.4	32.7	28.1	43.2
どちらかといえば必要ではない	10.6	12.3	14.9	9.1	7.9	12.9	12.5	14.2
必要でない	5.2	6.4	5.0	4.2	6.3	5.9	3.1	6.0
無回答	1.8	2.0	2.1	5.6	5.5	2.0	-	4.5
必要(計)	41.3	37.3	49.6	45.5	44.9	46.5	56.3	32.0
必要ない(計)	15.8	18.7	19.9	13.3	14.2	18.8	15.6	20.2

(キ) 高校生が、郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	98	35	332
必要である	37.7	24.7	23.5	41.4	41.8	42.9	31.3
どちらかといえば必要である	37.7	44.8	45.7	44.1	46.9	42.9	44.0
どちらともいえない	17.9	20.3	19.3	9.0	7.2	5.7	16.3
どちらかといえば必要ではない	3.1	2.7	2.7	2.7	3.1	2.8	2.1
必要でない	2.7	1.8	1.5	2.1	1.0	-	1.2
無回答	0.9	5.7	7.3	0.7	-	5.7	5.1
必要(計)	75.4	69.5	69.2	85.5	88.7	85.8	75.3
必要ない(計)	5.8	4.5	4.2	4.8	4.1	2.8	3.3

	中学校 教員	小学校 教員
回答者数	146	131
さらに充実させる必要がある	46.6	44.3
現状で十分である	45.9	48.8
実施する必要はない	4.1	0.8
わからない	2.0	4.6
無回答	1.4	1.5

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	24.0	25.7	32.6	17.5	19.7	37.6	46.9	31.1
どちらかといえば必要である	45.2	43.0	44.0	51.0	48.8	43.6	34.4	43.5
どちらともいえない	24.2	24.8	19.1	22.4	22.0	14.9	18.8	18.7
どちらかといえば必要ではない	2.7	2.8	-	1.4	1.6	1.0	-	1.2
必要でない	1.9	1.9	2.1	2.8	1.6	1.0	-	0.6
無回答	1.9	1.7	2.1	4.9	6.3	2.0	-	4.8
必要(計)	69.2	68.7	76.6	68.5	68.5	81.2	81.3	74.6
必要ない(計)	4.6	4.7	2.1	4.2	3.2	2.0	-	1.8

(ア)～(キ)のまとめ
 高校と地域の連携 「必要(計)」の割合

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	995	976	952	145	98	35	332
(ア) 高校の施設・設備を、地域住民が活用できるようにする	53.4	40.4	43.9	51.7	72.4	71.5	45.2
(イ) 高校が公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する	60.6	52.3	53.7	51.0	55.2	65.7	51.3
(ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす	81.8	74.0	75.0	91.0	74.5	88.6	72.9
(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり、体験学習(インターンシップなど)をしたりする機会を増やす	85.0	84.0	86.5	86.2	77.6	88.6	83.5
(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く	82.3	82.6	81.8	95.1	91.8	88.6	80.8
(カ) 学校運営に地域住民の意見をもっと取り入れる	60.4	38.3	36.2	44.1	56.1	57.1	32.3
(キ) 高校生が、郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす	75.4	69.5	69.2	85.5	88.7	85.8	75.3

高校と地域の連携 「さらに充実させる必要がある」の割合 (%)

	中学校 教員	小学校 教員
回答者数	146	131
(ア) 高校の施設・設備を、地域住民が活用できるようにする	32.2	31.3
(イ) 高校が公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する	35.6	31.3
(ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす	57.5	59.5
(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり、体験学習(インターンシップなど)をしたりする機会を増やす	61.6	67.9
(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く	71.2	74.8
(カ) 学校運営に地域住民の意見をもっと取り入れる	17.8	16.8
(キ) 高校生が、郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす	46.6	44.3

(参考 令和元年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
(ア) 高校の施設・設備を、地域住民が活用できるようにする	49.8	48.1	50.4	61.6	67.7	74.2	65.6	53.2
(イ) 高校が公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する	56.4	56.1	39.7	67.2	64.6	53.5	75.1	56.1
(ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす	79.3	80.0	85.8	79.8	78.0	79.2	90.6	75.5
(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり体験学習(インターンシップなど)をしたりする機会を増やす	85.8	87.1	80.1	85.4	85.9	77.3	96.9	81.0
(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く	86.3	83.8	92.2	86.0	89.0	85.2	93.8	79.2
(カ) 学校運営に地域住民の意見をもっと取り入れる	41.3	37.3	49.6	45.5	44.9	46.5	56.3	32.0
(キ) 高校生が、郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす	69.2	68.7	76.6	68.5	68.5	81.2	81.3	74.6

高校生、高校生保護者、中学生保護者、市町村関係者、企業で「高校生が、会社や工場などで実習したり、体験学習(インターンシップなど)をしたりする機会を増やす」が最も高い割合

高校と地域のかかわり方について尋ねたところ、「必要(計)」の割合が最も高かったのは、高校生、高校生保護者、中学生保護者、企業で「(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり、体験学習(インターンシップなど)をしたりする機会を増やす」、高校教員、大学・短大教員では「(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く」であった。また、市町村関係者では「(ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす」「(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり、体験学習(インターンシップなど)をしたりする機会を増やす」「(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く」が同じ割合で最も高かった。

また、中学校教員、小学校教員で「さらに充実させる必要がある」の割合が最も高かったのは、「(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く」であった。

《 魅力ある高校づくり 》

26 通っている高校の魅力

問26 あなた(お子さん)の通っている高校の魅力は何ですか。(〇は3つまで) (複数回答、%)

	高校生	高校生 保護者
回答者数	995	976
大学等への進学に向けた授業、講習	36.3	42.9
就職に向けた授業、講習	17.9	14.9
資格取得や検定合格のための講習等	27.2	29.0
設置されている学科・コース	25.7	24.8
学校行事(文化祭、体育祭等)	36.5	15.2
部活動	24.1	14.4
校風やイメージ	17.2	26.2
通学のしやすさ	21.5	34.0
学校の施設・設備	18.8	11.8
制服	5.9	2.8
地域や企業、大学等との連携	4.2	7.7
その他	1.3	2.7

図表35 通っている高校の魅力【在学学科別】

(複数回答、%)

(n)	た大学等への進学に向けた授業、講習	習就職に向けた授業、講習	た資格取得や検定合格のための講習等	コース設置されている学科・	育学校行事(文化祭、体育祭等)	部活動	校風やイメージ	通学のしやすさ	学校の施設・設備	制服	の地域や企業、大学等との連携	その他
【高校生】												
普通科在学 (562)	53.7	6.4	11.0	11.4	40.0	23.7	22.4	28.6	20.5	5.3	4.4	1.6
職業に関する学科在学 (295)	5.1	38.6	62.7	44.4	31.9	19.7	7.1	9.8	20.7	6.8	3.7	0.7
その他の専門学科在学 (52)	40.4	7.7	9.6	48.1	36.5	42.3	25.0	7.7	5.8	3.8	1.9	-
総合学科在学 (76)	27.6	30.3	23.7	46.1	31.6	35.5	13.2	21.1	9.2	7.9	6.6	2.6
【高校生保護者】												
普通科在学 (571)	63.2	4.7	10.7	10.9	17.7	12.4	33.3	43.4	12.6	2.3	7.2	2.5
職業に関する学科在学 (281)	4.6	36.3	72.2	43.4	10.3	13.9	12.1	17.4	13.2	3.6	9.6	2.5
その他の専門学科在学 (48)	47.9	2.1	12.5	52.1	10.4	22.9	29.2	27.1	2.1	2.1	6.3	6.3
総合学科在学 (68)	26.5	20.6	19.1	47.1	17.6	27.9	25.0	30.9	5.9	4.4	4.4	1.5

図表 3 6 通っている高校の魅力【学校の規模別、子どもの学校の規模別】

(複数回答、%)

	(n)	た大学等への進学に向けた授業、講習	就職に向けた授業、講習	資格取得や検定合格のための講習等	設置されている学科・コース	学校行事（文化祭、体育祭等）	部活動	校風やイメージ	通学のしやすさ	学校の施設・設備	制服	の地域や企業、大学等と	その他
【高校生】													
1学級	(35)	22.9	17.1	40.0	22.9	45.7	25.7	11.4	37.1	-	5.7	11.4	2.9
2学級	(49)	12.2	24.5	24.5	16.3	38.8	18.4	16.3	49.0	8.2	14.3	6.1	2.0
3学級	(97)	11.3	36.1	62.9	37.1	22.7	14.4	8.2	13.4	14.4	8.2	4.1	-
4学級	(60)	21.7	40.0	35.0	46.7	28.3	25.0	11.7	11.7	10.0	1.7	5.0	1.7
5学級	(228)	37.7	14.5	20.6	29.4	32.0	24.1	13.2	28.1	11.4	9.2	3.9	2.2
6学級以上	(515)	45.8	12.6	22.1	21.0	41.2	26.6	22.1	17.9	26.4	3.3	3.5	1.0
【高校生保護者】													
1学級	(44)	20.5	20.5	50.0	20.5	13.6	18.2	9.1	52.3	9.1	2.3	13.6	2.3
2学級	(108)	22.2	16.7	32.4	26.9	13.9	10.2	23.1	30.6	13.0	2.8	9.3	4.6
3学級	(85)	9.4	30.6	61.2	30.6	8.2	20.0	12.9	31.8	7.1	4.7	1.2	3.5
4学級	(59)	28.8	33.9	44.1	39.0	20.3	15.3	23.7	11.9	8.5	3.4	6.8	3.4
5学級	(222)	46.8	9.9	22.1	26.6	12.6	14.0	25.2	41.9	5.9	5.0	5.9	2.7
6学級以上	(438)	56.6	10.7	21.7	20.8	17.8	14.6	32.4	32.6	16.0	1.4	9.1	1.8

高校生で「学校行事（文化祭、体育祭等）」が最も高い割合

通っている高校の魅力について尋ねたところ、高校生は「学校行事（文化祭、体育祭等）」の割合が36.5%で最も高く、「大学等への進学に向けた授業、講習」が2番目に高かった。高校生保護者では「大学等への進学に向けた授業、講習」が42.9%で最も高く、「通学のしやすさ」が2番目に高かった。

在学学科別にみると、普通科では「大学等への進学に向けた授業、講習」が、職業に関する学科では「資格取得や検定合格のための講習等」が、その他の専門学科と総合学科では「設置されている学科・コース」の割合が、生徒・保護者ともに最も高い割合となった。（図表35参照）

学校の規模別にみると、高校生の1学級で「学校行事（文化祭、体育祭等）」が、高校生保護者の5学級と6学級以上で「大学等への進学に向けた授業、講習」が最も高い割合となった。（図表36参照）

27 さらに魅力ある高校になるために重視すること

問27 あなたは、本県の県立高校がさらに魅力ある学校になるためにはどのような教育活動を重視すればよいと思いますか。(〇は3つまで) (複数回答、%)

	高校生	高校生保護者	高校教員	中学校教員
回答者数	995	976	145	146
高度な研究等を行う大学への進学に対応した教育	25.4	19.2	19.3	26.0
進学や就職の幅広い進路志望に対応した教育	51.7	58.2	46.9	64.4
就業体験等による勤労観や職業観の育成	22.5	27.7	35.9	31.5
高度な資格取得や先進的な技能の習得に向けた教育	19.1	16.9	10.3	13.0
自分の興味・関心や進路志望に応じた多様な選択科目の設定	41.2	40.8	24.8	40.4
I C Tの活用による多様な学びや教育活動の充実	19.0	23.0	19.3	15.1
グローバル社会で活躍できる語学力やコミュニケーション能力の育成	22.6	33.8	24.8	39.0
地域との連携・協力のもと行う探究活動の充実	10.1	7.3	36.6	19.9
情報化社会に対応できる人材の育成	13.0	21.9	12.4	13.0
特別支援教育の充実(特別な支援を必要とする生徒等への対応)	4.2	8.3	26.9	18.5
ニーズに応じた部活動の設置	11.8	6.0	10.3	3.4
その他	1.8	0.8	5.5	2.1

図表37 さらに魅力ある高校になるために重視すること【在学学科別】

(複数回答、%)

	対高度な研究等を行う大学への進学に	進学や就職の幅広い進路志望に対応した教育	就業体験等による勤労観や職業観の育成	高度な資格取得や先進的な技能の習得に向けた教育	自分の興味・関心や進路志望に応じた多様な選択科目の設定	I C Tの活用による多様な学びや教育活動の充実	グローバル社会で活躍できる語学力	地域との連携・協力のもと行う探究活動の充実	情報化社会に対応できる人材の育成	必要とする生徒等への対応(特別な支援を)	ニーズに応じた部活動の設置	その他
【高校生】												
普通科在学 (562)	32.0	51.4	18.7	13.5	42.2	18.9	24.6	10.5	13.5	3.6	11.9	1.8
職業に関する学科在学 (295)	15.3	54.2	28.5	28.1	38.3	19.3	21.4	7.8	13.9	6.1	10.8	2.0
その他の専門学科在学 (52)	28.8	42.3	17.3	17.3	48.1	17.3	17.3	11.5	3.8	-	17.3	-
総合学科在学 (76)	14.5	52.6	32.9	25.0	42.1	22.4	15.8	14.5	13.2	5.3	9.2	2.6
【高校生保護者】												
普通科在学 (571)	25.6	54.3	21.9	12.1	38.7	25.2	37.5	7.4	22.6	8.8	5.1	1.2
職業に関する学科在学 (281)	8.5	63.7	40.2	28.1	42.3	19.2	26.0	7.5	21.0	6.8	7.1	0.4
その他の専門学科在学 (48)	18.8	58.3	27.1	12.5	43.8	18.8	45.8	6.3	18.8	10.4	8.3	-
総合学科在学 (68)	5.9	70.6	25.0	14.7	51.5	22.1	29.4	7.4	25.0	10.3	8.8	-

図表 3 8 さらに魅力ある高校になるために重視すること【学校の規模別、子どもの学校の規模別】

(複数回答、%)

	(n)	高度な研究等を行う大学への進学に対応した教育	進学や就職の幅広い進路志望に対応した教育	就業体験等による勤労観や職業観の育成	高度な資格所得や先進的な技能の習得に向けた教育	自分の興味・関心や進路志望に応じた多様な選択科目の設定	ICTの活用による多様な学びや教育活動の充実	グローバル社会で活躍できる語学力やコミュニケーション能力の育成	地域との連携・協力のもと行う探究活動の充実	情報化社会に対応できる人材の育成	特別支援教育の充実(特別な支援を必要とする生徒等への対応)	ニーズに応じた部活動の設置	その他
【高校生】													
1学級	(35)	14.3	60.0	17.1	22.9	54.3	17.1	25.7	11.4	11.4	8.6	8.6	-
2学級	(49)	20.4	42.9	16.3	32.7	40.8	12.2	14.3	8.2	14.3	6.1	12.2	2.0
3学級	(97)	18.6	57.7	32.0	22.7	36.1	16.5	20.6	14.4	16.5	4.1	14.4	3.1
4学級	(60)	11.7	46.7	28.3	25.0	41.7	30.0	16.7	11.7	11.7	1.7	10.0	3.3
5学級	(228)	25.4	48.7	18.0	17.5	39.0	23.7	20.2	8.3	11.8	4.8	12.7	3.1
6学級以上	(515)	30.1	52.8	23.3	16.9	42.3	17.3	25.4	9.7	13.2	3.9	11.3	1.0
【高校生保護者】													
1学級	(44)	11.4	65.9	31.8	38.6	31.8	25.0	25.0	9.1	6.8	13.6	11.4	-
2学級	(108)	12.0	61.1	31.5	16.7	41.7	15.7	25.0	12.0	22.2	9.3	5.6	1.9
3学級	(85)	7.1	65.9	36.5	25.9	29.4	24.7	24.7	12.9	20.0	7.1	4.7	1.2
4学級	(59)	5.1	66.1	45.8	23.7	52.5	22.0	22.0	6.8	16.9	8.5	8.5	1.7
5学級	(222)	18.9	62.2	24.8	15.3	38.3	23.4	34.2	5.9	27.0	9.0	6.8	1.4
6学級以上	(438)	26.3	52.3	24.2	12.8	43.8	24.0	39.7	5.9	22.1	7.1	5.5	0.2

すべての対象者で「進学や就職の幅広い進路志望に対応した教育」が最も高い割合

さらに魅力ある高校になるために重視することについて尋ねたところ、すべての対象者で「進学や就職の幅広い進路志望に対応した教育」が最も高い割合であった。高校生、高校生保護者、中学校教員では「自分の興味・関心や進路志望に応じた多様な選択科目の設定」が、高校教員では「地域との連携・協力のもと行う探究活動の充実」が2番目に高かった。

在学学科別にみると、高校生では普通科、職業に関する学科、総合学科で「進学や就職の幅広い進路志望に対応した教育」が、その他の専門学科で「自分の興味・関心や進路志望に応じた多様な選択科目の設定」が最も高い割合となり、高校生保護者ではすべての学科で「進学や就職の幅広い進路志望に対応した教育」が最も高い割合となった。(図表 3 7 参照)

学校の規模別にみると、「進学や就職の幅広い進路志望に対応した教育」が、すべての規模で高校生・高校生保護者ともに最も高い割合となった。(図表 3 8 参照)

III

個別調査の概要

1 調査の目的

これまでの高等学校教育改革で取り組んできた多様な制度等に関する生徒の理解度、関連情報の入手方法、入学後の満足度等について、生徒を対象としたアンケート調査を実施し、今後の高等学校教育の在り方について検討するための資料を得ることを目的とする。

2 調査方法

(1) 調査対象者及び標本数

以下の制度等を導入している高等学校の3学年（3年次）生徒。

① 総合学科	160
② 全日制普通科単位制	160
③ 併設型中高一貫教育	80
④ 定時制3部制	149
⑤ 定時制3部制（総合学科）	45
⑥ 総合選択制	200
⑦ 普通科と職業に関する専門学科併置校	435

(2) 調査対象者の抽出

- ① 調査対象となる総合学科設置校3年次（青森中央高等学校、木造高等学校、七戸高等学校、大湊高等学校）の抽出は、各校1学級分の生徒数を学校に一任。
- ② 調査対象となる全日制普通科単位制導入校3年次（青森東高等学校、弘前南高等学校、八戸北高等学校、田名部高等学校）の抽出は、各校1学級分の生徒数を学校に一任。
- ③ 調査対象となる併設型中高一貫教育校3年生（三本木高等学校）は、附属中学校出身者。
- ④ 調査対象となる定時制3部制導入校3年次（北斗高等学校、八戸中央高等学校）の生徒全員。
- ⑤ 調査対象となる定時制3部制（総合学科）導入校3年次（尾上総合高等学校）の生徒全員。
- ⑥ 調査対象となる総合選択制導入校3年生（弘前実業高等学校）の抽出は、各学科1学級分の生徒数を学校に一任。
- ⑦ 調査対象となる普通科と職業に関する専門学科併置校3年生（黒石高等学校、五所川原工科高等学校、三本木農業恵拓高等学校）の生徒全員。

(3) 調査票の配布及び回収方法

各学校を通じて、調査票を配布し、回収。

(4) 調査期間

令和5年7月3日（月）～7月14日（金）

(5) 調査分析委託機関

株式会社東京商工リサーチ青森支店

3 調査の内容

(注) 質問番号は使用した調査票の質問番号

質問内容	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定時制 3部制	定時制 3部制 (総合学科)	総合選択制	普通科と職 業に関する 専門学科併 置校
1 高校卒業後の 進路	問3	問2	問1	問4	問4	問2	問3
2 理解度	問4	問3	問2	問5	問5、6	問3	問4
3 情報入手先	問5	問4	問3	問7	問7	問4	問5
4 高校を選んだ 理由	問6	問5	問4	問8	問8	問5	問6
5 科目を選択す る基準	問7	問6		問9	問9	問6	
6 満足な点	問8	問7	問5	問10	問10	問7	問7
7 不満な点	問9	問8	問6	問11	問11	問8	問8

4 回収結果

	標本数	有効回収数	有効回収率(%)
総合学科	160	154	96.3
全日制普通科単位制	160	159	99.4
併設型中高一貫教育	80	73	91.3
定時制3部制	149	121	81.2
定時制3部制(総合学科)	45	39	86.7
総合選択制	200	198	99.0
普通科と職業に関する 専門学科併置校	435	429	98.6
計	1,229	1,173	95.4

IV

個別調査の結果

報告書の見方

- (1) 比率は全て、各設問の無回答を含む集計回答者総数に対する百分比 (%) を表している。1人の回答者に複数の回答を求める設問では、百分比 (%) の合計は、100.0%に一致しない場合がある。
- (2) 百分比 (%) は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。このため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

◀ 個別調査結果 ▶

1 高校卒業後の進路

問1 あなたは、高校卒業後の進路についてどのように考えていますか。

(%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)	総合選択制	普通科と職業 に関する専門 学科併置校
回答者数	154	159	73	121	39	198	429
大学や短大に進学したい	57.8	90.6	95.9	21.5	28.2	37.4	32.2
専修学校、各種学校に進学したい	14.9	6.9	2.7	28.1	17.9	39.4	26.3
就職したい	22.7	2.5	-	42.9	35.9	20.7	35.0
その他	0.6	-	-	1.7	2.6	1.5	4.4
まだ考えていない	2.0	-	-	4.1	15.4	0.5	1.9
無回答	2.0	-	1.4	1.7	-	0.5	0.2

(参考 令和元年調査)

(%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	173	119	74	125	50	233
大学や短大に進学したい	37.0	89.1	97.3	14.4	12.0	35.2
専修学校、各種学校に進学したい	23.1	5.0	1.4	24.8	28.0	36.9
就職したい	35.3	5.0	1.4	48.8	54.0	25.3
その他	4.0	0.8	-	-	4.0	1.7
まだ考えていない	-	-	-	12.0	2.0	0.4
無回答	0.6	-	-	-	-	0.4

総合学科、全日制普通科単位制、併設型中高一貫教育で「大学や短大に進学したい」、定時制3部制、普通科と職業に関する専門学科併置校で「就職したい」、総合選択制で「専修学校、各種学校に進学したい」が最も高い割合

高校卒業後の進路について尋ねたところ、総合学科、全日制普通科単位制、併設型中高一貫教育で「大学や短大に進学したい」が、定時制3部制、普通科と職業に関する専門学科併置校で「就職したい」が、総合選択制で「専修学校、各種学校に進学したい」の割合が最も高かった。

令和元年調査と比較すると、総合学科の「大学や短大に進学したい」の割合が37.0%から57.8%と20.8ポイント増加した。

2 理解度

問2 あなたが、高校（学校）を選択したとき、どのような制度等の学校であるか、どの程度理解していましたか。 (％)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)	総合選択制	普通科と職業 に関する専門 学科併置校
回答者数	154	159	73	121	39	198	429
十分理解していた	22.1	23.9	27.4	20.6	20.5	16.7	20.3
やや理解していた	54.5	46.5	52.0	58.7	56.4	44.4	50.4
あまり理解していなかった	16.9	20.8	17.8	15.7	15.4	28.8	20.7
全く理解していなかった	3.9	8.8	1.4	2.5	5.1	9.6	8.4
無回答	2.6	-	1.4	2.5	2.6	0.5	0.2
理解していた(計)	76.6	70.4	79.4	79.3	76.9	61.1	70.7
理解していなかった(計)	20.8	29.6	19.2	18.2	20.5	38.4	29.1

(参考 令和元年調査)

(％)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	173	119	74	125	50	233
十分理解していた	23.7	12.6	39.2	19.2	22.0	20.6
やや理解していた	55.5	39.5	43.2	54.4	48.0	50.2
あまり理解していなかった	17.9	28.6	10.8	20.0	16.0	22.3
全く理解していなかった	2.3	19.3	6.8	4.8	12.0	6.0
無回答	0.6	-	-	1.6	2.0	0.9
理解していた(計)	79.2	52.1	82.4	73.6	70.0	70.8
理解していなかった(計)	20.2	47.9	17.6	24.8	28.0	28.3

問2-1 あなたが、高校を選択したとき、総合学科の高校がどのような学校であるか、どの程度理解していましたか。(定時制3部制 総合学科のみ) (参考 令和元年調査)

	定時制3部制 (総合学科)	(参考 令和元年調査)
回答者数	39	50
十分理解していた	18.0	20.0
やや理解していた	48.7	46.0
あまり理解していなかった	28.2	18.0
全く理解していなかった	5.1	12.0
無回答	-	4.0
理解していた(計)	66.7	66.0
理解していなかった(計)	33.3	30.0

すべての対象者で「理解していた(計)」が6割以上

進学する高校の制度等の理解度について尋ねたところ、すべての対象者で「理解していた(計)」の割合が6割以上となった。

令和元年調査と比較すると、全日制普通科単位制の「理解していた(計)」の割合が52.1%から70.4%と18.3ポイント増加した。

3 情報入手先

問3 あなたが、高校（学校）を選択する際、学校の制度等についての情報をどこから得ましたか。
（あてはまるものすべてに○）

（複数回答、％）

	総合学科	全日制普通科 単 位 制	併設型中高 一貫教育	定時制3部制 （普通科）	定時制3部制 （総合学科）	総合選択制	普通科と職業 に関する専門 学科併置校
回答者数	154	159	73	121	39	198	429
中学校の進路学習（高校調べなど）	49.4	48.4		17.4	17.9	32.3	36.6
中学校（小学校）の先生	31.8	42.1	35.6	52.9	76.9	29.3	28.9
学校説明会・見学会、体験入学など	56.5	57.9	28.8	30.6	35.9	19.7	55.7
高校（学校）のパンフレットや教育委員会の高校（学校）紹介資料	29.2	28.9	23.3	13.2	20.5	21.7	31.9
高校（学校）のホームページ	18.8	18.2	4.1	19.8	17.9	23.7	18.6
保護者	16.2	23.3	52.1	40.5	38.5	17.2	20.7
友人	5.8	5.0	12.3	8.3	7.7	12.1	11.0
塾の先生	2.6	7.5	16.4	2.5	-	-	1.9
新聞・雑誌など	0.6	-	-	-	-	-	1.6
その他	3.9	1.9	11.0	5.0	2.6	9.1	3.0

（参考 令和元年調査）

（複数回答、％）

	総合学科	全日制普通科 単 位 制	併設型中高 一貫教育	定時制3部制 （普通科）	定時制3部制 （総合学科）	総合選択制
回答者数	173	119	74	125	50	233
中学校の進路学習（高校調べなど）	46.2	38.7		23.2	14.0	36.9
中学校（小学校）の先生	39.9	26.9	40.5	51.2	56.0	35.2
学校説明会・見学会、体験入学など	60.7	37.0	40.5	29.6	16.0	55.4
高校（学校）のパンフレットや教育委員会の高校（学校）紹介資料	30.6	26.9	27.0	12.0	12.0	27.9
高校（学校）のホームページ	16.2	11.8	9.5	16.8	22.0	16.3
保護者	12.1	7.6	59.5	32.0	24.0	21.0
友人	5.8	5.0	16.2	10.4	6.0	16.3
塾の先生	2.3	3.4	10.8	-	2.0	5.6
新聞・雑誌など	-	0.8	-	0.8	-	1.3
その他	3.5	24.4	4.1	10.4	6.0	9.9
無回答	0.6	2.5	-	3.2	2.0	1.3

情報の入手先は対象者で違いがある

進学する高校を選択する際の情報の入手先について尋ねたところ、総合学科、全日制普通科単位制、普通科と職業に関する専門学科併置校では「学校説明会・見学会、体験入学など」が、併設型中高一貫教育では「保護者」が、定時制3部制では「中学校（小学校）の先生」が、総合選択制では「中学校の進路学習（高校調べなど）」が最も高い割合となった。

4 高校を選んだ理由

問4 あなたが、高校を選んだ理由をお答えください。【総合学科】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合学科
回答者数	154
自分の能力・適性に合っているから	26.0
就職に有利だから	7.1
大学等の進学に有利だから	15.6
通学に便利な場所にあるから	19.5
高校の校風やイメージが自分に合っているから	3.9
制服が魅力的だから	7.8
学習内容が自分に合っているから	14.9
学校行事が魅力的だから	10.4
希望していた部活動があったから	12.3
多くの選択科目の中から、自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	35.7
自分の進路についてじっくり考えることができるから	21.4
普通科目と専門科目をバランス良く学べるから	6.5
自分の学びたい学習ができるから	16.9
その他	3.2

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	総合学科
回答者数	173
自分の学力に合っているから	37.0
自分の個性を伸ばすことができるから	13.9
自分のやりたい勉強ができるから	29.5
大学等の進学に有利だから	9.8
就職に有利だから	10.4
親や先生がすすめたから	6.4
友人が希望していたから	1.7
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	27.7
自分の進路についてじっくり考えることができるから	19.1
自分が住んでいる地域にあるから	16.8
その他	2.3
無回答	1.2

問4 あなたが、高校を選んだ理由をお答えください。【全日制普通科単位制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	全日制普通科 単 位 制
回答者数	159
自分の能力・適性に合っているから	33.3
就職に有利だから	8.2
大学等の進学に有利だから	54.7
通学に便利な場所にあるから	27.0
高校の校風やイメージが自分に合っているから	16.4
制服が魅力的だから	1.9
学習内容が自分に合っているから	5.0
学校行事が魅力的だから	7.5
希望していた部活動があったから	11.9
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	4.4
幅広い進路に対応した学習ができるから	13.2
自分のペースで学習することができるから	3.1
少人数指導等のきめ細かな指導を受けられるから	-
その他	4.4

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	全日制普通科 単 位 制
回答者数	119
自分の学力に合っているから	52.9
自分の個性を伸ばすことができるから	5.0
自分のやりたい勉強ができるから	7.6
大学等の進学に有利だから	35.3
就職に有利だから	2.5
親や先生がすすめたから	14.3
友人が希望していたから	2.5
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	5.9
自分の進路についてじっくり考えることができるから	8.4
自分が住んでいる地域にあるから	27.7
その他	8.4
無回答	2.5

問4 あなたが、学校を選んだ理由をお答えください。【併設型中高一貫教育】
 (あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	併設型中高 一貫教育
回答者数	73
自分の能力・適性に合っているから	27.4
就職に有利だから	2.7
大学等の進学に有利だから	31.5
通学に便利な場所にあるから	17.8
高校の校風やイメージが自分に合っているから	2.7
制服が魅力的だから	1.4
学習内容が自分に合っているから	11.0
学校行事が魅力的だから	5.5
希望していた部活動があったから	6.8
高校入学時に学力検査がないから	39.7
6年間ゆとりを持って学習できるから	17.8
中学生と高校生の交流があるから	6.8
自分の望む人間関係を構築できるから	6.8
その他	15.1

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	併設型中高 一貫教育
回答者数	74
自分の学力に合っているから	18.9
自分の個性を伸ばすことができるから	23.0
自分のやりたい勉強ができるから	13.5
大学等の進学に有利だから	39.2
就職に有利だから	1.4
親や先生がすすめたから	41.9
友人が希望していたから	5.4
高校入学時に学力検査がなく、中学校から高校への学習が系統的にできるから	45.9
自分の進路についてじっくり考えることができるから	9.5
自分が住んでいる地域にあるから	25.7
その他	25.7
無回答	-

問4 あなたが、高校を選んだ理由をお答えください。【定時制3部制】
 (あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)
回答者数	121	39
自分の能力・適性に合っているから	52.9	56.4
就職に有利だから	1.7	2.6
大学等の進学に有利だから	0.8	2.6
通学に便利な場所にあるから	5.8	5.1
高校の校風やイメージが自分に合っているから	28.9	20.5
制服が魅力的だから	1.7	-
学習内容が自分に合っているから	19.0	23.1
学校行事が魅力的だから	5.8	7.7
希望していた部活動があったから	4.1	5.1
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	13.2	46.2
3年間での卒業も可能だから	17.4	23.1
自分の進路についてじっくり考えることができるから	16.5	17.9
仕事やアルバイトをしながら通学できるから	40.5	23.1
自分に合った時間に学べるから	41.3	28.2
その他	2.5	7.7

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)
回答者数	125	50
自分の学力に合っているから	44.8	34.0
自分の個性を伸ばすことができるから	11.2	12.0
自分のやりたい勉強ができるから	4.0	14.0
大学等の進学に有利だから	0.8	-
就職に有利だから	5.6	2.0
親や先生がすすめたから	33.6	42.0
友人が希望していたから	0.8	-
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	10.4	30.0
3年間での卒業も可能だから	19.2	14.0
自分の進路についてじっくり考えることができるから	13.6	12.0
仕事やアルバイトをしながら通学できるから	36.8	14.0
自分が住んでいる地域にあるから	9.6	8.0
その他	20.0	12.0
無回答	1.6	2.0

問4 あなたが、高校を選んだ理由をお答えください。【総合選択制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	198
自分の能力・適性に合っているから	38.9
就職に有利だから	15.7
大学等の進学に有利だから	10.6
通学に便利な場所にあるから	10.1
高校の校風やイメージが自分に合っているから	13.6
制服が魅力的だから	0.5
学習内容が自分に合っているから	16.2
学校行事が魅力的だから	32.3
希望していた部活動があったから	26.3
自分が在籍している学科以外の科目を選択できるから	7.6
自分の進路についてじっくり考えることができるから	9.6
その他	3.0

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	233
自分の学力に合っているから	36.1
自分の個性を伸ばすことができるから	29.2
自分のやりたい勉強ができるから	47.6
大学等の進学に有利だから	7.7
就職に有利だから	10.3
親や先生がすすめたから	15.0
友人が希望していたから	3.0
自分が在籍している学科以外の科目を選択できるから	5.2
自分の進路についてじっくり考えることができるから	8.6
自分が住んでいる地域にあるから	16.3
部活動が盛んだから	33.5
その他	3.9
無回答	0.4

問4 あなたが、高校を選んだ理由をお答えください。【普通科と職業に関する専門学科併置校】
 (あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	普通科と職業に関する専門学科併置校
回答者数	429
自分の能力・適性に合っているから	39.2
就職に有利だから	27.3
大学等の進学に有利だから	10.3
通学に便利な場所にあるから	21.0
高校の校風やイメージが自分に合っているから	10.3
制服が魅力的だから	8.6
学習内容が自分に合っているから	21.7
学校行事が魅力的だから	17.2
希望していた部活動があったから	14.7
自分が在籍している学科以外の科目を学べるから	3.5
様々な目標を持った友人や専門性を持った教員と交流できるから	7.0
その他	6.8

5 科目を選択する基準

問5 あなたは、高校に入学した後、どのような基準で自分の選択する科目を決めていますか。
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合学科	全日制普通科 単位制	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	154	159	121	39	198
自分の興味・関心のある科目	49.4	44.7	64.5	69.2	65.7
将来の生き方や希望する職業などに役立つような科目	46.8	52.8	28.1	46.2	47.5
資格取得に必要な科目	9.7	10.7	24.0	12.8	18.7
志望大学の受験に必要な科目	24.0	60.4	4.1	7.7	5.1
自分の得意教科など、自分の良さを伸ばすための科目	18.2	18.9	26.4	28.2	14.6
単位を取得しやすいような科目	2.6	1.9	17.4	38.5	2.0
友人が選択している科目	3.9	2.5	16.5	15.4	5.1
特に基準はない	7.8	5.0	19.0	7.7	3.5
その他	1.3	-	-	-	0.5

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	総合学科	全日制普通科 単位制	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	173	119	125	50	233
自分の興味・関心のある科目	54.3	69.7	60.8	66.0	72.5
将来の生き方や希望する職業などに役立つような科目	53.8	26.9	22.4	52.0	46.8
資格取得に必要な科目	13.3	0.8	17.6	12.0	27.5
志望大学の受験に必要な科目	16.2	42.0	4.0	10.0	7.7
自分の得意教科など、自分の良さを伸ばすための科目	22.0	32.8	31.2	28.0	19.7
単位を取得しやすいような科目	3.5	3.4	23.2	14.0	7.7
友人が選択している科目	2.9	2.5	12.0	-	6.4
特に基準はない	5.2	6.7	16.8	8.0	6.9
その他	0.6	1.7	1.6	-	0.9
無回答	0.6	2.5	0.8	2.0	0.4

■ 全日制普通科単位制以外で「自分の興味・関心のある科目」が最も高い割合

どのような基準で科目を選択するか尋ねたところ、全日制普通科単位制では「志望大学の受験に必要な科目」が、その他の対象者では「自分の興味・関心のある科目」が最も高い割合となった。

また、すべての対象者で「将来の生き方や希望する職業などに役立つような科目」が2番目に高かった。

令和元年調査と比較すると、全日制普通科単位制の「将来の生き方や希望する職業などに役立つような科目」の割合が26.9%から52.8%と25.9ポイント増加した。

6 満足な点

問6 あなたは、通っている高校のどのような点に満足していますか。【総合学科】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合学科
回答者数	154
幅広い分野の選択科目の中から、自分の興味・関心や進路志望等に応じて自由に科目を選択できる	76.6
職業に対する理解を深め、自己の在り方や生き方について考える活動をとおして、将来の目的を持つことができる	17.5
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	3.9
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	9.7
単位制なので、自分のペースで学習することができる	2.6
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	10.4
就職に向けた進路指導が充実している	9.7
特に満足している点はない	10.4
その他	-

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	総合学科
回答者数	173
自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	50.9
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	31.8
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	32.9
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	5.8
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	16.8
単位制なので、自分のペースで学習することができる	2.3
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	12.1
就職に向けた進路指導が充実している	9.2
施設・設備が充実している	3.5
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	6.4
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	12.1
特に満足している点はない	10.4
その他	-
無回答	1.2

問6 あなたは、通っている高校のどのような点に満足していますか。【全日制普通科単位制】

(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	全日制普通科 単位制
回答者数	159
自分の興味・関心や進路志望等に応じて自由に科目を選択できる	45.9
大学等への進学から就職まで幅広い進路志望に応じた学習指導が行われている	38.4
自分の興味・関心や習熟度などに応じた少人数指導が行われている	3.8
大学や高等専門学校などの学校外における学修の単位認定が受けられる	5.0
学年による教育課程の区分がなく、3年以上在籍し、条件を満たした年度に卒業できる	7.5
特に満足している点はない	24.5
その他	-

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	全日制普通科 単位制
回答者数	119
自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	31.9
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	10.1
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	24.4
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	5.0
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	6.7
単位制なので、自分のペースで学習することができる	3.4
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	31.1
就職に向けた進路指導が充実している	5.9
施設・設備が充実している	26.9
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	15.1
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	7.6
特に満足している点はない	20.2
その他	0.8
無回答	1.7

問6 あなたは、通っている高校のどのような点に満足していますか。【併設型中高一貫教育】
 (あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	併設型中高一貫教育
回答者数	73
6年間を見通した計画的・継続的な教育が行われている	31.5
中学校と高校の併設により、教員や友人、先輩、後輩との幅広い人間関係を築くことができる	30.1
中学生のうちから高校で学ぶ内容を学習できる	45.2
高校の教員の授業を受けられる	4.1
身近にいる高校生から刺激を受けながら学校生活を送ることができる	5.5
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	17.8
高校入試がないことで、自分の興味・関心のある学びを深めることができる	20.5
特に満足している点はない	15.1
その他	1.4

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	併設型中高一貫教育
回答者数	74
6年間を見通した計画的・継続的な教育が行われている	21.6
中学校と高校の教員による交流授業が行われている	10.8
中学校・高校合同の特別活動や学校行事がある	35.1
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	24.3
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	5.4
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	25.7
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	21.6
就職に向けた進路指導が充実している	1.4
施設・設備が充実している	5.4
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	16.2
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	10.8
特に満足している点はない	18.9
その他	12.2
無回答	1.4

問6 あなたは、通っている高校のどのような点に満足していますか。【定時制3部制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)
回答者数	121	39
幅広い分野の選択科目の中から、自分の興味・関心や進路指導等に応じて自由に科目を選択できる	26.4	59.0
キャリア教育をとおして、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	11.6	20.5
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方を学ぶ機会が多い	8.3	7.7
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	3.3	15.4
単位制なので、自分のペースで学習することができる	32.2	28.2
自分が所属している部(午前部(Ⅰ部)・午後部(Ⅱ部)・夜間部(Ⅲ部))だけではなく、他の部の科目も履修することができる	16.5	2.6
自分の生活パターンに合わせた科目履修ができる	32.2	28.2
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	1.7	-
就職に向けた進路指導が充実している	9.1	10.3
仕事と学習の両立ができる	24.0	7.7
教育相談が充実している	5.0	5.1
少人数指導等のきめ細かな指導が受けられる	9.9	17.9
特に満足している点はない	10.7	10.3
その他	-	-

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)
回答者数	125	50
自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	36.8	64.0
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	8.8	30.0
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	28.0	32.0
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方を学ぶ機会が多い	12.0	12.0
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	3.2	16.0
単位制なので、自分のペースで学習することができる	29.6	18.0
自分が所属している部(午前部(Ⅰ部)・午後部(Ⅱ部)・夜間部(Ⅲ部))だけではなく、他の部の科目も履修することができる	17.6	4.0
自分の生活パターンに合わせた科目履修ができる	25.6	16.0
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	3.2	2.0
就職に向けた進路指導が充実している	14.4	12.0
施設・設備が充実している	15.2	8.0
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	18.4	4.0
教育相談が充実している	11.2	4.0
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	5.6	6.0
特に満足している点はない	15.2	14.0
その他	4.0	4.0
無回答	1.6	2.0

問6 あなたは、通っている高校のどのような点に満足していますか。【総合選択制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	198
自分の興味・関心に応じて他の学科の科目を選択できる	65.2
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	25.8
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	9.1
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	13.1
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	3.5
就職に向けた進路指導が充実している	8.1
他の学科の科目を学習することで、幅広い知識や柔軟な発想を身に付けることができる	22.2
特に満足している点はない	3.0
その他	-

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	233
自分の興味・関心に応じて他の学科の科目を選択できる	72.1
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	28.3
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	10.3
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	17.6
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	9.9
就職に向けた進路指導が充実している	10.3
施設・設備が充実している	21.0
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	18.0
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	20.2
特に満足している点はない	5.6
その他	-
無回答	1.3

問6 あなたは、通っている高校のどのような点に満足していますか。【普通科と職業に関する専門学科併置校】(あてはまるものすべてに○) (複数回答、%)

	普通科と職業に関する専門学科併置校
回答者数	429
自分の興味・関心に応じて他の学科の科目を選択できる	19.1
様々な目標を持った友人との交流により、進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	33.6
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	16.1
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	23.8
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	6.5
就職に向けた進路指導が充実している	15.2
所属する学科では取得しにくい資格の取得ができる	14.0
他の学科の科目を学習することで、幅広い知識や柔軟な発想を身に付けることができる	7.7
様々な専門性を持った教員や友人との交流により、多角的な視点で物事を考えることができる	15.4
特に満足している点はない	15.6
その他	2.3

7 不満な点

問7 あなたは、通っている高校のどのような点が不満ですか。【総合学科】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合学科
回答者数	154
選択科目の分野や数が不十分で、自分の興味・関心や進路志望等に応じた教科・科目を選択できない	11.7
職業に対する理解を深めたり、自分の進路について深く考える時間がもっと必要である	9.7
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	5.2
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	8.4
自分のペースで学習することができない	9.1
大学等への進学が難しい	11.7
就職が難しい	0.6
特に不満な点はない	46.8
その他	1.3

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	総合学科
回答者数	173
自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	6.4
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	10.4
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	9.8
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	3.5
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	1.2
自分のペースで学習することができない	10.4
大学等への進学が難しい	8.1
就職が難しい	4.0
施設・設備が充実していない	12.7
教員や友人などとの人間関係が希薄である	4.0
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	1.7
特に不満な点はない	48.0
その他	2.3
無回答	2.3

問7 あなたは、通っている高校のどのような点が不満ですか。【全日制普通科単位制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	全日制普通科 単位制
回答者数	159
選択科目の分野や数が不十分で、自分の興味・関心や進路志望等に応じた教科・科目を選択できない	10.7
大学等への進学が難しい	4.4
就職が難しい	4.4
自分の興味・関心や習熟度などに応じた少人数指導がもっと必要である	14.5
大学や高等専門学校などの学校外における学修の単位認定がもっと必要である	3.8
特に不満な点はない	66.7
その他	2.5

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	全日制普通科 単位制
回答者数	119
自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	6.7
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	3.4
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	12.6
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方を学ぶ機会がもっと必要である	6.7
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	9.2
自分のペースで学習することができない	20.2
大学等への進学が難しい	3.4
就職が難しい	5.0
施設・設備が充実していない	4.2
教員や友人などとの人間関係が希薄である	1.7
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	-
特に不満な点はない	49.6
その他	5.0
無回答	1.7

問7 あなたは、通っている高校のどのような点が不満ですか。【併設型中高一貫教育】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	併設型中高一貫教育
回答者数	73
6年間を見通した計画的・継続的な教育が不十分である	28.8
教員や友人、先輩、後輩との人間関係が希薄である	5.5
中学生のうちから学ぶ高校の学習内容が少ない	27.4
高校の教員による授業が不十分である	28.8
中学生と高校生の交流がもっと必要である	17.8
大学等への進学に対応した学習指導が不十分である	16.4
特に不満な点はない	26.0
その他	12.3

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	併設型中高一貫教育
回答者数	74
6年間を見通した計画的・継続的な教育が不十分である	27.0
中学校と高校の教員による交流授業が不十分である	28.4
中学校・高校合同の特別活動や学校行事が少ない	25.7
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	2.7
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	5.4
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	5.4
大学等への進学が難しい	4.1
就職が難しい	1.4
施設・設備が充実していない	27.0
教員や友人などとの人間関係が希薄である	6.8
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	8.1
特に不満な点はない	28.4
その他	4.1
無回答	1.4

問7 あなたは、通っている高校のどのような点が不満ですか。【定時制3部制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)
回答者数	121	39
選択科目の分野や数が不十分で、自分の興味・関心や進路志望等に応じた教科・科目を選択できない	8.3	7.7
キャリア教育により将来の生き方や進路について考える時間がもっと必要である	2.5	5.1
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	2.5	2.6
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	5.0	5.1
自分のペースで学習することができない	5.0	5.1
大学等への進学が難しい	15.7	23.1
就職が難しい	2.5	7.7
仕事と学習の両立が難しい	0.8	2.6
教育相談が充実していない	3.3	5.1
特に不満な点はない	62.8	59.0
その他	1.7	-

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	定時制3部制 (普通科)	定時制3部制 (総合学科)
回答者数	125	50
自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	4.8	10.0
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	11.2	8.0
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	7.2	10.0
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	1.6	8.0
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	5.6	2.0
自分のペースで学習することができない	9.6	14.0
大学等への進学が難しい	11.2	18.0
就職が難しい	6.4	6.0
施設・設備が充実していない	4.8	4.0
教員や友人などとの人間関係が希薄である	9.6	12.0
仕事と勉強の両立が難しい	7.2	6.0
教育相談が充実していない	3.2	2.0
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	6.4	12.0
特に不満な点はない	46.4	42.0
その他	8.8	6.0
無回答	2.4	10.0

問7 あなたは、通っている高校のどのような点が不満ですか。【総合選択制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	198
他の学科から履修できる科目の数(単位)が少ない	10.1
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	9.1
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	2.0
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	5.1
大学等への進学が難しい	8.6
就職が難しい	-
特に不満な点はない	69.2
その他	1.5

(参考 令和元年調査)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	233
他の学科から履修できる科目の数(単位)が少ない	17.2
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	12.0
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	4.3
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	5.6
大学等への進学が難しい	9.9
就職が難しい	0.4
施設・設備が充実していない	1.3
教員や友人などとの人間関係が希薄である	3.9
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	2.1
特に不満な点はない	57.1
その他	1.3
無回答	3.0

問7 あなたは、通っている高校のどのような点が不満ですか。【普通科と職業に関する専門学科併置校】
 (あてはまるものすべてに○) (複数回答、%)

	普通科と職業に関する専門学科併置校
回答者数	429
他の学科から履修できる科目の数(単位)が少ない	6.5
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	23.3
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	7.7
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	13.5
大学等への進学が難しい	13.3
就職が難しい	1.9
学科を超えた資格取得に向けた学習がもっと必要である	20.7
特に不満な点はない	40.3
その他	8.2

高等学校教育に関する意識調査

令和6年2月発行

(編集・分析・発行)

青森県教育委員会

〒030-8540

青森県青森市長島一丁目1番1号

(電話)017-734-9866 (高等学校教育改革推進室)

(調査・集計・分析)

株式会社東京商工リサーチ青森支店

〒030-0861

青森県青森市長島二丁目10番3号

(電話)017-776-5169

